

市民アンケート調査分析等業務 報告書

令和4年3月18日

東北公益文科大学 公共経営研究所

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
(1) 調査票の調査対象者等	1
(2) 調査時期と調査方法	1
(3) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度	2
3 報告書の見方について	3
4 回答者の基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 住まいの地域	4
第2章 アンケート調査の結果	5
1 酒田市の住みやすさ	5
2 総合計画の成果指標項目	14
3 酒田市の情報の発信について	21
4 酒田市のこれからの取り組みについて	24
第3章 自由回答	26
1 酒田地域①	26
2 酒田地域②	52
3 酒田地域③	56
4 八幡地域	63
5 松山地域	65
6 平田地域	67
第4章 酒田市総合計画 基本計画に対する提言	69
第1節 未来を担う人材が豊富な酒田	69
政策1 協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち	
政策2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」	
政策3 公共の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち	
政策4 学びあい、地域とつながる人を育むまち	
第2節 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田	73
政策1 地域経済をけん引する商工業が元気なまち	
政策2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち	
政策3 元気でいきいきと働くことができるまち	
政策4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち	
政策5 100年続く森林を造り、活かすまち	

政策 6	恵み豊かな水産を活かすまち	
第 3 節	ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田	79
政策 1	移住者・定住者が増えるまち	
政策 2	「おもてなし」があふれ、交流で潤うまち	
施策 3	「港」発の交流で賑わうまち	
第 4 節	暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支えあう酒田	80
政策 1	誰もが生き生きと暮らしやすいまち	
政策 2	結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち	
政策 3	健康でいつまでも活躍できりまち	
第 5 節	地域のつながりと安全・安心あふれた暮らしやすい酒田	83
政策 1	住民と行政の協働による地域運営ができるまち	
政策 2	美しい景観と県境を「全員参加」でつくるまち	
政策 3	地域との連携でつくる安全・安心なまち	
政策 4	「暮らしの足」が維持されるまち	
政策 5	自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち	
第 6 節	都市機能が強化され、賑わう酒田	88
政策 1	ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち	
政策 2	交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取りく むまち	
政策 3	将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち	
第 5 章	各設問の集計結果	91
第 6 章	調査票	106

第1章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和5年度からスタートする総合計画の後期計画（令和9年度まで）の策定および情報発信のあり方の見直しにあたり、市民の皆様からの意見を伺うため実施した。

この調査結果を市民の声として政策に活かしながら、今後の酒田市の進むべき方向性を検討し、計画策定に活かしていく。

2 調査の設計

(1) 調査票の調査対象者等

本調査の対象者等は以下のとおりである。

表1.1 調査票の種類と対象者

調査票「酒田市総合計画【後期計画】の策定に係るアンケート調査	
調査対象者	18歳から80歳の男女（無作為抽出した方）
調査件数	2,500名

(2) 調査時期と調査方法

調査は、2021年11月12日～11月30日にかけて実施した。

調査方法は、2021年9月30日現在の住民基本台帳の中から年齢（18歳～80歳：1941年4月2日から2003年4月1日までに生まれた方）を条件とし無作為に抽出した対象者に対し、郵送とWebオンライン回答により調査票を配布・回収した。

(3) 調査の配布・回収状況からみた調査信頼度

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりである。

表1.2 調査票の配布・回収状況

調査票区分	配布数	回収数	回収率
「酒田市総合計画【後期計画】の策定に係るアンケート調査	2,500人	紙回答 931人 Web回答 164人 合計 1,095人	43.8%

調査信頼度については、次の公式を用いて、誤差率±5%での信頼度95.4%以上となることを確認した。

なお、公式中の母比率は、設問の内容が多岐にわたることや、選択肢が複数であることなどを考慮し、標本数が最大となる二者択一（50%）を用いることとした。

$$\text{標本数} = \frac{\text{母集団の数}}{1 + \frac{(\text{母集団の数} - 1)}{(1 - \text{母比率}) \times \text{母比率}}} \times \left(\frac{\text{誤差率}}{\text{信頼度係数}} \right)^2$$

信頼度係数表

信頼度 (%)	68.3	90.0	95.0	95.4	99.0
信頼度係数	1.000	1.645	1.960	2.000	2.576

標本数検討表

母集団の数	信頼度	母比率	誤差率	信頼度係数	標本数
18歳以上の人口 74,935人	90.0%	50%	5%	1.645	271
	95.0%	50%	5%	1.960	382
	95.4%	50%	5%	2.000	398
	99.0%	50%	5%	2.576	658

以上の計算により、今回の標本数である1,095名分の回答数は、信頼度99.0%の標本数658を上回っていることから、誤差率±5%で99.0%以上の信頼度が得られている。

3 報告書の見方について

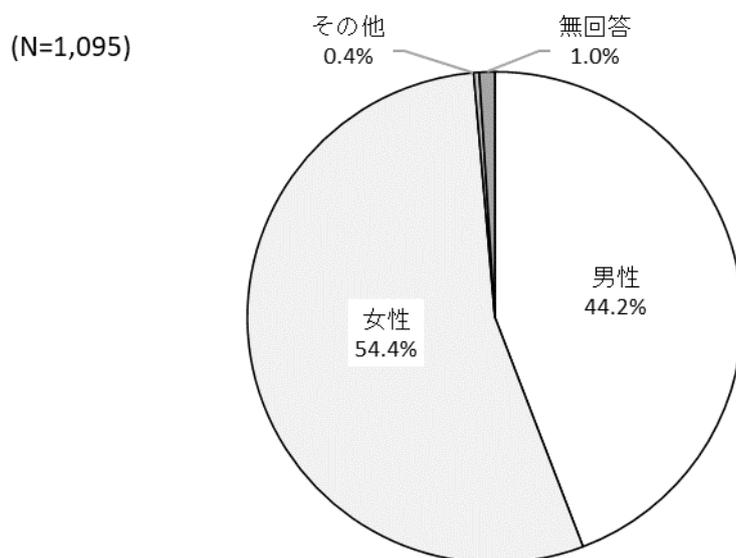
調査結果の数値については小数点第2位で四捨五入しているため、内訳を合計しても100%にならない場合がある。

本報告書では、前回調査時と比較して「多い」「少ない」「同じ」など表記しているが、前回と今回調査では有効回答数が異なるため人数の比較ではなく、各調査結果の割合を比較し分析を行った。

4 回答者の基本属性

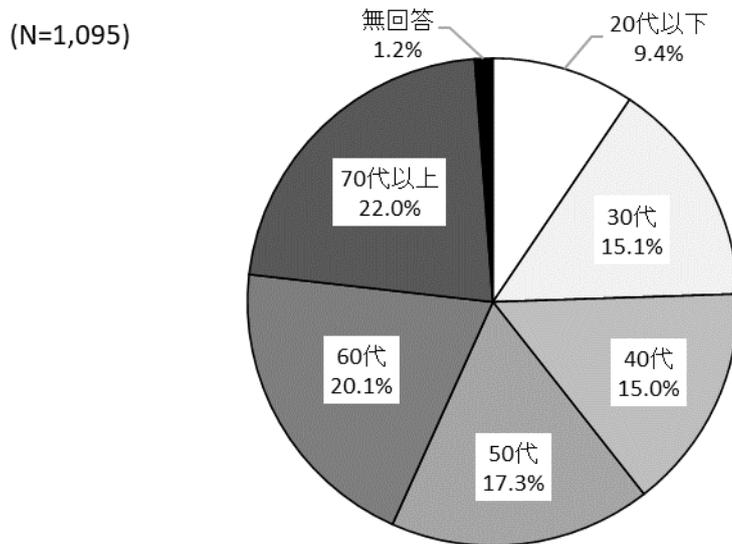
(1) 性別

問 17 あなたの性別は。



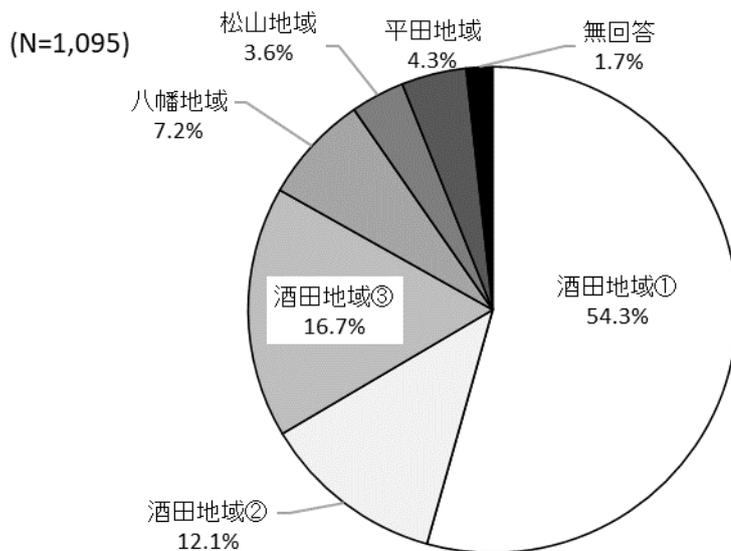
(2) 年齢

問 18 あなたの現在の年齢は。



(3) 住まいの地域

問 19 あなたのお住いの学区または地域は。



酒田地域①（琢成、浜田、若浜、富士見、亀ヶ崎、松原、松陵、泉）

酒田地域②（西荒瀬、平田、鳥海、飛島）

酒田地域③（新堀、広瀬、浜中、黒森、十坂、宮野浦）

八幡地域（八幡総合支所管内）

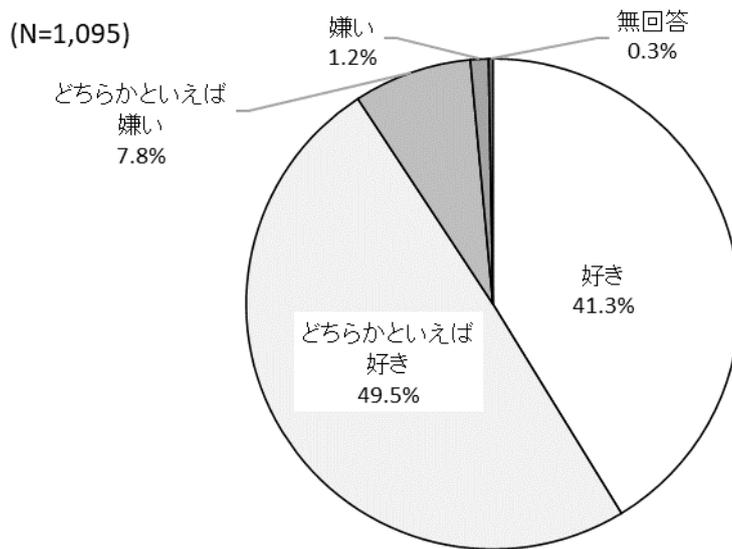
松山地域（松山総合支所管内）

平田地域（平田総合支所管内）

第2章 アンケート調査の結果

1. 【酒田市の住みやすさについて】

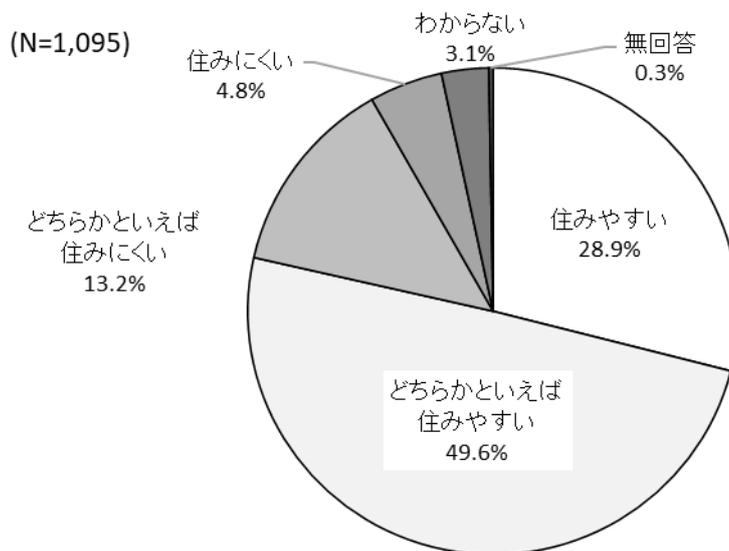
問1 あなたは酒田市が好きですか。



「好き」と「どちらかといえば好き」を合計すると90.8%となり、約9割が『好き』となった。「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」の合計は9.0%となり、『嫌い』は1割弱となっている。平成30年に実施した前回調査ではそれぞれ90.4%、8.0%であり、変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢階級が上がるほど「好き」の回答が増加している。20代以下では「好き」が35.9%、「どちらかといえば好き」は50.5%であり、70代以上ではそれぞれ52.7%、41.5%となっている。また酒田市が住みやすい、住み続けたいと考えている人は「好き」の回答が多く（それぞれ85.5%、69.1%）、住みにくい、移りたいと回答している人は「好き」の回答が少ない（それぞれ7.5%、0%）。

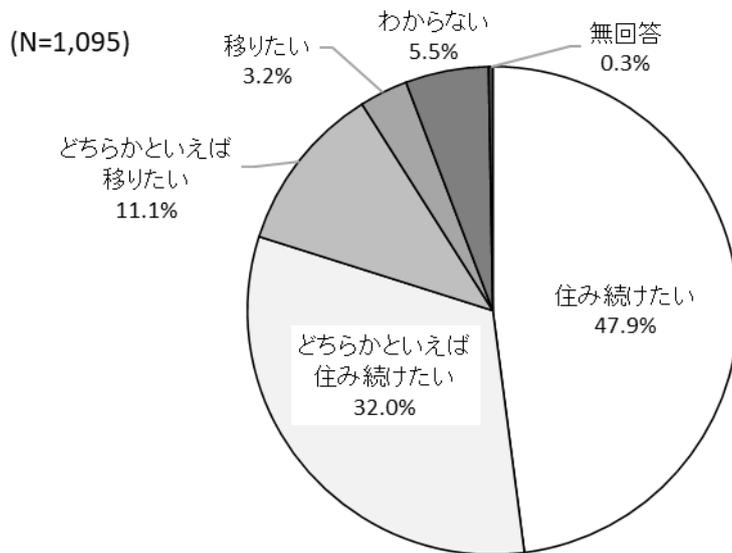
問2 あなたは酒田市が住みやすいと思いますか。



「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計すると78.5%となり、『住みやすい』は8割弱となった。「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計は18.0%となり、『住みにくい』は約2割となっている。平成30年に実施した前回調査ではそれぞれ75.2%、20.3%であり、『住みやすい』が3ポイント程度増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢別では70代以上のみ「住みやすい」が42.3%と高い（他は22.4%～28.6%）。また酒田市が好き、住み続けたいと考えている人は「住みやすい」の回答が多く（それぞれ60.0%、53.5%）、嫌い、移りたいと回答している人は「住みやすい」の回答が少ない（それぞれ7.7%、2.9%）。

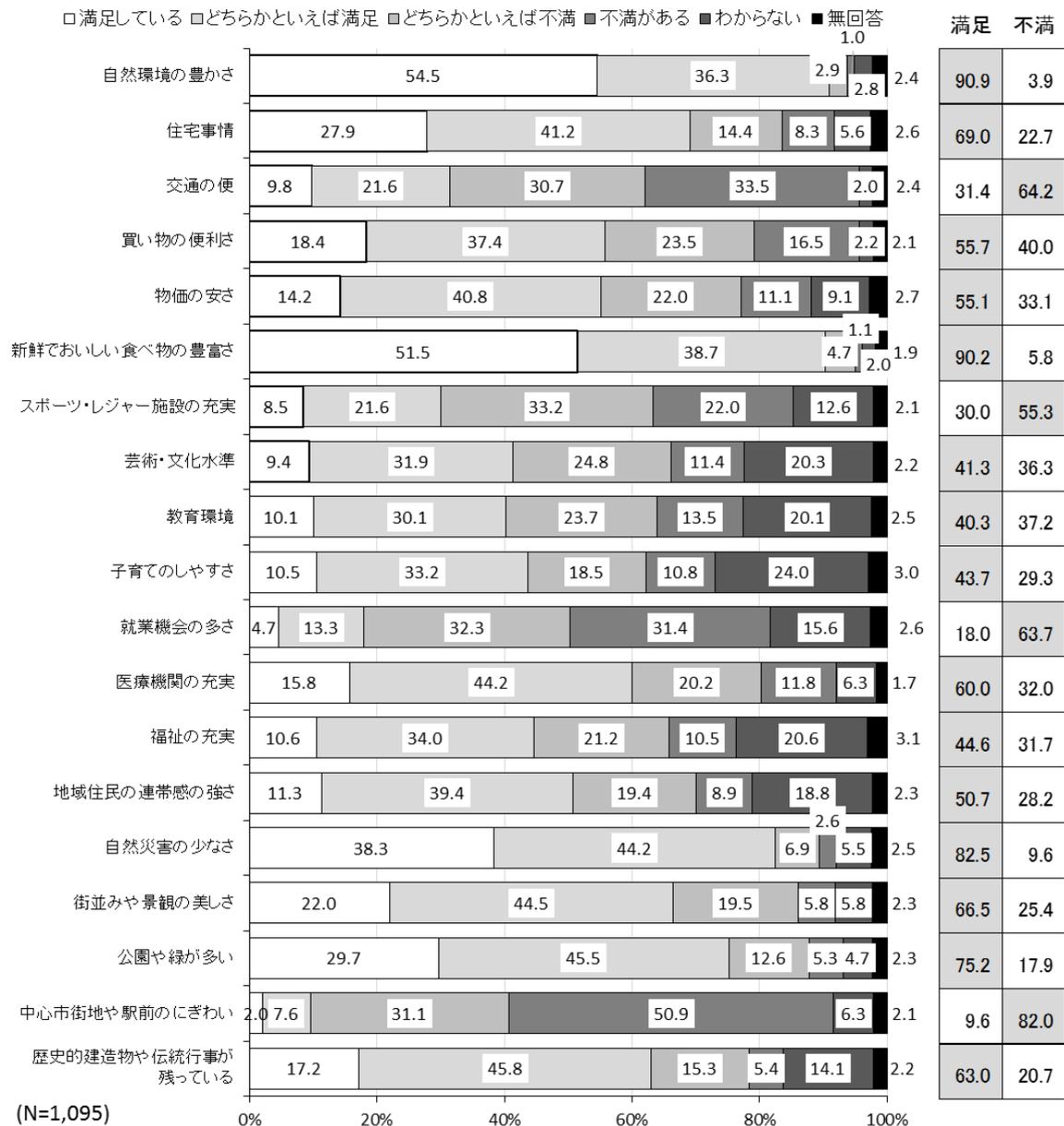
問3 あなたは酒田市に住み続けたいと思いますか。



「住み続けたい」が47.9%と高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が32.0%となり、合計した『住み続けたい』は79.9%と約8割となった。「移りたい」は3.2%、「どちらかといえば移りたい」は11.1%であり、合計した『移りたい』は14.3%である。平成30年に実施した前回調査における合計値はそれぞれ79.2%、9.4%であり、変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、年齢階級が上がるほど「住み続けたい」の回答が増加している。20代以下では30.1%であり、70代以上では61.6%となっている。居住地域別に見ると川南地区である酒田地域③と松山地域の「住み続けたい」の回答が、平均値よりも10ポイント弱低い（それぞれ38.3%、38.5%）。また酒田市が好き、住みやすいと考えている人は「住み続けたい」の回答が多く（それぞれ80.3%、88.6%）、嫌い、住みにくいと回答している人は「住み続けたい」の回答が少ない（それぞれ15.4%、9.4%）。

問4 あなたは、以下の酒田市の都市環境について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。



(1) 自然環境の豊かさ

自然環境の豊かさについては、「満足している」が54.5%、次いで「どちらかといえば満足」が36.3%となり、合計した『満足』は90.9%と約9割となった。「不満がある」は1.0%、「どちらかといえば不満」は2.9%であり、合計した『不満』は3.9%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は88.7%、『不満』は4.4%であり、変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多く（それぞれ71.7%、73.8%、68.0%）、嫌い、住みに

くない、移りたいと回答している人は「満足している」の回答が少ない（それぞれ 38.5%、41.5%、31.4%）。

（2）住宅事情

住宅事情については、「満足している」が 27.9%、「どちらかといえば満足」が 41.2%となり、合計した『満足』は 69.0%と約 7 割となった。「不満がある」は 8.3%、「どちらかといえば不満」は 14.4%であり、合計した『不満』は 22.7%である。平成 30 年に実施した前回調査では『満足』は 66.3%、『不満』は 23.8%であり、『満足』が 3 ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多く（それぞれ 42.9%、48.9%、42.7%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「満足している」の回答が少ない（それぞれ 7.7%、9.4%、8.6%）。

（3）交通の便

交通の便については、「満足している」が 9.8%、「どちらかといえば満足」が 21.6%となり、合計した『満足』は 31.4%と約 3 割となった。「不満がある」は 33.5%、「どちらかといえば不満」は 30.7%であり、合計した『不満』は 64.2%である。平成 30 年に実施した前回調査では『満足』は 27.7%、『不満』は 66.9%であり、『満足』が 3 ポイント強増加しているが、依然として『不満』の回答が多い。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「不満がある」の回答が少なく（それぞれ 23.0%、18.6%、23.8%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「不満がある」の回答が多い（それぞれ 69.2%、77.4%、74.3%）。

（4）買い物の便利さ

『満足』（55.7%）が『不満』（40.0%）を上回った。平成 30 年に実施した前回調査では『満足』は 49.8%、『不満』は 46.6%であり、『満足』が 6 ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多く（それぞれ 27.7%、37.9%、27.6%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「満足している」の回答が少ない（それぞれ 7.7%、3.8%、14.3%）。地域による差が現れており、松山地域では『満足』（20.5%）『不満』（71.8%）と、『不満』が他地域と比べて高かった。

（5）物価の安さ

『満足』（54.9%）が『不満』（33.1%）を上回った。平成 30 年に実施した前回調査では『満足』は 47.0%、『不満』は 39.3%であり、『満足』が 8 ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている

人は「満足している」の回答が多く（それぞれ 20.8%、25.9%、19.2%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「満足している」の回答が少ない（それぞれ 7.7%、7.5%、17.1%）。

（6）新鮮でおいしい食べ物の豊富さ

『満足』（90.1%）が『不満』（5.8%）を大きく上回った。『満足』が9割を超えており、満足度が極めて高いことがうかがえる。平成30年に実施した前回調査では『満足』は86.3%、『不満』は8.1%であり、『満足』が4ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は「満足している」の回答が多く（それぞれ 70.1%、71.3%、64.6%）、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人は「満足している」の回答が少ない（それぞれ 23.1%、26.4%、34.3%）。

（7）スポーツ・レジャー施設の充実

『不満』（55.2%）が『満足』（30.1%）を上回った。平成30年に実施した前回調査では『満足』は27.2%、『不満』は55.9%であり、『満足』が3ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人に比べれば「満足している」の回答が多い（それぞれ 13.7%、16.1%、12.4%）。（嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人で「満足している」の回答はそれぞれ 0%、1.9%、8.6%）。

年代による差が現れており、70代以上では『満足』（39.4%）が『不満』（37.8%）を上回った。

（8）芸術・文化水準

『満足』（41.3%）が『不満』（36.2%）を上回った。平成30年に実施した前回調査では『満足』は33.2%、『不満』は40.9%であり、『満足』が8ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は、嫌い、住みにくいと回答している人に比べれば「満足している」の回答が多い（それぞれ 13.7%、14.5%）。（嫌い、住みにくいと回答している人で「満足している」の回答はそれぞれ 0%、5.7%）。年代による差が現れており、20代以下では『満足』（55.3%）、『不満』（29.1%）と『満足』の割合が他年代と比べて高かった。

（9）教育環境

『満足』（40.2%）が『不満』（37.2%）を上回った。平成30年に実施した前回調査では『満足』は37.9%、『不満』は37.2%であり、『満足』が2ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人は、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人に比べれば「満足している」の回答が多い（それぞれ 15.0%、17.4%、13.7%）。（嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人

で「満足している」の回答はそれぞれ0%、1.9%、5.7%)。地域による差が現れており、平田地域では『満足』(55.3%)、『不満』(25.5%)と、『満足』の割合が他地域と比べて高かった。

(10) 子育てのしやすさ

子育てのしやすさについては、「満足している」が10.5%、「どちらかといえば満足」が33.2%となり、合計した『満足』は43.7%と4割強となった。「不満がある」は10.8%、「どちらかといえば不満」は18.5%であり、合計した『不満』は29.3%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は40.8%、『不満』は31.0%であり、ほぼ変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合(それぞれ16.8%、20.2%、14.3%)が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合(それぞれ7.7%、3.8%、11.4%)をそれぞれ上回っている。

(11) 就業機会の多さ

就業機会の多さについては、「満足している」が4.7%、「どちらかといえば満足」が13.3%となり、合計した『満足』は18.0%と2割弱となった。「不満がある」は31.4%、「どちらかといえば不満」は32.3%であり、合計した『不満』は63.7%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は12.2%、『不満』は65.3%であり、『満足』が約6ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合(それぞれ6.0%、7.6%、5.9%)が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合(それぞれ0.0%、0.0%、2.9%)をそれぞれ上回っている。

(12) 医療機関の充実

医療機関の充実については、「満足している」が15.8%、「どちらかといえば満足」が44.2%となり、合計した『満足』は60.0%と6割となった。「不満がある」は11.8%、「どちらかといえば不満」は20.2%であり、合計した『不満』は32.0%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は50.2%、『不満』は41.1%であり、『満足』が約10ポイント増加し、『不満』が約9ポイント減少している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合(それぞれ23.7%、28.7%、22.1%)が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合(それぞれ15.4%、7.5%、20.0%)をそれぞれ上回っている。

(13) 福祉の充実

福祉の充実については、「満足している」が10.6%、「どちらかといえば満足」が34.0%となり、合計した『満足』は44.6%と約4割5分となった。「不満がある」は10.5%、「どちらかといえば不満」は21.2%であり、合計した『不満』は31.7%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は37.3%、『不満』は39.5%であり、『満足』が約7ポイント増加し、『不満』が約8ポイント減少している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ15.3%、19.9%、14.5%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ7.7%、7.5%、8.6%）をそれぞれ上回っている。

(14) 地域住民の連帯感の強さ

地域住民の連帯感の強さについては、「満足している」が11.3%、「どちらかといえば満足」が39.4%となり、合計した『満足』は50.7%と約5割となった。「不満がある」は8.9%、「どちらかといえば不満」は19.4%であり、合計した『不満』は28.2%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は48.0%、『不満』は28.9%であり、変化は見られない。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ17.9%、18.0%、17.1%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ7.7%、5.7%、11.4%）をそれぞれ上回っている。

(15) 自然災害の少なさ

自然災害の少なさについては、「満足している」が38.3%、「どちらかといえば満足」が44.2%となり、合計した『満足』は82.5%と8割強となった。「不満がある」は2.6%、「どちらかといえば不満」は6.9%であり、合計した『不満』は9.6%である。平成30年に実施した前回調査では『満足』は86.9%、『不満』は6.4%であり、『満足』が4ポイント強減少し、『不満』が約3ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、酒田市が好き、住みやすい、住み続けたいと考えている人が「満足している」と回答した割合（それぞれ48.5%、52.7%、47.6%）が、嫌い、住みにくい、移りたいと回答している人が「満足している」と回答した割合（それぞれ23.1%、30.2%、25.7%）をそれぞれ上回っている。

(16) 街並みの景観の美しさ

街並みや景観の美しさについては、「満足している」が22.0%、「どちらかといえば満足」が44.4%となり、『満足』は66.5%と6割以上となった。「不満がある」5.8%、「どちらかといえば不満」が19.5%であり、『不満』は25.3%である。平成30年度に実施した前回調査では、『満足』61.7%、『不満』28.5%であり『満足』が4.8ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、性別による満足度の割合の差はなく、年代では、20代以下の76.7%が『満足』と回答しており、他の年代よりも高めである。居住地域では、松山地域の71.8%が『満足』と回答しており、他の地域よりも高めである。酒田市が「好き」の78.3%、「住みやすい」の81.7%、「住み続けたい」の75.2%が『満足』と回答している。酒田市が「嫌い」の69.2%、「住みにくい」の43.4%が『不満』と回答している。

(17) 公園や緑が多い

公園や緑が多いについては、「満足している」が29.7%、「どちらかといえば満足」が45.5%となり、『満足』は、75.2%と7割以上となった。「不満がある」5.3%、「どちらかといえば不満」が12.6%であり、『不満』は17.9%である。平成30年度に実施した前回調査では、『満足』68.8%、『不満』22.7%であり『満足』が6.4ポイントほど増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、性別による満足度の割合に差はなく、年代では、20代以下の83.5%が『満足』と回答しており、他の年代よりも満足度が高い。居住地域では、酒田地域②と平田地域のみ、7割を満たしていないが、他の地域については7割以上が『満足』と回答している。酒田市が「好き」の82.6%、「住みやすい」の82.3%、「住み続けたい」の81.1%が『満足』と回答している。酒田市が「嫌い」の30.8%が『満足』、38.5%が『不満』と回答しており、『満足』と『不満』が同じ割合であるため、公園や緑についての満足度だけが「嫌い」の理由とは言えない。

(18) 中心市街地や駅前のにぎわい

中心市街地や駅前のにぎわいについては、「満足している」が2.0%、「どちらかといえば満足」が7.6%となり、『満足』は、9.6%となった。「不満がある」50.9%、「どちらかといえば不満」が31.1%であり、『不満』は82.0%である。平成30年度に実施した前回調査では、『満足』3.4%、『不満』87.2%であり『満足』が6.2ポイント増加している。

結果を回答者の属性別に見ると、性別による差はなく、年代では、40代87.2%、50代86.8%、30代83.7%、といずれも8割以上が『不満』、居住地域では、酒田地域①～③がいずれも8割以上が「不満」と回答している。酒田市が「好き」の79.6%、「住みやすい」の75.7%、「住み続けたい」の78.7%が『不満』と回答しており、酒田市が「嫌い」の84.6%、「住みにくい」の86.8%、「移りたい」の80%が『不満』と回答している。酒田市の好き・嫌い等に限らず、中心市街地や駅前のにぎわいについての不満度が高い。

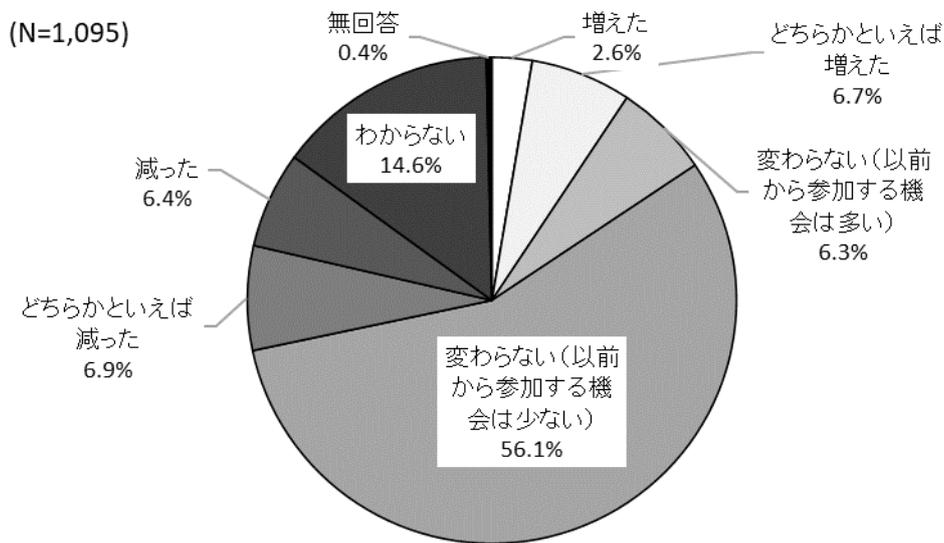
(19) 歴史的建造物や伝統行事が残っている

歴史的建造物や伝統行事が残っているについては、「満足している」が17.2%、「どちらかといえば満足」が45.8%となり、『満足』は、63.0%となった。「不満がある」5.4%、「どちらかといえば不満」が15.3%であり、『不満』は20.7%である。平成30年度に実施した前回調査では、『満足』56.6%、『不満』25.9%であり『満足』が6.4ポイント増加している。結果を回答者の属性別に見ると、性別による満足度の割合に差はなく、年代では、20代以下72.9%が『満足』と回答しており、他の年代よりも満足度が高い。居住地域では、松山

地域 71.7%、八幡地域 70.9%の満足度の割合が高めである。酒田市が「好き」の 72.1%、「住みやすい」の 73.5%、「住み続けたい」の 69.7%『満足』と回答している。

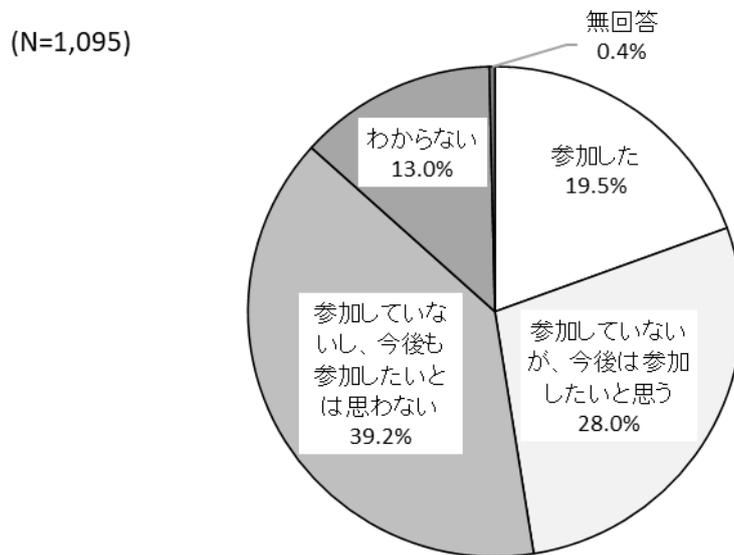
2. 【総合計画の成果指標項目について】

問5 あなたは、酒田市の市政（事業・取り組み）に参画（参加）する機会がこれまでと比べて増えてきたと思いますか。



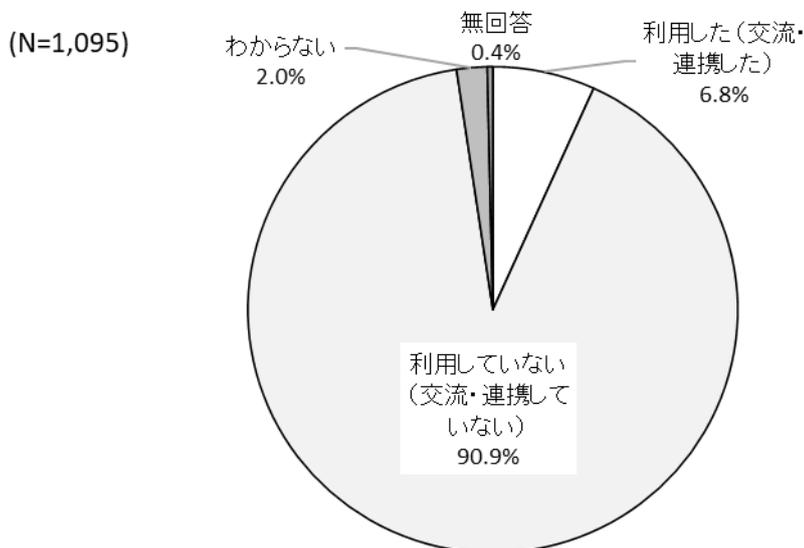
酒田市の市政（事業・取り組み）に参画（参加）する機会について、全回答者の 62.4%（「変わらない」2 種合計）が、「変わらない」と回答している。うち、「以前から参加する機会は少ない」が 56.1%で、全体の 5 割を占める。性別による「参画（参加）」の変化の割合に差はなく、年代では、20 代以下 16.5%（「増えた」2 種合計）が他の年代よりも「参画（参加）」が増えた」と回答しており他の年代よりも割合が高く、「変わらない」と回答した割合も 50.5%で、他の年代が 6 割以上「変わらない」と回答した割合よりも低くなっている。居住地域では、酒田地域①が「変わらない」の割合が 65.1%で他の地域と比べて若干高めである。松山地域では、「参画（参加）増えた」が 5.0%で他の地域よりも割合が低い。酒田市が「好き」と回答した 60.6%、「住みやすい」と回答した 61.9%、「住み続けたい」と回答した 61.9%は、「変わらない」と回答しているが、「増えた」と回答した割合は、他の選択肢よりも高くなっている。酒田市が「嫌い」、「住みにくい」「移りたい」の回答者のうち、「参画（参加）が増えた」の回答は、いずれも 1 割を満たない。

問6 あなたは、過去1年間（令和2年11月から令和3年10月まで）に、ボランティア活動や市民活動に参加しましたか。



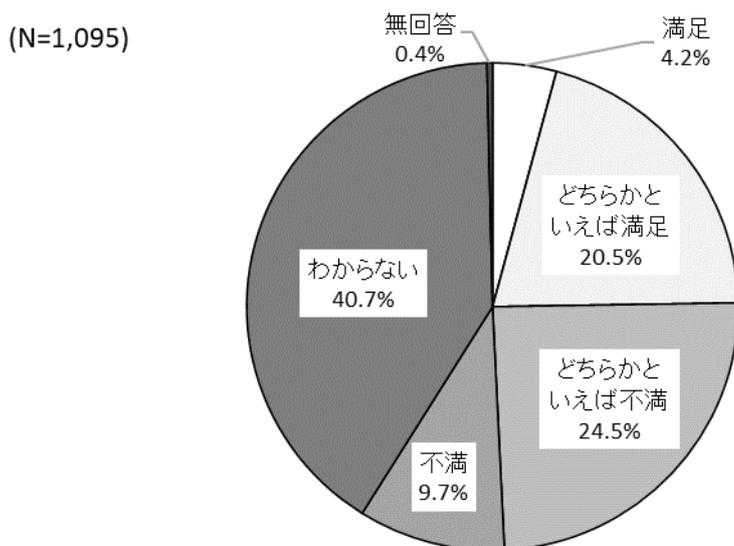
ボランティア活動や市民活動について、全回答者の67.2%（「参加していない」2種の合計）が「参加していない」と回答しており、「参加した」は19.5%である。このうち、「今後も参加したいと思わない」が39.2%、「今後は参加したいと思う」が28.0%である。性別では、男性63.5%、女性70.4%が「参加していない」を回答し、女性の方が「今後も参加したいと思わない」の割合が高い。「参加した」は男性（24.8%）の割合が女性（14.9%）よりも高い。年代では、30代78.2%が「参加していない」と回答し「今後も参加したいと思わない」が46.7%で割合が他の年代よりも最も高い。「参加した」と回答した年代の割合が高かったのは、70代以上26.6%、60代以上25.9%である。居住地域では、酒田地域①69.7%が「参加していない」と回答しているが、「今後参加したいと思う」が30.6%であり、他の地域と比べて最も割合が高い。「参加した」と回答した地域の割合が高かったのは、平田地域34.0%、八幡地域32.9%である。酒田市が「好き」と回答した23.2%、「住みやすい」と回答した22.4%、「住み続けたい」と回答した24.8%が「参加した」と回答しており、それぞれ「参加した」の回答率が高い。酒田市が「好き」と回答した33.4%、「住みやすい」と回答した31.9%、「住み続けたい」と回答した31.0%が「参加していないが、今後は参加したいと思う」と回答しており、「今後は参加したいと思う」の回答率が高い。

問7 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、東北公益文科大学を利用しましたか。（施設面の利用や教員・学生との交流や連携を含む。鶴岡市の大学院施設等を含む。）



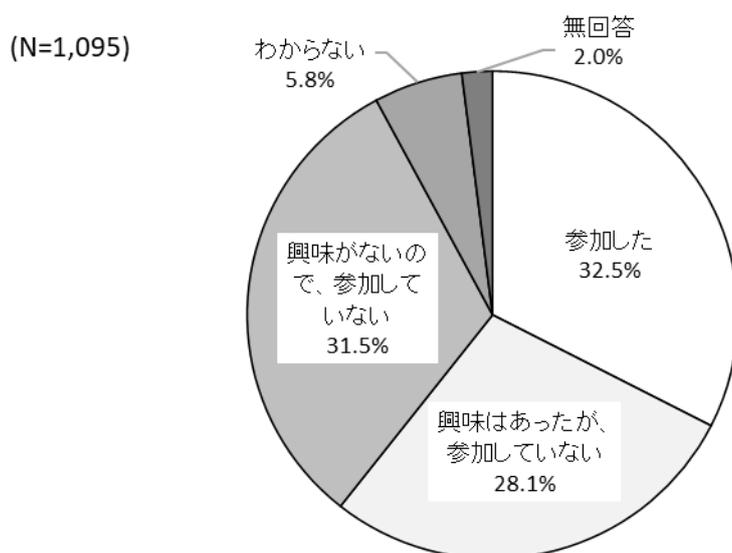
「利用していない（交流・連携していない）」が90.9%、「利用した（交流・連携した）」が6.8%であった。前回調査では「利用していない（交流・連携していない）」が78.5%、「利用した（交流・連携した）」が18.4%であったことから、利用（交流・連携）の状況は悪化している。これは公益大における学外者の来学制限などがあり新型コロナウイルス感染症の流行の影響を大きく受けた結果であろう。

問8 あなたは、子どもたちが文化芸術に触れる機会に対して満足していますか。



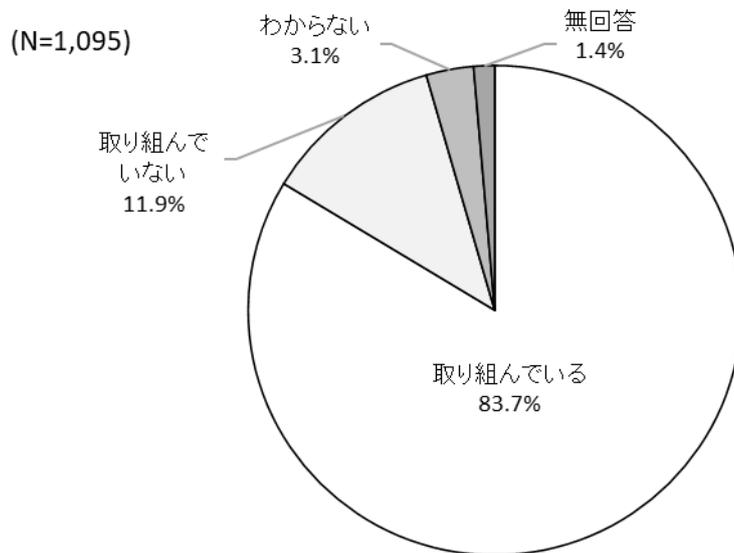
「わからない」が40.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば不満(24.5%)」、「どちらかといえば満足(20.5%)」、「不満(9.7%)」、「満足(4.7%)」の順になっている。「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足』は25.2%となり、「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した『不満』の34.2%を下回っている。これは前回調査とほぼ同様の結果であった。

問9 あなたは、過去1年(令和2年11月から令和3年10月まで)に、地域で行われている行事に参加しましたか。



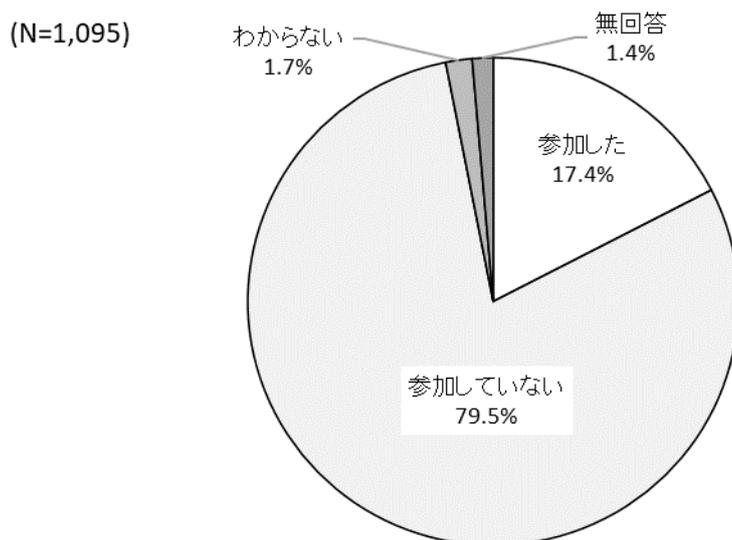
「参加した」が32.5%と最も多く、次いで「興味がないので、参加していない(31.5%)」、「興味はあったが、参加していない(28.1%)」であった。前回調査では「参加した」が51.5%と過半数を占めていたが、今回調査では「参加した」の回答割合が大幅に減少した。一方、「興味がないので、参加していない」についてみると、前回調査では回答者割合が23.9%であったのに対し、今回の調査では31.5%と増加している。このことから、地域で行われている行事への参加意欲の低下が見てとれる。これは新型コロナウイルス感染症の流行を受け、地域で行われている行事そのものの中止や延期、縮小されたことによる参加機会の減少や消失が影響しているものと考えられる。

問 10 あなたは、家にいるとき、省エネや節電に取り組んでいますか。



「取り組んでいる」が83.7%であり、「取り組んでいない（11.9%）」を大きく上回った。前回調査（「取り組んでいる」82.6%、「取り組んでいない」12.2%）と同様の結果となった。

問 11 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、自然に親しむ活動やイベントに参加しましたか。（例：河川、海岸、里山や林の清掃活動や野山の散歩、バードウォッチングなど）

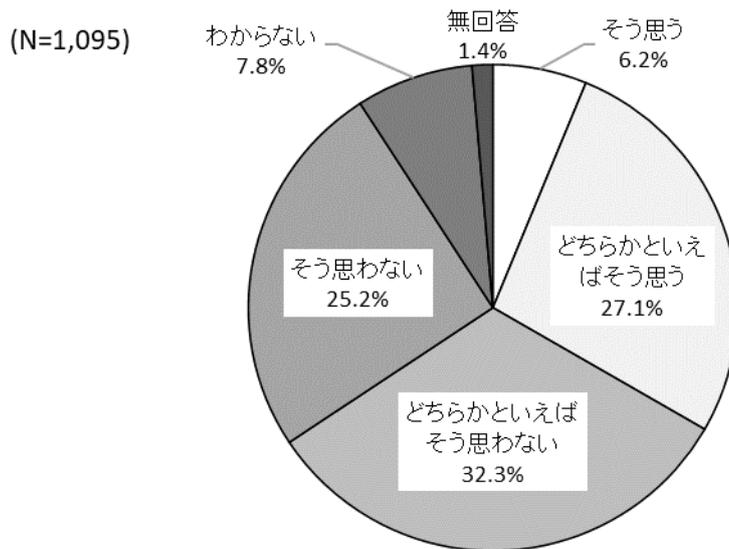


「参加していない（79.5%）」が「参加した（17.4%）」を大きく上回った。前回調査では、「参加していない」が75.1%、「参加した」が21.5%であり、前回と比較すると自然に親し

む活動やイベントへの参加率が低下している。

居住地別にみると、「参加した」と回答した人の割合が松山地域で 30.8%、八幡地域で 30.4%であった。他地域（平田地域 21.3%、酒田地域①15.5%、酒田地域②13.5%、酒田地域③16.9%）と比較すると、松山地域、八幡地域において自然に親しむ活動やイベントに参加した人の割合が比較的高かった。

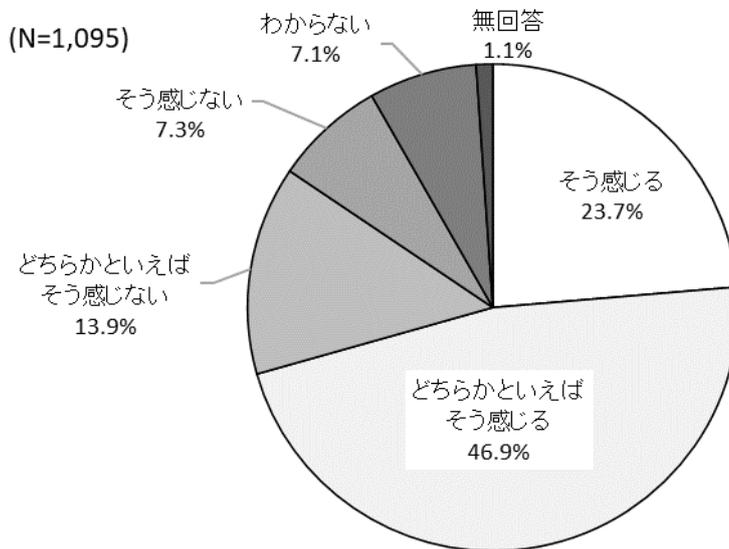
問 12 あなたは、酒田市全体が公園のようなうるおいに満ちたまちだと思いますか。



「どちらかといえばそう思わない (32.3%)」、「そう思わない (25.2%)」を合計した『そう思わない』が 57.5%となり、「どちらかといえばそう思う (27.1%)」、「そう思う (6.2%)」を合計した『そう思う』は 33.3%を上回った。前回調査では『そう思わない』が 62.7%で、『そう思う』が 26.0%であったことから、今回調査では肯定的な評価をする人が増加したと言えよう。

また、回答者が酒田市を積極的に評価するか、否定的な評価をするかで、この回答の傾向が異なる結果となった。例えば、「酒田市が好きか」という質問で「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した『好き』な人 (994 人、90.8%) の回答を見ると、『そう思う』が 35.0%、『そう思わない』 55.3%であった。これに対し、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」と回答した『嫌い』な人 (98 人、約 9.0%) の回答は、『そう思う』が 11.2%、『そう思わない』が 80.6%となっており、『そう思わない』という消極的な評価が顕著であった。

問 13 あなたは、市が特に重点的に景観づくりを進めていく地域として指定している景観形成重点地域（山居倉庫周辺地区、日和山周辺地区、松山歴史公園周辺地区）の景観に良い雰囲気を感じますか。



回答者全体のうち、「そう感じる」と答えたのが 23.7%、「どちらかといえばそう感じる」と答えたのが 46.8%であり、『そう感じる』回答者は 70.6%が景観に良い雰囲気を感じていると回答した。これは、前回の集計結果 67.7%から上昇している。

「どちらかといえばそう感じない」「そう感じない」と回答したのはそれぞれ 13.9%、7.3%であり、『そう感じない』とした 21.2%の住民は景観にいい雰囲気を感じていないという結果となった。前回の集計結果 23.9%と比べ、数値は縮小している。

年齢別の集計では、特に 20 代以下の 34.0%が「そう感じる」と答えており、世代別で最も高い値となった。全体平均の 23.6%を大きく上回る結果となっている。

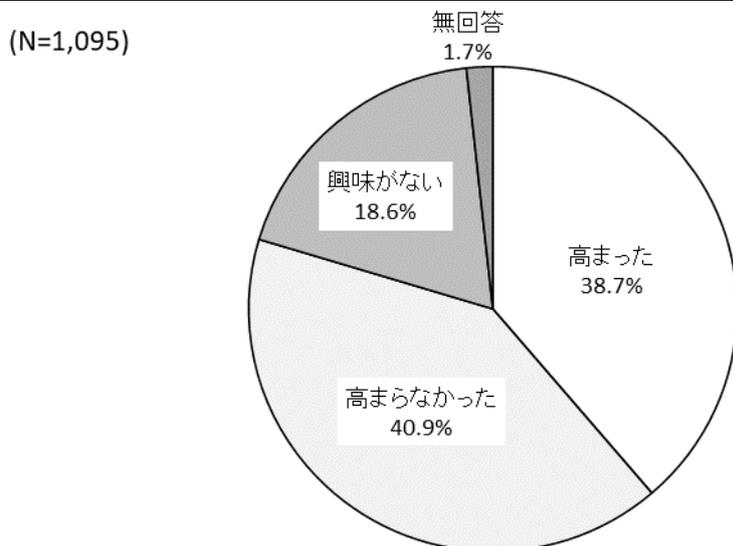
居住地域別では、いずれの地域も「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と答えた回答者をあわせると約 70%であるが、特に松山地域では 79.5%と高い値を示した。

問 1 で「酒田市が好きか」という質問に「好き」「どちらかといえば好き」と回答した者は、「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と回答した者よりも、問 13 にて「どちらかといえばそう感じる」「そう感じる」とする回答が多い。例えば、問 1 で酒田市を「好き」と答えた者のうち、景観にいい雰囲気を感じる、どちらかといえばそう感じると答えた回答者はあわせて 79.4%に上る。他方で、問 1 で「嫌い」と回答した者は、同様の値があわせて 23.1%にとどまっており大きく異なる。また、「そう感じない」とする回答は 53.8%であった。

したがって、酒田市に対する評価と景観に対する評価は一定程度の関連性を有していることが見て取れる。

3. 【酒田市の情報の発信について】

問 14 あなたは、本市の広報活動（市広報の紙面、市公式 SNS※、FM ラジオ、出前講座、個別事業説明会、自治会回覧板など）に触れることで、市政やまちづくり、地域活動への関心が高まりましたか。



※市公式 SNS：LINE、Facebook、Twitter、Instagram

回答者全体のうち、「高まった」と回答したのが 38.7%、「高まらなかった」と回答したのが 40.9%、「興味がない」と回答したのが 18.6%であった。

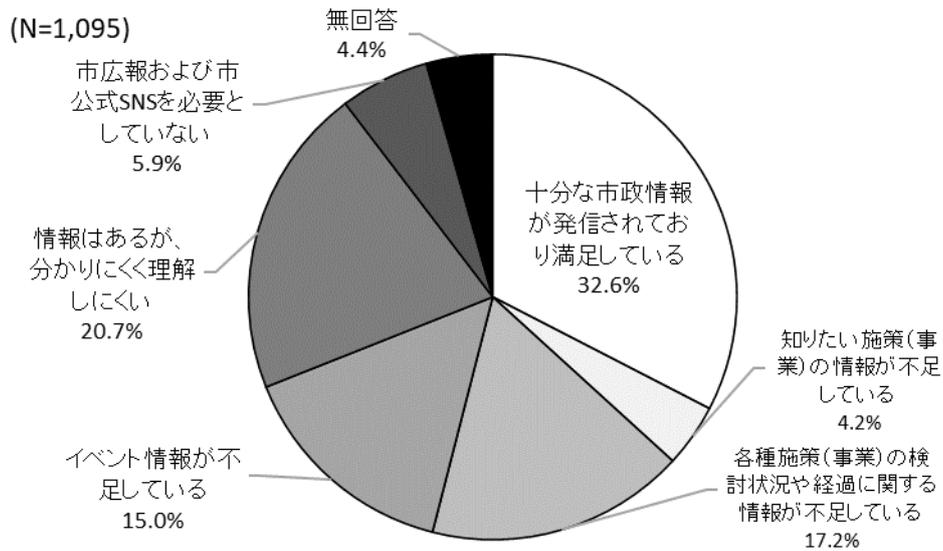
年齢別の集計では、40代で「高まった」「高まらなかった」の回答は同数、70代以上でもほぼ同数であった。20代以下、30代では「高まった」数が「高まらなかった」を上回ったものの、50代および60代では、「高まらなかった」と回答した者の方が多かった。

ただし、特に20代以下の世代では「興味がない」とする回答の割合が32.0%となり、他の世代比で最も高い値を示している。30代の回答においても、「興味がない」とする回答が21.2%を示しており、若い世代では「興味がない」とする回答の値が多い。

問1で「酒田市が好きか」という質問に「好き」と答えた回答者のうち、問14において「高まった」とする回答者は52.0%であった。問1で酒田市を「どちらかといえば好き」と答えた回答者のうち「高まった」と回答したのは32.8%、「どちらかといえば嫌い」と回答した回答者のうち「高まった」と回答したのは11.8%、「嫌い」と答えた回答者のうち「高まった」と回答したのは7.7%であった。

他方で、問1で酒田市を「好き」と答えた回答者の31.6%が問14では「高まらなかった」と回答していることから、たとえ酒田市に好意的な評価を行っている層であっても、市政や街づくり、地域活動への関心を高める余地はまだ存在するといえる。

問 15 あなたは、市広報（私の街さかた）および市公式 SNS※による市政情報の発信について、満足していますか。



※市公式 SNS : LINE、Facebook、Twitter、Instagram

回答者全体のうち、32.6%が「十分な市政情報が発信されており満足している」、と回答し、何らかの「情報が不足している」と回答した者は全体の 36.4%、「情報はあがるが、わかりにくく理解しにくい」と回答した者は全体の 20.7%、「市広報および市公式 SNS を必要としていない」と回答した者は全体の 5.9%であった。

情報の不足に関する選択肢の中では、「各種施策（事業）の検討状況や経過に関する情報が不足している」が最も高く 17.2%、次いで「イベント情報が不足している」が 15.0%、特定の施策に関して書きこむ形式で回答するものが 4.2%、であった。

年齢別では、どの世代でも「十分な市政情報が発信されており満足している」との回答が一番多かった。ただし、30代、50代、60代において「情報はあがるが、わかりにくく理解しにくい」と答えた者の割合が 20%を超えており、なお情報発信の手法については検討の余地がある。

問 1 で「酒田市が好きか」という質問に「好き」だと回答した者は、問 15 において情報発信に満足しているという回答の割合が高い(41.8%)という結果となった。しかし、問 1 で「どちらかといえば好き」と回答した者のうち、情報発信に「満足している」とした回答は 28.2%と全体平均の 32.6%を下っている。また、問 1 で『嫌い』群にある回答者は「情報はあがるが、わかりにくく理解しにくい」を最も多く選択している。

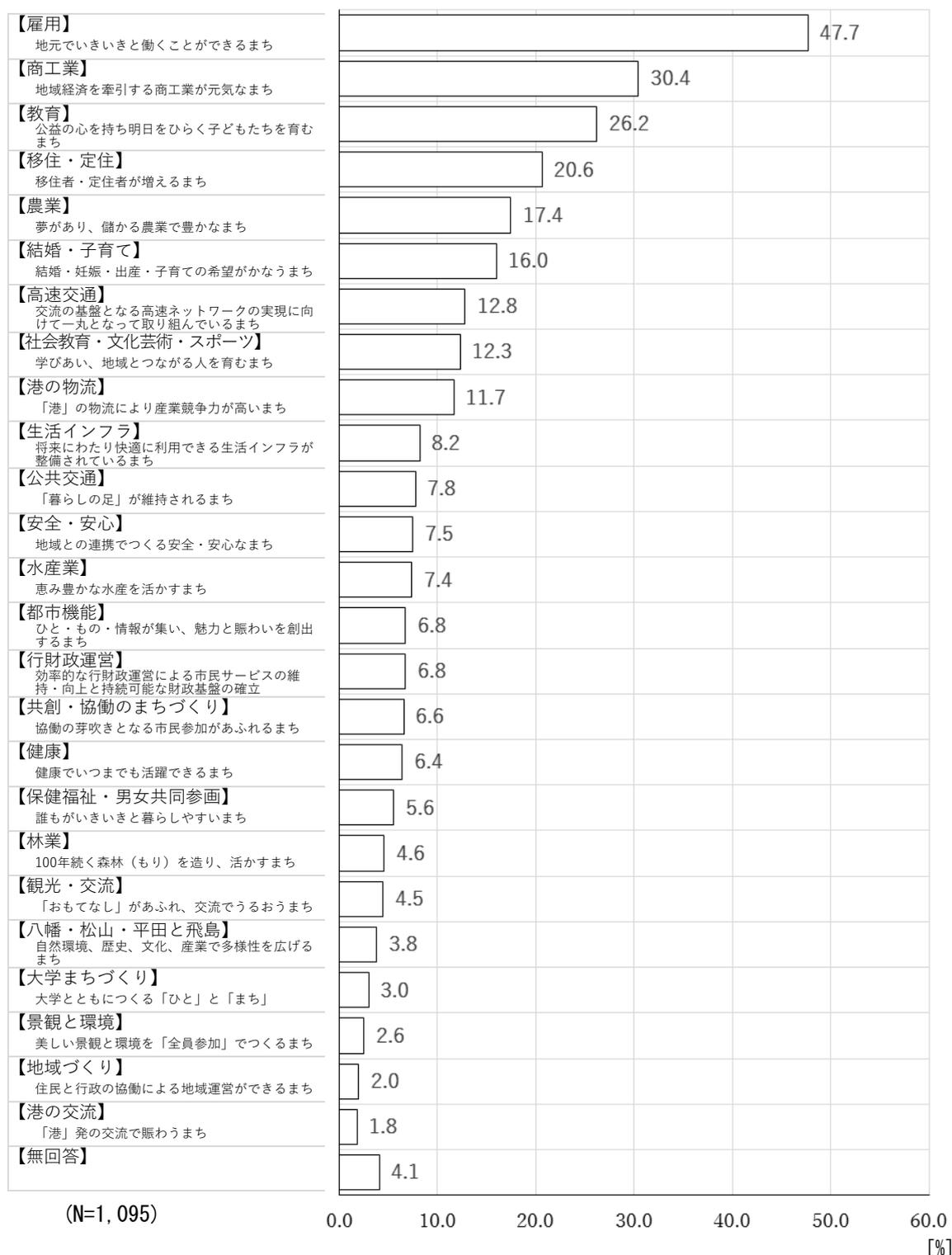
また、問 3 で「あなたは酒田市に住み続けたいと思うか」という質問において「どちらかといえば移りたい」と回答した者は、唯一選択肢全体の中で「イベント情報が不足している」と回答した者が最も多く、イベント情報をこの層に伝達することの重要性が示された。

「知りたい施策（事業）の情報が不足している」 ことについて、下記の記入があった。

- 婚活事業も公費でやっているの、その成果を教えてほしいと、市政 BOX に入れたが、その解答はなかったです。
- 例えばミライニの建設についてなど
- 税関係
- 知りたいコロナの情報が不足している。
- 福祉関係機関・団体情報
- カラス公害、空気対策、花粉対策
- 海上風力発電（絶対反対！！）
- コロナ禍対象が人権、プライバシー保護優先の為かスピード感に欠けた。
- 農産物（米、果実等、特選品のたち上げ）
- 芸術面
- 将来像が見えにくい
- ラインの配信がコロナ情報にうもれて見にくい。
- コロナ関係テレビを使って知らせた方が良かった。鶴岡とかは市長が出て来て説明していたが酒田は市長が前に出ての説明もない。酒田市のホームページのコロナに関する情報がわかりにくい。
- 港湾工事の日程と立ち入り禁止等の情報
- 画一的な表現で、イメージできない。文字情報が多い SNS で具体性を感じられない。• 動画やドローンを使った表現のバリエーションを検討してはどうか。
- 集団接種予約が終わった後も、市内のワクチン接種率が 10/6 から更新されていないのでどのくらいになったかわからない。pc 版ページはこちらというのもリンク切れしている。また、以前市立小中学校の図書システム導入の PDF が市 hp に上がっていたが今は削除されたようだ。知りたい情報が時間経過で消える
- このアンケートについてホームページ上で見つけることが出来なかった。更新されていないコンテンツを見かける。
- 道路の整備
- 自分の興味あるところを中心に見てしまうので、情報が抜け易い

4. 【酒田市のこれからの取り組みについて】

問 16 以下の取り組みについて、これからの酒田市にとって重要と考える分野について、3つ以内で選び、番号に○をつけてください。



回答者全体で最も酒田市にとって重要と考えられている分野の上位 6 項目は、順に「【雇用】地元でいきいきと働くことができるまち」47.5%、「【商工業】地域経済を牽引する商工業が元気なまち」30.4%、「【教育】公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち」26.1%、「【移住・定住】移住者・定住者が増えるまち」20.6%、「【農業】夢があり、儲かる農業で豊かなまち」17.4%、「【結婚・子育て】結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち」15.9%であった。前回調査と比べ、上位 6 項目の順位に変動はない。

年齢別で見ると、20 代以下では「【教育】公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち」が 34.0%で、同世代【雇用】32.0%を抑えて最も高い値を示している。その他の世代では、いずれも【雇用】が最も高い値を示した。

上記 20 代以下の【教育】項目を除けば、雇用の重要性はその他のあらゆる属性(性別、居住地域、問 1 の回答、問 2 の回答、問 3 の回答)において最も重視されている。

回答者全体で第 2 位を占める【商工業】については、年齢別では 30 代~60 代において 30%を超える回答を得た。20 代以下では 19.4%、70 代以上では 23.2%であった。

問 1 で「酒田市が好きか」という質問に「嫌い」と答えた者、および問 2 で「酒田市が住みやすいと思うか」という質問に「住みにくい」と答えた者は、他の属性の者よりも「【生活インフラ】将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち」を回答した割合が多い(全体平均 8.2%のところ、それぞれ「嫌い」30.8%、「住みにくい」20.8%)。

第3章 自由回答

《今後のまちづくりに対するご提案など》

1. 酒田地域①（琢成、浜田、若浜、富士見、亀ヶ崎、松原、松陵、泉）

- ◆ こどもがもっと遊べる施設がほしい(屋外・屋内共に)・町の街灯を増やしてほしい・屋外プール(こどもたのしめる)作ってほしい
- ◆ 市内に緑が少ないと思います。又、空気、空地も多くありますので市で借りて樹木を植えてはどうでしょうか。
- ◆ 住民が本当に希望する事を知ってそういうところにお金をかけて欲しいです。山居倉庫の活用ももっと効率良く出来たら良いかと思えます。個人的には市街地に日帰り温泉を再開して欲しいです。あと、高齢の方だけでなく、子育て世代にも力を入れて優しく欲しい。長い目で見て人口が増える方向にお金を使って欲しいです。どうぞ宜しくお願いします。※アンケートで声をひろって下さるのは本当に嬉しいです。
- ◆ 庄内町、遊佐町と比べ、子育て、定住等の補助金が手薄に感じる。市の財政状況が大変厳しいことは把握しているが、人口流出を防ぐための酒田市だからこそできる政策が必要だと感じる。例えば、酒田市に50年定住したら、一律10万円給付など……。・若者は大学進学を期に酒田を出て、他県に就職するケースが多くみられる。都会より職種や職員の採用人数が限られてはいるが、酒田に就職することで、メリットがあるような政策が必要である。・酒田は近年、高速交通網、酒田港の整備により、国内外と繋がることが可能となってきている。そのため、大企業を積極的に誘致してほしい。・洋上風力発電を国内トップクラスの数にし、風の町酒田を、全国、そして世界へ発信してほしい。
- ◆ 1・中心部(中町)への人口増の為の市策を望む。2・市営アパート、住宅の建設。3・スポーツ施設(合宿所の併設等)4・スポーツ施設を活用した流動人口増策 5・清水屋跡地を健康スポーツランド(上記3)の建設、民間運営。
- ◆ 他県から、結婚を機に移り住んだのですが、他の県に比べて愛想のない町だなと感じます。中学でいじめがあって自殺があったり、それに対しての酒田市の教育委員会の対応も最悪でがっかりしました。大なり小なりいじめは必ずあります。いじめがないという前提から間違っていないでしょうか？酒田東高校も、もはや進学校とはいえないレベルです。どうか酒田から、素晴らしい人材が育ちますよう、教育の部分をしっかりやってもらいたいです。
- ◆ もっと人口を増やすようなことをして欲しい希望の保育園に入れられない状況を無くして欲しい。女性が子育てをしながらでも仕事が続けられるバックアップをして欲しい。
- ◆ 景観づくりの1つとして空家対策を進めて欲しい。・持ち主の確定・今後の使用計画・更地にする 市街地の道路を拡幅し、路肩に有料駐車スペースをつくり、(縦列コインパーキング)、路駐を防ぐ。重点地域に力を注ぐよりも、全体を見て底上げして市民が住みよくすることを考えて欲しい。

- ◆ 酒田の企業全体他より賃金が低い気がする。
- ◆ 選挙の投票率が悪くても、若い人にお金を使ってほしい。酒田市は公的な人と高齢者の為の町に見えます。
- ◆ 1.観光 ①山居倉庫の今後の活用について 歴史的な存在感の維持と、市民全体が気軽に足を運び活用できる雰囲気を持たせること。 ②日和山公園の魅力の更なる向上 小幡も完成し、人の流れも多くなると思います。その一環として、隋神門も、見易くし、存在感を高めたい。梅林も魅力的だ、是非活用してもらいたい。 ③他市町との連携の推進 酒田市には温泉宿泊施設は殆ど無い。人の流れを庄内全域で作り出すため、市内の観光の目玉を、施設、環境両面で活用出来るよう、海(港、飛島など)、農業など底上げするような施策を進めていただきたい。
- ◆ 若者が酒田に定着して暮らせるようになればよいのですが、これといった妙案はないものでしょうか。〈提案になっていませんが・・・〉
- ◆ 「酒田一中いじめ」のテレビのニュースに関して、思う事がありペンをとりました。子ども4人がお世話になって一中の様子は想像しています。20年前からいじめらしきものがあったら会議はした。先生の対処のし方は筆跡で捜して、注意しようとしていたみたいで遅いんだなと思いましたが、それも一つの子育てかなと思いい意見をひっこめました。今も全く変わってなくて残念です。靴に死ねって書かれた紙を入れられ、先生は相談された時、先生はやっぱりすぐにホームルームで取りあげて全員に問題を考えさせるべきです。子どもたちは軽い気持ちでやっているといる子にはとんでもない事をやっているんだと考えさせるべきです。みんなを前にして同じ問題として考えさせるべきです。71才になって子育て終り、孫を見ているとはっきりわかります。事なかれ主義はだめです。すぐに対処する事です。今ごろにアンケートとっているのは何の意味があるかわかりません。子を無くした親は悲しいのです。死んではいけないんです。教えるべきです。親と先生両方です。和解金しか対処法はないんじゃないと思います。対処が遅かった事はそこにいた学校の先生たちの考え方です。教育委員会や酒田市で解決するしかないんじゃないのでしょうか。先生たちを責めているんじゃないです。先生たちはよくやっていると思いますよ。大人としての対応お願いします。
- ◆ 結婚と子育てに力を。
- ◆ 酒田駅前や中町商店街の活性化のために、PR、集客のためのイベント開催をこれまで同様行っていくのがよい。例えば、最寄りの飲食店が協力して、お食事処やお弁当販売をするところを作るとか。
- ◆ 酒田市は広い田や畑の多く災害も少ない農業に適した地域で、農業の集合化がすすむなかで複数の農協や各個人経営でも現状やっけていっている農家が存在しています。そのため、各農家の危機感が少しうすいように感じられます。さっ今の農業は各農家・農協の合体による農地集合による大規模化やスマート農業、法人化などをすることが進んできています。酒田市の農業は集合化せずとも現状はやっけていっていますが高齢化や市場の国際化・他地域の巨大化などに対抗するためにもこれまで以上の農業支援が必要ではないかと考えます。(特に高齢化に対してスマート農業の拡大は急務と思います。)

- ◆ 若者が遊べるような施設が少なすぎる。→増やした方がいい
- ◆ 老人が増えると、運転出来なくなり、交通機関の利用が、充実しないと、医院や施設、外出の時、不便のないように、していただきたい。 定年後の運動施設に、すぐ入り口までバス来てほしい。光ヶ丘プール場など、松山タウンセンターなど、市内にも運動施設が出来るといいです。
- ◆ 再生エネルギー活用によるエネルギー自立化 ・自然エネルギーによる発電・松林保全と林業 バイオマス発電 熱量の連携・ゴミ焼却発電 廃熱利用(給湯や暖房、乾燥など)・港の整備と風力発電は景観も考慮して一体として 酒田市卒業生で県外へ出た人の交流人口増加策 来やすく、泊まりやすい場所の提供 日本海-太平洋 最短ルート活用した地域活性 災害時に備えた物流ルート 港湾整備、道路整備 今年 6 月に酒田市に引越した人
- ◆ 私は生まれた時から酒田に居住しており大好きな街です。先日の県内で住み良い街は天童、東根に続き酒田が第 3 位でした。新幹線こそまだ開通しておりませんが自然、食べ物、港の栄えなど素晴らしいですね。今は清水屋がなくなり中町は寂しくなりました。私達年寄りには車も運転出来ない為、子供達の世話にならないと行動は出来ません。中町に空店舗を利用して昭和の町や子供達が遊べる遊園地等あれば活気づくのじゃないですか？シャッター等も酒田の名所を書いて見る人にピーアール出来ないでしょうか。私は現在東泉町 5 丁目に住んでおりますが羽越線が通っている為陸橋越えないとムサシ他に行けません。私からのお願いですが線路下を通れるように道路を作って頂けたら幸いです。人が歩ければよろしいです。無理なお願い御了承下さいませ。
- ◆ もっと楽しいイベントを増やしてもらって大勢の人が、集まって楽しめるようにしてもらいたい。
- ◆ 77 才の女性一人暮らしで今の所健康です、が私には 2 人の子供が居ますが酒田には住んでなく、いずれは 1 人でも近くに住んでいて市内に仕事を見つけてくれればと思っておりますが、戻ってこれる子供は今のところありません。なぜでしょうか？仕事をえらびするからでしょうか？ 週に 3 日間~4 日間位ヘルパーとして働いていますが利用者さんの所に訪問してもやはり、老人一人暮らし。老夫婦(92 才、87 才)子は他県に住んでおり一年に一回も酒田に(親元に)来るかこないかそんな人まかせみたい。 コロナ禍の為かもしれませんが、もう少しやさしい気持ちになれる様な世の中になってほしいものです。友人達と時には町で会いたい。そんなゆとりのある町になってほしいと思います。
- ◆ 何を聞こうとしているのか不明なアンケートで単なるアリバイ作りのようにも感じるこれは金のムダだ
- ◆ 中心街がさびしい。人が歩いてない。清水屋周辺に若い子たちがくるような店が出ればよい。アニメ、産直の店とか、車でも来たくなるような、希少価値があれば、行く。ここしかない場所を作ってほしい。
- ◆ コロナで行事なども行われなかったにも関わらず、質問が不適切。問 12 などはもう意味不明。
- ◆ 11/6(土)余目イタリアンブリラーノで、3 人で会食、政治家、加藤鮎子さん、後援会 20

名ほどで「今日は経費があります、お酒を遠慮なくのんで下さい」の男性の会話、お祝いの席とは言えコロナは0ではない パーテーションをこえた会話、店舗前での喫煙、大声で話 コロナで、飲食店で働く人は沢山仕事を失ったなか経費がある！！これが山形3区なのでしょう？久しく、あの様な席にいた事がなく、こわかった。経費ばらまき政治家はいりません。酒田の政治家をお願いします。

- ◆ まちづくりではないですが、こちらにしかスペースがないので書きます。子育てに関することで、現在は医療費の無料が中学3年生までですが、高校3年生までの延長にさせていただきたくお願い申し上げます。酒田市よりも人口の少ない庄内町や遊佐町でも実施されているようです。早急にご検討お願い致します。
- ◆ 清水屋跡地の活用について 人が集まる施設やイベント会場を提案して頂きたいです。
- ◆ 街づくりは、1年2年でできるものではなく、今後10年、20年、30年スパンで考えていく必要があると思います。現状、酒田市がどのようなビジョンをもって計画的に行っていくかという戦略が弱いと感じます。観光の街、商都酒田というビジョンは良いと思いますが、場あたりの計画ではなく、市民が参画しやすい形での街づくりを行う必要があります。すなわち、観光客に受ける街づくりではなか、市民が充実した生活を送ることができる、市民目線の街づくりが何よりも大切だと思います。個人的には、酒田市中心街に、市民も観光客も集まるような「温泉施設」を設けてほしいと思います。このように市政、特に街づくりに関わる皆様には、益々、市民のためにご活躍いただけますよう、一酒田市民としてお願いいたします。
- ◆ 【人材育成に関する提案】○提案事項 1.全国に先駆け、小学校から「自己資金の運用」について必要事項を学習すること。 2.気をつけることは「単なる金儲け」ではなく「自己資金を、市場原理を知って正しく投資する」すべを教えること。もって、酒田を若者から高齢者まで大切なお金を上手に使える人が育つ魅力ある地域とする。 ○提案理由 1.近年は終身雇用制が崩壊しつつあり、就職や老後に多くの方が不安を抱えながら自己資金を管理している。企業によっては確定拠出年金制度(401K)などを取り入れており、今後益々自己資金管理の重要性が顕著な社会になると思われる。これまでは何も知識がないまま老後になってから投資信託や株投資をして退職金を無くしてしまったなどの気の毒な話も聞こえてくる。 2.上記を運用するには「経済」や「投資」などの仕組み・社会の現状等を知る必要がある。全国では高校生になってから授業するところもあるようだが、外国では小学校から取り入れているとのことである。 3.酒田市は古くから北前船の往来で経済も文化も活発に発展してきた。米相場もしかり、現在の株取引に続いている。 ○具体案 1.「お金儲けは悪」という固定概念を持っている方ではなく、投資を良く知る専門家(出来れば成功者が良い)を講師にする。 2.理論と実践が必要 実践としてはネット上に模擬の投資で練習できるものがあるとのことであるので大いに活用すべし。以上、温故知新として今後の酒田の人材育成について提案します。
- ◆ 移住、定住者の減りに歯止めを掛けなければ歳入が減り、本市財政が赤字となる事は目に見えている。若者、子育て世代に魅力がある商業施設の誘致が必要と思われる。子育て環境の充実も移住、定住の歯止め対策であると考えられ、子育て支援パスポートによる割引

優遇拡大やランドセル無償化などの支援の充実化を図られた方がいいと思います。移住助成金の充実、制度利用の設備も提案します。

- ◆ 市役所にお金そそぎすぎですよ一笑キレイなのはイイですけどネ。日和山の小幡もキレイにしたのは良いけど「おくりびと」の時にキレイにしていたら良かったかと…（その方が収益出たでしょうに…）酒田市がダメなのは情報の発信や、流行が理解できてない点ですネもったいない… 今後、道路は「自転車用」も作っていけると他の市町村との差別化につながりますよ！ 駅前のマンションも失敗しそうですネ。一番住みたくないのは「駅前にスーパーやドラッグストアが近くにない」点ですネ。 空き家が6割とTVで見ました。家を建設する方には、古い家の解体の補助金を出してあげるともっと空き家が減って今はちゅうちょしている地域への人口が多くなると思います。あとクルーズ船で海外の人がきたら「田んぼ」（見た目がキレイな時期）をバックに写真をとるとかのコース？を数個作るのもイイかなとおもいます。 きっといいアイデアを出したとしても上からつぶされたりするんでしょうが…笑 若い方がいい方が大変ですよネ。おつかれ様です。
- ◆ 国の人口統計などを見ると、2050年には1億人を割り、2100年には6000万人になると言われている。酒田市においても、25年後には67000人まで人口が減る統計が出ている。とにかく、若い人の流出が止まらない中、若者定着に向けいかに、行政が旗振りするのかにかかっている。「陸の孤島」と言われて久しいが、何もかわっていないし、スピードが遅すぎる。高速交通網を整備して、企業誘致を増やして雇用を創設する。損して得を取れではないが、税制面の優遇を前面に出して企業誘致を進めてもらいたい。地元にお金が回らないと経済が萎んでいってしまう。移住政策も大事だが、67000人の年齢構成も分析してほしい。高齢者がどの位占めるのか、財政でもシミュレーションを基に、福祉政策の充実を図ってもらいたい。その為には、お金が必要であり、安定した法人税収入のマップを図る必要があると思われますのでよろしくお願いします。
- ◆ 酒田市の未来が心配です。人口の減少… 若い人が外に出ていってしまうのも理解できます。県内だけ出なく県外でも成功している取り組み等を参考にさせていただきたいです。企業も都市も若い人がいなければ継続していかないと思います。
- ◆ 私はお金が無く携帯を持っていませんので全部SNSを行なっているものとして情報をださないで下さい。皆様は税金の使うことばかり考えているんですかね
- ◆ 問13の景観形成が市民に見えてこない。 ・商業高校跡地に酒田関所を移設しせっかくの歴史的な所を観光に役立てたら？ ・本港地区にクルーズ船を入港させなければ市街地への恩恵はないと同じ ・交通安全の観点からも道路路面の整備、白線整備の徹底、街がやすっぽく見える。 ・点在している観光・景観・歴史地点をつなぐバス路線の必要性
- ◆ 1.冬や雨天の時など子供達の遊ぶ所がないので屋根のある広い所がほしい(どこかの学校余っていませんか?) 2.冬や雨天の時お年寄りの散歩したりする所がないので余目みたいに、体育館に空中散歩コースがあったらいいな、と思います 3.中町をワクワクする町にして下さい。清水屋が恋しいです。 4.インターネットができない人が多いのに、なんでもかんでもインターネットは不親切だと思います。
- ◆ 若者が行きたいと思う商業施設がない。作ってほしい ・中心市街地の活性化はいいが立

体駐車場や有料駐車場では、行く気すらならないので中心市街地でなくても駐車場完備の商業施設を作って、市外に買い物に行かなくても良いようにしてほしい ・産婦人科が少なく出産時に医療機関を選べない。産婦人科を増やしてほしい ・高速道路や新幹線を伸ばせば酒田を訪れる人が増えると思う ・気軽に入りに行ける入浴施設が少ない ・映画館を作ってほしい

- ◆ アンケート実施、ありがとうございます。 歩いていて心地良い町であるが、自動車へは至って怖い町である。浜町や匠町、一番町辺りの通行方向の案内が曖昧であったり、誘導が直前で変化するので、怖い。或いは、遠回りに誘導されてしまったり、入らない車線から入りこんで来る車がいるので、恐怖を感じる時がある。 従来の町を生かした町づくりだから、道路に手を入れなくても良いので、「案内」と「誘導」の標識を、もっと手前から～順々と～わかりやすく移動できるように設置(工夫)してほしい。 駅東は下水整備が50年前からすんでいてありがたいが他ではまだ浄化槽で暮らしている人たちもいる。法改正もあって、高価な負担や、毎年の経費もかかって大変。故障があれば自己負担であるのも大変だと言っている人々もいる。市全体の下水の整備もすすめてほしい。
- ◆ 若者が活躍できる事業をもっと増やしてほしい。 定住者が増えるような町づくりをしてほしい。 LINE でコロナ関係がわかりやすくなったのはありがたいので、他のイベント情報なども積極的に通知してほしい。
- ◆ ○移住者の確保 ・移住者を確保するための居住する場所の確保、働く場所の確保が重要であると思います。 ○歴史の保存 ・古い建物がほとんど無くなってしまい、古き良き酒田を感じられることが無くなってしまった。 ・割烹小幡利用した経験のある人々には残念な気持ちしか残らない。観光施設にするのならば、新たに建てた方が気持ちの整理がつく思いです。 ・酒田の総合的な歴史を学べる場所がないと思われる。鶴岡であれば致道博物館のような施設があればと思う。酒田は歴史を捨てたのかと感じる。 ○まちづくりについて(特に酒田駅周辺) ・酒田駅周辺は買い物難民状態です。酒田駅周辺のまちづくりは失敗しないよう願っています。 ・利用者のニーズを調べて対処すれば、空き家に住む人も増えてにぎわいをとり戻すのではないかと思います。ぜひお願いいたします。
- ◆ ・駅前から駅裏にすぐ車で通れるようにしてほしい。 ・公園の使い方。(ボール使用禁止、犬の散歩禁止など住民のことを考えた使い方ができていない)老人のグランドゴルフで使えない時間帯がある。 ・「ミライニ」の使い方。もっとひらけた空間にほしい。 入りにくい。
- ◆ ・もっと、教育や結婚、子育ての面で支援を増やした方が良いと思う(金銭面など) ・少子化や市の人口が減っているのに支援などが増えたりしない限り何も変わらないと思う自然や地域活動は大事だとは思いますが、その活動をこれからしようとする若者や、子供にもっと良い支援や控除等行った方が良いと思いました。
- ◆ 活気の有るまちづくりをお願いします。
- ◆ ・冬の歩道の雪かきを機具でして欲しい。(道路の雪かきされた雪がそのまま歩道にあり歩きづらい)。 ・駅前がにぎわうまちづくりを進めてもらいたい。 ・本場の豚骨ラーメン屋があればよいと思う。

- ◆ 松陵保育園、松陵小、一中、光陵の通学路交差点はキケンで道路幅もせまくて生徒だけでなく通る人や車も大変キケンです。各道はなおのこと除雪もなされていません。もう少し考えて信号機に矢印のあるものに変更を希望します。(交通量の方もあるのでしょうか?) 一中でのいじめ事件をはっきりとしていただきたいと思います。1人死亡しているのですから…インペイはこまります。かかわった校長先生特に担任の先生バレー部顧問の先生は何も感じないのでしょくか? そんな人に子供をあずけられません。何のいたみもわからない人は先生をやめるべきだと思います。その辺を市長はどのようにお考えなのでしょう? 疑問に思います。光ヶ丘陸上競技場付近にある自主きせいのある止まれを「止まれ」にしてほしい。止まらずに出てくる人が多く事故もあるし…なりそうになったのを見かけます。あぶないので…「止まれ」に変えてもらえないでしょうか?
- ◆ いろんな分野に頑張ってください。応援しています。酒田市のますますの発展を願っています。
- ◆ 今は若い人向けではないと思う。言い方は悪くなりますけど、お年寄りメインな気がする。何年か前に引っ越して来た際、若い世代は周り、近所には居なく、近所の人優しく迎え入れてくれたが、自治会の活動への参加は昔ながらの考え方の人が多く、参加したくないし、入りたくないのが本音!! 子供が育ち、定年退職して時間に余裕有る人と一緒にされても、こまる!! 子育てについては、酒田はもう少し手厚くしてもいいと思う。友達の話を聞くと余目などうらやましく思う事もある。酒田には親が居るから酒田に居るけど、その理由が無ければ居ないと思う。駅前はずかしい!! 中町などを見ても若い人がいない! 市外への流出を止めないと。よく、「若い人は…」とか、「参加しないくせに」とか「意見を言わないで」とか言われますけど、そう言う風になっている、昔の考え方の人がいるから若い人が入りづらい。今の酒田市のままだと今後も興味が出ないし好きにもならないと思う。もう少し「若い人」を考えてほしい。人自体は良い人ばかりだが、昔の考え方が強い!! 新しい考え方を入れないと!!
- ◆ 大学進学や就職等で地元を離れても、地元を身近で感じられるようなオンラインを用いた取組みも面白いかもしれない。コロナで帰省できない人もいるので尚更。具体的には、URで観光スポットを映すとか。どこに居ても誰しもが酒田を楽しむことができる。
- ◆ ・若者が働きやすく、定着しやすい町作りにしてもらいたい。 ・これからの超高齢社会にむけて、だれもが長生きできる環境作りをしていただきたい。
- ◆ 出前講座の充実、わかりやすく、難しくないもの
- ◆ 調査おつかれ様です。多様な意見があると思いますが、ただの市民のガス抜きにとどまらず、必ず良い街作りに生かされることを望みます。私は県外出身者ですが、酒田はトータルでは住みやすいと感じています。住む前は、国道を通り過ぎるだけの町でした。つまり、駅前などの市街に魅力が見えません。これは今も同じだと思います。車をとめる場所がないと、人が集まりません。電車は期待できません。また、現在子供がおりますが、学校のレベルが低いと感じます。教員、市の教育機能の意識が低いのだと思います。一中の自殺問題についてもそれが見られます。これに対しては、必ずしっかりとした答えと今後の対策、具体策の開示をお願いします。市役所では窓口の方々はていねいに対応してくれてあ

りがたいですが、その他の方々の活動がよく見えません。最低限の省エネ活動ではなく、最大限の働きを願います。

- ◆ コロナという目に見えないウイルスにみんな戦っているなかで、感染予防もわかりませんが、行事は少しでもいいのでやって頂きたいと思います。中町をどうにか再生して頂き酒田市の人口増す努力をしてもらいたいです。市のみなさんも頑張っているのはわかっていますが、どうかよろしくお願いします。
- ◆ 私は日常的にるんるんバスを利用しております。大変助かっておりますが、今のところに全ての停留所に屋根、椅子が設置されておられません。福祉バスと銘うっていますので、足腰の弱い人のために、せめて椅子だけでも設置していただければと、どうかお願い致します。中町の清水屋が無くなって以来、中町に足が向きません。なんとかショッピングモールのような形での再現は出来ないでしょうか。多くの市民の希望か、と思います。広報誌「私の街さかた」は毎回編集の方のご苦勞を思っています。特に市議会だよりの白雄史郎氏の写真が〜がきれいでいつも感心して、そしてまた深い感銘を受けております。鳥海山の四季の姿をこんなにも美しく見せていただいてありがとうございます。
- ◆ 現在も周りと比べると良いと思うのですが、よりいっそう治安が良く安全なまちであってほしいと思います。バランスの良いまちだと思いますがもう少し特徴があってもいいのかなと思います。いつまでも食べ物おいしいまちであってほしいと思います。
- ◆ ミニ新幹線の早期実現 駅前の活性化(食堂、子供の遊び場、その他) 中町の活性化(イベント、娯楽、その他) 高速交通の早期実現
- ◆ 市の総合計画として、よりよい酒田市を目指すことは決りますが、これからは人口も減少していくので、広域的に取り組んでほしいと思います。新しいことが好きな酒田市、どこよりも早く進めたいことは否定しませんが、デジタル化は、高齢者には、住みづらく感じます。今回のアンケートが、しっかりといかされることを期待します。
- ◆ 中町にある無印良品のお店をもう少し大きくして、ずっとあると酒田が少し発展すると思います。(無印良品は人気があります)
- ◆ 自然環境、豊かさは必要ですし心は豊かになり癒される住民は多いと思いますが、果たして若い層は満足しているでしょうか？心の豊かさだけでは生活できないし十分な雇用状況でなければ大学生も帰って来ようと思えないのでは？比べると鶴岡市とは大きな差あります。(と、思います。) 企業誘致他。また、これから冬本番ですが、毎年、圧倒的に除雪への不満が大きいのはきちんと把握されているのでしょうか？そういった細々とした意見だけでも北国である酒田にとっても大きな問題である部分を改善しないと若い人達も活性つかないし、老いた人達は疲弊するばかりの、くたびれた町になってしまうと思います。
- ◆ 市の職員の皆さんも一生懸命やって頂いていますが、どうしても縦割り、担当外のことは、たらい回しになります。
- ◆ 少子高齢化に伴い酒田市自体が活気のない町になりつつあると感じています。全国的にどこも同じ悩みを抱えている市町村が大半だと思います。言わずもがなですが若者が定着するには働き甲斐のある職場が地元にあること、休日等のレジャーや買い物が地元でも満

足できる魅力的な商業施設等があれば、賑わいを保つことができます。企業誘致や企業家への支援など県外就職を減らす施策と、魅力的な商業施設、集客できる商業施設が求められています。先般「マリーンファイブ」が破綻し酒田の住民は郊外の大型商業施設しか選択肢が無くなってしまいました。何処の町にもある全国区の商業施設ではなく酒田独自の集客できる施設が必要と考えます。近隣から酒田に買い物に来て食事をしていく、定住は無理でも交流人口を増やしお金を使ってもらい地元にお金が落ちる仕組みが必要と思います。先ずは、地元酒田で働ける職場を多く確保することが最優先、並行して魅力的な商業施設の建設を望みます。

- ◆ 人口が増えなければ税収も増えない。働きお金を生む「仕事場」を提供して、地方に住み、そこで家族を作り暮らす。良いサイクルになると良いです。住めば酒田は人良い。食良い。自然も○。でもお金が無いと、生きていけません。市で出せるお金には限り有り。自らお金を創るには働く。働く場を、企業誘致を願います。観光…全国の名所に比べればスケールが小さい。しお金を使う食堂や土産屋も少ない。…一度訪れてもらうより住んでもらった方が良く考えます。酒田は良いところです。子供、孫と一緒に住みたいです。が仕事が無ければ、わがままは言えません。
- ◆ ・交通が、年々不便になっているバス等。 ・駅前、市内中心部、山居倉庫周辺他。それぞれテーマの統一した、街づくり。 ・旧清水屋の活用
- ◆ 中心市街地の機能強化と再整備 大型店(清水屋)跡地対策で酒田市による全面支援 (参考)山形市の大沼に対する市の支援の様に！
- ◆ 文化センターや希望ホール等で家庭内での使用しなくなったブランドピアノをひきとっていただき、市民のみなさんに安く使っていただくのは、どうでしょうか。
- ◆ 鶴岡の人口芝アリーナの様な施設を酒田にも作って欲しいです。
- ◆ コロナのせいもありますが酒田市の町中は、死んでいます。人々の影も見えません。私の子供の頃は、中町通りは特に人がたくさん出て休みの日はバスで出て来て映画を見て中華そばを食べて行く人達でいっぱいでした。今では全国チェーンの店などに押されて人通りもありません。又商店街になにも魅力がありません。今の若い世代の人々はまだ親の残してくれた財で食べていっているのか？何か考えなければ死んでしまいます。感じて見ると今は商店街の人達もあまりとなり同士の付合が無いように見えますバラバラに見えます。我が家の事しか考えてないように見えます。もっと人々を平らげるようなアイデアでも出す人いないのでしょうか。
- ◆ 他の市、県、国ではない酒田にしかないものは、身近な所にあるような気がするのですが、なかなかみつきりませんね。NHKの「世界街歩き」観ていても観光用の番組の裏側は、見えにくいけど、ヒントに近い物や考え方はあると思いました。形だけでなく、風土というか、歴史プラス今住んでいる人間達の気持が、伝って来る時があり、世界に強く発信できるものは必ずあるといつも考えています。
- ◆ 清水屋後に老若男女が集まる施設を希望 山居倉庫、中町、日吉山、港と楽しみながら散歩出来たら嬉しい
- ◆ オリンピック、パラリンピックなどで様々なスポーツが注目されてもそうしたものに接す

る機会がない。他の市町村では町おこしで3×3のバスケのコートを作ったり、スケートボードのパークを作ったり熱の冷めない内に行動に移っているが、そうした行動すら見られない。(私が子供の頃から)そもそもスポーツや芸術においては幼少期からチャレンジできる環境が整っておらず小、中、高と進学しても選択の幅がせますぎる。人口減少や少子高齢化により参加者が見込めないという見方もあるだろうが、そもそも挑戦すらできない場所に生まれた子供達はかわいそうである。市や地域でイベントなどを開催し、新しいものや文化に触れる機会を増やせば“可能性が広がる街”として子育てや移住者なども増えるのではないだろうか。

- ◆ 桜並木の歩道が、桜の根が盛り上がっていて、歩けない。転んでしまった。中高生が自転車で通れるような歩道を自転車の道路の整備が必要ではないでしょうか。ガードレールがなく、すぐ川という所もある。歩道も整備されていると散歩等で健康へもつながる。公園等の整備も必要であるが、草かりやアメシロの徹底で、きれいな衛生的にも気をつけて欲しい。バスの運営面も充実してもらえれば、中心部にもっと活性化されるのではないかな。免許がない人でも行ける所を増やして下さい。コンサート等を誘致すれば、中心部が賑わうのではないかな。
- ◆ 現在、小学生、幼児の子育て中です。夫の転勤で県内を転々し、数年前に地元酒田へ帰って来ました。県内の様々な市町村へ行きましたが、人柄はやはり酒田が一番！！と思います。今でもここ、酒田を誇りに思っています。そして、とても住みやすい町だと思います。ただ一つ、「子育てしやすい市」「教育が充実した市」という面でいくつか課題があると思います。広い屋内遊具施設(小学生が思いきり体を動かせる環境)や小学校中学校教師の資質向上、これに尽きます。小さい乳幼児のあそべる施設はありますが、小学生が雨天時に体を思いきり動かす環境がないので運動面の発達が非常に乏しいと思いました。小学、中学の先生、大変な職務では(私も教師です)ありますが、人間性を疑ってしまう先生が多々いるのが実情です。保護者、教師との連携があつての子育てだと思っています。保育園・幼稚園のように密に活せる環境が、これからの時代に必要です。「生きる力」を育くむ支援環境、「主体性」を重んじる教育環境が子どもには大切です。ぜひ検討いただければ幸いです。
- ◆ 有難い事に娘夫婦が酒田に戻ってきました。職探しには苦労しました。孫が生まれて、大きくなった時、酒田を離れるのが…酒田にいても、暮らせる、仕事が豊富にあつて、子育てが安心してできる、やさしい街になる事を願います。
- ◆ 車時代なので皆郊外へと人が流れています。街の空洞化をふさぐためにも小さな子供から大人高齢者も楽しみながら過ごせるような施設。一度に買物、食事など出来るような大型店などが集まれば良いと思います。良い物があつても一軒一軒入りづらいので特に子供たちが遊べる様な大きな郊外にいかなくても…そういった施設があればいいです。
- ◆ 子供は国の宝！職を失った母と子でも残された子供1人でも生きていける方法は？あらゆる、補助、保護、財産権を税理までも見通し。日本独自のベーシックインカムを構築すべき時です。
- ◆ 若い方の雇用が増えれば定着者、定住者が増えてくると思う。公益大生が増えれば尚良い

と思う。酒田も食文化に力を入れるべき。酒田の郷土料理をもっと！！ラーメンばかりでは困る。酒田のフレンチというカテゴリーをもっと利用してはどうか。酒田には調理師学校もあるので、生徒+市内のフレンチレストランでコラボメニューを食べられるという企画もあって良いのでは？（和食でも中華でも）鶴岡でやっているようなジャンルを越えた調理人のコンテストもあったら面白いと思う。先日の冬花火の件はいかがなものか。酒田花火ショーはなんのために中止にしたのか。どこで許可を出しているのか知らないが、それを周知した上での事だったのか？大変疑問に思う。迷子になった子白鳥、パニックで飛び去ってしまった白鳥も多いと聞いている。とても残念に思う。

- ◆ 酒田に住まないとうつ病とか PTSD とか色々、悪化する（した）。酒田にUターンして、彼に仕事を辞めてもらうまで住もうとしているのに、頼ろうとしていたA型事業所が消えると聞き、本当にそういう施設を必要としている人への配慮がなくなってしまったのか？と強く感じている。障害があって、さらに病気が悪化しやすい体質である。私は、この街では結婚し子供を産む以前に、「普通」の生活をしたいと願うことも許されないのか？と残念に思っている。その為、消えたい、死にたいの毎日である。こういう人が存在することも理解して欲しいものだ。他の障害者の言葉もここに記すのであれば、「ふざけるな」につきてしまう。なんとかしてほしい。
- ◆ 駅前、中町の活性化
- ◆ 1、人口減少対策に本腰を入れて取り組んで下さい。・自然災害が少ないのをアピールして、若者に魅力ある企業誘致を積極果敢に挑んで下さい。・子供2人以上安心して産み育てられる支援策(ex.児童手当拡大…18歳まで、市独自上乗せ、子育て応援団活動を評価し、活動の輪を広げる。)・定住、移住者を増やす為、空き家をリフォームして有効活用する。2、コミセン利用率を高めるために・土、日、祝日、普通日の17時以降の利用申し込みの受付は、管理人が居るのに「まちづくり推進課」の指導により出来なくなっている。もっと制約を緩めて利用しやすくしたらどうか。サークル活動の利用も減っているように思われる。※ご苦労様です、よろしく申し上げます。
- ◆ 子供達が住み続けられる酒田。仕事がある酒田
- ◆ ・鶴岡市の様な側溝がほしい(雪をすてられる)・高卒→大企業 中小企業に働き手がこない。大企業でざせつした者しかまわってこない。地元中心地元以外の企業が入ることによって地元田舎の環境がくずれていく。
- ◆ 希望ホールにもっと著名な方を呼んでいただきたい。いつも鶴岡に行っている。
- ◆ もしえのん、あののんがとてもかわいらしいと思うので、酒田の観光や教育の場面でもっと活躍してほしいです。先に行われた衆議院議員選挙、市議会議員選挙、コロナ対策など会場のスタッフの皆様お疲れ様でした。安心して投票できたと思います。市議会議員選挙で当選なさった方の中に、過去に市民の信用を失う事をした方がいらっしゃるかと思います。今後は以前の様なことがない様、クリーンな市政を行っていただきたいです。
- ◆ 市役所は用事があれば行きますが、清水屋があった場所周辺商店街などには行く事がありません。車社会なので無料の駐車場がないと敬遠してしまいます。駅前も都会ではメリットだと思いますが、地方では逆に行きづらいイメージです。やはり、郊外の広い店舗に行

きやすいので、中心部の、狭い不便を上回る魅力のあるまちづくりが必要だと感じます。一つ大きな立体駐車場を作り、庄内にはなかったお店を空き店舗によんで、以前からある地元の店舗と融合してお客さんに来てもらうなど。

- ◆ 二年ぐらい前に酒田に引越し済んでいますが、公園もたくさんあり、子供たちが体を動かせる環境ができていてありがたいのですが、酒田には室内で遊べる広場が少ないので雨の日やお友達と遊びたいときに気軽に行ける施設があれば利用したいです。幼児だけでなく、小学生も楽しく遊べるアスレチックなどあるとうれしいです。夫の実家が福島なのですが、室内で遊べる施設がたくさんあり、体育館などを利用していたので、あまり使われていない体育館などを利用して、少しでもコストをおさえながら、子供たちが遊べる環境が酒田市に増えてくれるとうれしいです。
- ◆ 大雨になると道路がかん水し車に水が入るので不安です。
- ◆ 防災放送が、大雨の時には聞きづらい
- ◆ 除雪をもっと上手に。凍結防止剤を早くまいてもらいたい。冬道の運転しやすいようにしてもらいたい。
- ◆ 人口をふやすための対策がたりない感じがします。特に子供安全安心子育ての楽しみが多いまち造りを。
- ◆ 酒田駅、駅前のミライニ山居のイメージもあり。近代的なイメージもあり、とってもステキです。歩いて楽しめるお店が増えてほしいです。
- ◆ 海がきたなくゴミが多い、トイレがない。砂のかき出し、浜中、十里塚がうまる。海の観光はどうしたのか、大浜の公園はうめたてて砂捨て場所でかんせいなのか。湯野浜や由良を見習えたらどうかと思う。本当にジオパークなのかと不満しかない。入場料を取ってでも整備していくべきです。
- ◆ 交通の便を良くしてほしい。(高速道路、新幹線 etc)若い世代が住みやすい町(働く場所、レジャー)
- ◆ 1.騒音禁止条例を作って夕方から夜間爆音を出して走るバイクを取り締まってほしい。2. 暗い時間に外出する歩行者、自転車は必ずライトを点け通行しましょうと広報で呼びかけて交通事故の少ない酒田を目指してほしい。3.園児たちにハロウィンなど外来行事ではなく猪の子もちや落ち葉焚き焼芋など日本の古い行事を保育園で伝えてほしい。4.ハーバーラジオで市議会の議論の音声を放送してほしい！5.ガソリンや灯油に支払ったお金の内地元に残るのは1割で9割は県外の業者に行くそうで山形県小国町では、もみ殻を圧縮して暖房用の燃料モミガイトとして使う試みがなされているとのこと。酒田でももみ殻や間我材など放置されている資源がもしあるのなら似たことが出来るのか検討してほしい。6.石油由来の洗剤は下水処理場でも分解されず放流後は川底や海底に溜まり、水生物に悪影響を及ぼし続けると本で読みました。もし酒田の処理場でもそうなら、分解されやすい石けんを使うよう広報で呼びかけてほしい。7.新井田川にホテルが棲むぐらい清流になってほしいので汚れや濁りの原因を解明して市民になにかできるか教えてほしい。
- ◆ 冬場の除雪の件。主要幹線だけではなく、脇道もきちんと除雪してほしい。排雪設備に不十分。雪捨て場がない為大雨時困っている。地球温暖化により、今後異常気象の発生が多

くなると思います。災害時に防災放送はとても重要で、が、はっきりと聞こえないです。外に居ても窓を開けても良く聞こえません

- ◆ 地方公共団体においては最小の経費で最大の効果をあげなければならないという原則があるのは承知していますが、それに基づいてまちづくりをしていては、他の自治体との差別化は図れないばかりか酒田のようなこれといった強みのない自治体はすたれる一方です。老後に住みたいまちではなく、若者(生産年齢人口)が増えるようなまちに私は住みたいです。安易な考えかもしれませんが若者が住みたくなる格好良いまちを目指して欲しいと考えます。山居倉庫を中心としてあの一帯を明治っぽい街並みにして下さい。(最低限、茶色くしてくれたらウェルシアくらい)すたれた中町商店街を赤字レンガを活かしつつ、市が大規模に修繕を行い、市街にある各店に出店(テナントを安くするとかして)(個人的には好意やけんちゃんらーめんとか)中心を活性化させて欲しい(中心もにぎわっていない町の郊外がにぎわうわけがないので)市役所や、産業会館の駐車場のキャパを考慮しつつ、週末中心ももっとにぎわう。車の利便性を高めて駐車スペースの確保も重要とおもいます。かんさを恐れているといい町は作れません。頑張ってください。応援しています。
- ◆ 自家用車を所有せずに来られるまちづくりを推進して欲しい。低所得者が、多いまちであるにも関わらず自動車税や保育料、高過ぎる。軽症で医者にかかる人が多すぎる。無駄0~2才の保育料は我が家で月4万45百円まわりの家は0円。主婦の家で主人の稼ぎは良い所もある私は将来が不安で妻に働き続けることをお願いしていますが、働かない方が大きな得をして、日銭を稼ぎ将来に備えようとする人からとんでもない額を採取する酒田市。助けて欲しいです。本当は苦しい。ローンや借金で自由に使えるお金はありません。不公平極まりない。そういう人には無償貸付ではだめなの?まちなかに住んで欲しいエリアを居住誘導エリアとか使っていたけど、やっつけ仕事にも程がある。金がないから住めない。口や計画だけでなく、助成や税控除で助かる具体策のひとつも出してみろ!としより保護ばかりで若者をなめくさっていると思う。でも生まれたまちで好き。かわってほしい。
- ◆ [道路の白線] 全体的な見た目のキレイさと高齢者が多い町なので事故の防止のために駐車場の白線を濃くはっきりと引き直していただけるとありがたいです。[除雪] 東雨羽町(やきにくきんぐ)~若原町の除雪に力を入れて頂けるのはありがたいです。雪でガタ付いたり、ぐしゃぐしゃになり通りにくく、対向車線に出そうになりヒヤヒヤしたことがあった。また、昨年周りで「大雪で雪を捨てるところがなくて困った」という話もちんちんあり、町中にも雪を捨てられる場所があってもいいように思いました。[学区] 小~中学校の学年振り分けについてはストレートに1つだけと決めずに他に2、3候補の選択制にしてもいいのではないかと思います。小~中学校に上がる時に人間関係が良くも悪くも一部ではそのまま続いてしまうことで嫌な思いを持ったまま学校生活を送ってしまう生徒を減らした方がいいように思いました。[道路の白線、追記] 東中の口のフォトキャンパスあたりの橋を越えて三車線の矢印になるところの矢印表記が見つらいので橋を越える前あたりからも白線と矢印の表記をした方がいいとおもいました。色々と書いてしまいましたが検討していただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

- ◆ 飼い犬を連れていれる公園がない。何らかの対策を望みます。(市運営のドッグランの増設など)(飼い主のマナー向上喚起の徹底など)
- ◆ 旧酒田市内に温泉と名の付く施設がなく、かんぼの里の再利用を酒田市の方で検討していただきたいです。
- ◆ 酒田市の住民が享受している環境や生活の質の高さには非常に満足しています。なお、かつて清水屋があった場所には、新しいモダンなソフプレイエリア(伝統的な物ではなく、建設家の隅研吾氏の影響を受けたモダンなもの)、体操エリア、中国の都市で見られるように、ベンチ季節の珍しい商品を販売する自動販売機エリアなどが必要だと思います。私の周りのティーンエイジャーたちは酒田に ROUND1 をオープンさせたいと思っています。若い人たちが酒田で楽しい社会生活を送り、ここで人生を送りたいと思うような、現代的な魅力ある場所を作るのが良いと思います。私は海外で生まれた、酒田で人生を全うするつもりです。いつでも私の意見を聞かせてください。
- ◆ 小さな頃から親しんだ日和山。小幡楼が生まれかわり、日和山周辺がとてにぎわっていてとても嬉しく思います。これからもずっと多くの人々が集うこととなればと願っています。酒田は冬という季節に弱いところのような感じがします。冬に楽しめるイベントは寒ダラまつりですね。魅力あるイベントですので日本一になるぐらいの大きなイベントにつくりあげていくのはいかがでしょうか。例えば、日和山にたくさんの雪灯籠をつくり冬の日和山を楽しむ。雪像コンクール(学校対抗コンクールにするとか)冬の花火大会。(夜にイベントをすることで旅行者は酒田宿泊することになれば経済効果あり)。併せて中町方面の商店街とも連携し、スタンプラリー、抽選会で中町もにぎわいをとりもどすことができたなら。今年はタケカワユキヒデさんが「寒ダーラー♪」ってうたってましたね。コラボしたら楽しそうですね。人の手も必要ですのでボランティアを募るとかして、酒田市みんなで作るお祭りに、できたら最高ですね。これから先 20 年先には日本一の寒ダラまつりになって、後世につなげていける冬のまつりを市民みんなで作られたらとても素敵なことだと思います。
- ◆ 酒田は日本初の自治会ができた事や本間様~のように豊かな方がいらっした。酒田は根っこはそこにあると思うのでそこを掘ってほしい。維新繁栄を願っています。
- ◆ 過去一年コロナで行事、イベントがなかった。
- ◆ 清水屋のあった所にラウンドワンがあると庄内の客を呼び込めるのではないかと。私は大学進学で、東京で暮らし、就職で酒田に戻りました。東京に今も住む友人は「就きたい仕事がない」と言い、戻らない同級生が多いです。様々な職種があったり、子供のうちに酒田ならではの職に親しむ機会があったりすると酒田出身の人が戻ってくるのではないのでしょうか。山形の自然に憧れる首都圏の人たちも多くいます。そういう人達が気軽に来れる(住める)環境があると良いと思います。住人のいない土地にアパートを作るとか・・・。市役所の皆さん、日々ご苦労様です。微力ではありますが、酒田で働く人間として自分が酒田のためにできることをやっていきたいと思っています。
- ◆ 1.雇用の場の確保と賃金の向上が急務と考える。(これは全国の地方の町が抱える課題であり市というより国の問題であると思うが) 2. 新幹線の誘致 3.経験則からして文化に

については酒田市には能力の限界があると思うので期待していない。

- ◆ 1.街中で良く目にする丸山市長の酒田のラーメンポスターを見ると不愉快な気分になる。市及び市長が一業種に肩入れする姿勢に疑問を感じる。ラーメン程度で街は賑わないし、むしろモラルのない遠方から訪れる車やバイクに迷惑している。SNS でラーメン店主が市長室訪問とかの感想も勘違いが甚だしい。2.新井田川沿いの整備を景観を含めて行ってもらいたいが、ウォーキングや犬の散歩のフンの片付けと利用する人に泥棒はお断りします。また東高の生徒を送迎する親やバスの両側駐車は危険極まりない。3.酒田市体育協会の指導者に不適切な方がおられるようだ。また様々な施設において民間委託の指定管理者制度もいかがなものか。4. 自転車で市街地を回遊できるサイクリングロードを整備してもらえたら有難い。安全に子どもと市内を乗れるようになったら良い。5. 新井田川沿いの住宅に山居倉庫と一体感がある色規制を設けてもいいと感じる。(黒、白、灰色のモノトーンはいかがか) まずは、屋台船のみずきの紫は市で補助してでも色の塗り替えをお願いしたい。6. 高速交通網が行き届かない地域だからこそ残せる物もあると思う。不便で時間をかけてでも訪れたい魅力的な街づくりを期待します。
- ◆ 市長が表に出て来ない。顔の見えない市長。もっと市政を市長が顔を出し、訴えてください。そうでないとコンサルタントに作られた「まちづくり」と思われますよ。市民に選ばれた市長であるのですから、市長に選ばれた副市長、その他の市職員ではなく、市長自らが意見を述べてください。最近見た、聞いたは知事選の時かな。あれじゃあ、知事にはナメられてるよね。酒田のほこりをもっと大きく出して下さい。
- ◆ 時々住宅地ウォーキングしたり、テレビばかり見て過ごして居ります。駅前がちょっと街らしくなり嬉しいですが、寒い冬が近づいてきてウォークする場所がなく運動不足になります。屋内でウォークする場があれば嬉しいです。高齢者になり何もかも諦めてしまうこの頃です。
- ◆ 酒田市立図書館について、4ヶ月を要する大変な引っ越しであることは十分に理解しております。ただ三日と開けずに利用している私にとっては正直申せば不便の上ありません。移転に要する4ヶ月の間をどう過ごすか・・・。利用者にとってはそれが最大の課題でしょう。分館を利用するのも一つの選択ですがそう思った時なぜ冬季期間を狙ったかのような移転計画なのか。理解できませんでした。つまりところ移転期間中の利用者に対する配慮が全くと言ってよいほど感じられないのです。この点は大変遺憾に思います。酒田市の文化に対する姿勢を垣間見た気がしたと言っては失礼でしょうか？
- ◆ 酒田市でモンテディオ山形の選手の公開練習をしてほしい。それによって子供たちがスポーツに魅力を感じて、運動のきっかけになるかもしれないから。
- ◆ 免許返納を考えている者です。1. バス停でバスを待つためには、雨風・吹雪・酷暑軽減の為、上屋、風よけが必要と考えます。2. 地産地消、地元の農・水産物などが買える場所が中心市街地にあると良いです。3. 1と2を踏まえての提案です。旧市街地に路面電車(バス・ART)を運行しその中はマイカー乗り入れ禁止とします。中には店舗・緑地・公園があり、市民は自転車・徒歩にて散策・買い物・緑を子供・学生・成人・高齢者の皆さんが楽しめます。全天候型の遊び場もあると良いですね。SDGsの極みと考えます。

※ART電車：レールなしで道路を自動走行

- ◆ 動物園を作る。(結構大規模)・人口が少なくなっていて通過するだけの町になっている。・山形県に動物園がない。・動物園が好き。・経営のノウハウはわからないができればいい。・平田の山奥に広い土地がありそう。松山だったら眺めも良い。・自然を満喫できそう。好き勝手書きました。すみません
- ◆ 市職員の皆様の日ごろのご活躍に感謝しながら……。1. 酒田市が、何のために、どんなことを、どんなふうに進めようとしているのか、その進捗状況がそうなのか、などわかりにくいように思います。その辺のことがわかりやすくなるようにお願いします。2. そのためにも、広報表紙の下方三分の一から四分の一に市長、副市長、部長、教育長、課長の市役所の幹部の皆さまの、市政を推進する上での目的や目標、考えや意見、構想や随想などを掲載するようにはどうでしょうか。3. これからの酒田市づくりのために、これまでにあったものや現在あるものばかりでなく、新しいものを作り出す工夫も必要だと思います。こう言っでは失礼ですが、酒田市には時間をかけてじっくりと育てるとということが少ないように思います。4. 新潟→鶴岡→酒田→秋田のつながる本格的が羽越新幹線の開通に向けて行動を起こすべき時だと思います。遠藤利明衆議院議員が山形から1時間の本格的な新幹線の開設の目指しているようですが、今のままだと庄内地方はますます陸の孤島と化し、国どころか山形県からも取り残されそうです。5. 老人ゆえのお願いです。
(1) これからの酒田市もAI化が進んでいくと思いますが、スマホを持っていない老人や持っても使いこなせない老人が少なくないことをご理解ください。私は一応スマホを持っていますが、先日の新型コロナワクチン接種の申し込みの際には若い人にお願いしてやってもらいました。例えばこれを検診の際の地区割りを活用するという訳にはいかなかったのでしょうか。(2) 視力に自信がなくなってきたために75歳になった時に自動車運転免許証を返納しましたが、その後の交通手段の不便さには辟易しています。「るんるんバス」等の一層の充実をお願いします。6. 今回のような調査は、これから酒田市で生きていかなければならない20~50代の方々にこそ意見を聴く機会を数多く設け、より良い酒田市建設のために資すべきと思います。
- ◆ ・子育てに対する取り組みについて、他市町村と比較したときにお金がかかる。我が家は3人の子育てをしているが、多子家庭に対する支援はもっと考えるべきではないか。例)・3人目の出産に対する一時金制度(但し、給付金支給後10年定住など)・3人以上(2人も可)の子育て世帯に対する税制優遇など(市民税軽減など)・単身(老人)世帯に対する取り組みについて、自治会役員にもなっているが、自治会の役割は大きいと考える。自治会を1つの組織とせず、優劣をつけるのもよいのではないか。例えば、活動や若年に対する参加度などで、補助金の支給で差をつけるなど。そのような動きで、老人単身世帯を管理するようになれば、いいことがあるのではと考える。
- ◆ ・粗大ごみの処分について、不便さを感じる。土日しか時間がとれないが、土日は、受付休みの現状である。・高齢者と同居であるが、医者や買い物の交通の手段としての市内バスが不便である。目的地まで、遠回りすぎたり、バスの時間が空きすぎる。コースを細かくしたり、時間間隔を小刻みする等を要望したい。

- ◆ 「酒田市民でよかった」「酒田が好きだ」と思っている市民は何パーセントいるのでしょうか？「良かった・好きだ」と感じさせてほしい。もっと市民の声を幅広く聞いてほしい。本当に心から市民に寄り添ってほしい。口だけ、言葉だけではなく！！」酒田一中、パワハラ消防の対応には絶望しかない。自分の子供がそうされた時も、同じような対応をされても良いのですか？子供達だって、あなた方の心無い対応はしっかり見てるし、感じている。こんな酒田に将来住みたいと思うのでしょうか？「しょうがないから酒田に住んでいるだけ！！」です。
- ◆ ・公園に魅力的な遊具が少ない。すべり台とブランコだけで満足するのは未就学児や園児までです。子供達の体力低下を問題にするのなら、色々な高さの鉄棒（懸垂ができる高さ）や複合遊具、バスケのゴールなど、幅広い年齢に対応した公園を作ってほしい。東屋はもうありません。作るなら遊具も一つ以上増やしてください。公園の水飲み用の水圧を下げて欲しい。小さい子供にとって調整するのは難しいし、小学生以上にとっては大噴水として遊ぶものになっています。本来の目的と違うので、水圧を下げれば解決すると思います。・酒田一中の自殺問題を有耶無耶にしないでほしい。公式に発表しないからネット上に真偽不明の情報が溢れているのだと思う。安心して子育てできる街にするためには、風化させてはいけないことだと思う。
- ◆ ・百貨店の閉店で酒田の中心街、中町は寂しい雰囲気です。小・中・公益大の若い人たちを参加させるイベントを中町で行うこと、市役所、希望ホールの駐車場を自由に利用できたら人が集まりやすいのでは？それに伴い家族も足を運ぶのではないのでしょうか。・コロナ禍でリモートの利便性に気づいたことがあります。大手企業、優良企業、各省庁が都市に集中していますがUターンでも地元で仕事ができるようになったらと願っています。私個人のことですが孫 2 人（男子）が都市に住んだときに南海トラフが起きたらと心配しております。若い人がいなければ酒田の活性化にはならない。強くそう思います。
- ◆ 温暖化と言えど、昨年冬は大変なことでした。市の除雪も大変ですが年々雑になってきていることです。高齢者が多くなり、除雪の後片付けが大変です。もう少し丁寧をお願いいたします。
- ◆ 超高齢化社会に対し今後人口が増えていくことを踏まえもっと高齢者の方に親切なまちづくりを考えて欲しいです。今年の広報さかたに掲載されたコロナワクチン接種のご案内（65 歳以上）に不満があります。病院に何十件以上の問い合わせが殺到し 5/1 当日も電話が鳴り止まなかったという話を聞きました。また、予約の電話は全く繋がらず LINE 等の予約が出来ない高齢者には非常に（広報さかたの掲載内容も分かりにくかった為）困惑したと思います。高齢者の方が住み易い、親切なまちづくりを行う為、このようなことがないようにしてほしいと強く思います。
- ◆ 若い人が県外に行かなくてもいいように魅力的でやりがいのある仕事や地元で仕事がしたくなるような職場があったら人口減少もなくなるのではと思います。中町が以前のような賑わいが戻るといいなと思います。例えば中町までイベントやマルシェがあるとしたら、駐車場の事が心配です。それが解消されたら賑わうのではないのでしょうか？空き家が増えたと聞きます。移住したくなるような酒田の良さを全国に発信し、移住してくれる人が増

えたらいいなと思います。冬は寒くて雪も降りますが冬は冬で北国ならではの良さもありますね。

- ◆ 「せめて観光名所と言われている処だけでもキレイにして欲しい」例えば以前、私がよその街へ旅行へ行った時〚お手洗〚が綺麗な場所に出くわすとすごくテンションが上がり嬉しくなりました。生理現象は誰にでもあるものだし誰もが使う場所だからこそ快適な場所であってほしい。酒田市の某公園のトイレは、ちょっと用を足したいなと感じた時でも見た目のインパクトから入るのをためらってしまい我慢して、お手洗いが綺麗そうなお店を探して入ります。(他の人もそう言っていました)もはや観光名所??と思うくらいユニークなトイレも他の地方で見かけました。日本人は、とても清潔で、細やかな気くばりができる人種です。綺麗なお手洗いを作れば感化されて、トイレを使う人たちも綺麗に使ってくれると思います。〚SNS 映え〚するぐらいのでも面白いかもしれませんね!!
- ◆ 清水屋の後地に新しいデパートか駐輪場がほしい。駅にぜひ新幹線を頼みます。もっと若者が喜びようなお店を作ってほしい。PayPay はとても良かった。
- ◆ 大型商業施設をもっと増やしてほしい(三川町に全部持っていかれているので…)子育て支援策を講じてほしい(未熟児クラス一律無償化など駅前が閑散としているのもっと買い物スポットなどを作って盛り上げられればいいなと思う。
- ◆ 自慢出来る住み良い酒田に向かって尽力いただきありがとうございます。山居倉庫に感激した人と研修会(東京)で出逢い(山居橋を替えた年に来県したそうです)東京在住の 73 歳の女性により酒田の良さをあらためて知ることが出来ました。コロナ前は毎年、春夏秋冬来ていた時もありました。食事するお店が多いと驚いていました→商人の街だから接待場所の名残ですか?働く女性が多いから? 等々、質問に答えられる酒田にまた来ていただく知識が欲しいです。客船の歓迎はよかったですね。ところで、一中生徒が気になります。自死の生徒は悩み、不安、恐怖で頭が疲れていたんだと思います。頭が休めないから一。一過性の全健忘の状態で行動したのではないのでしょうか?(自分の意思ではなく記憶のない状態での行動)主犯と言われている生徒は、幼児の時からいじめ?攻撃?している子供だったと。(クラス替えの時には主犯の生徒と一緒にクラスにしないで欲しいと、願う親が数名いたと聞いています)医療の対象になるべき生徒だったのではないのでしょうか?今後も他の生徒やまわりにいる人をいじめ?攻撃?するのはと不安ですし寒々です。ペンを持つ手が震えます。攻撃?いじめ?を続けたのはなぜ?何が彼女をそうさせたのか?医療、教育や地域のかかわりの対象だったのではないのでしょうか。鶴岡の中学で(10 年~12 年前)生徒が工作を壊した時父親が壊された生徒の保護者を集めて生徒達が謝罪しました。父親は驚きの場を作ったけど、息子に学ばせたかったし救いたい気持ちだったと思います。(保護者の意見を聞かせていました。10 人位だったと思いますがそれぞれの考えを伝えました)都市計画で畑に下水道が出来ました。その後、畑として使ってないなら税金が違ふと封書し訪問がありました。以前の景色し(隣の畑は雑草)と違ってすることに気づいての行動だったと思います。変化している原因は何か?環境、身体の変化を観測して別のサービスにつなげるのを望むことは難しいですよ。
- ◆ 昔酒田に帰ってきて一番ホッとしたのは新井田川沿いを歩きながら鳥海山を眺めたとき

です。今でも桜の季節はとても綺麗ですし、花が植えてあったり、整備もなさっていただいているのはわかるのですがせっかくのあの長い1本の川なのに統一感がない様な気がします。(新橋方面では足元のアスファルトが桜の根っこが盛り上がり危ないところもあるみたいです。)山居倉庫と商業跡地にもつながっていますし、みんなが憩える場所になってくれたらいいなと思います。

- ◆ 若い世代が家を建てやすい、子育てしやすいシステムがあるといいと思います。
- ◆ 酒田駅前の繁栄
- ◆ まちづくりの提案にはいろいろあると思うけど、私からはその中よりも外部全体を書かせていただきます。他県から来てまたUターンして酒田に住み着いてる方が必ずいうのが、ここは「山あり、海あり、川あり、季節あり」で自然環境が素晴らしいと言ってくれます。又大きな自然災害もなくとても住みやすい好きな地域と言ってくれます。そこで力を入れて欲しいこと、山、川、幹線道路、田畑の管理整備です。具体的には山形県の母なる川・最上川は管理が十分にされておらず樹木、よし等が茂り放題、高速道、国道の道路は樹木、竹が茂り伸び放題で信号標識も見づらいところも多々。事故につながりかねない。そして、この地域の基幹産業である水田に於いては転作(減反)が進んでから耕作放棄も目立ち見苦しいところがあちこち見られる最近だと思えます。せっかく豊かで美しいこの地域の自然を手遅れにならないように元のような美しさを取り戻していただきたい。総合計画ではごく当たり前の自然環境を十分考慮して計画してほしいと願います。
- ◆ コロナ禍とはいえ海に面している酒田市で海水浴場が一ヶ所も開けなかったことは残念です。鶴岡市、遊佐町とも開いていたのにです。
- ◆ 正直、運行がよろしく無い。なので、鳥海山、飛島など、航路の料金を、安くして、もっと運行に、力を入れるべき。
- ◆ 例えばですが、自身が生まれた新宿・歌舞伎町の名付けの親は山形県出身者の石川栄耀(ひであき・えいよう)です。「評伝 石川栄耀」(鹿島出版会)高崎哲郎著、にも詳しく書かれてありますのでご参考ください。この方がいなければ現在歌舞伎町と名のつくところはなかったと言えます。歌舞伎町と名付けられたのは歌舞伎町の前身、“角苦つのはず”の町内会長が戦争焼け野原となった街を見て、これからは劇場や映画館、歌舞伎町を専門にする劇場(のちの歌舞伎座のような)を作り、観光地(全国初)化したいと当時、都の職員で都市計画課でもあり東京の戦後復興の最高責任者でもあった石川栄耀に言ったところ「だったら町名を歌舞伎町にしたら」ということで名付けられましたが、残念ながら他の劇場や映画館はできても歌舞伎専門劇場だけは叶わず、名だけが今も残っている状況です。このように歌舞伎町は山形県出身者が街づくりをし、名前までつけた山形県ゆかりの町です。そこで酒田にある“黒森歌舞伎”など伝統ある歌舞伎を歌舞伎町で行えば歌舞伎町もまさに名実ともに“歌舞伎町”となりまちづくりをした2人にとってもきっと本望に違いないと思いますし、歌舞伎町を通じ酒田の文化やそれに歌舞伎町にお酒は欠かせませんから酒田のお酒を全国発信できるいいチャンスだと思います。あくまでご提案ですから今後、コロナ後を見据えご検討いただければと思います。山形と新宿の架け橋になると思いますので、..

- ◆ 特色のある地場産業の育成と市民の支援意識の向上対策強化
- ◆ ご苦労様です。これから清水屋の件、旧市内の中心地ですのでいろいろお考えだとは思いますが、高齢者の参加ができる施設、何かできないものでしょうか？交通の便もいいようですのでぜひご検討ください、免許を返上したのものにとっては交通の便が良い場所が良いと思います。
- ◆ 酒田はいいところがたくさんあるのに観光客への宣伝が下手だと思う。県外からの友人にも言われた。関東圏への移動時間、鉄道は長すぎる。あののん、もしえのんがいるんだからもっと積極的にインスタ等に登場させればと思う。こんなところに行ったよ！とか
- ◆ 駅前をもっと賑やかに人が集まりやすい環境に、商店等増えるようなまちづくりをしてほしい
- ◆ 酒田に生まれ後63年間酒田で暮らす人間として以前の隆盛な酒田を追い求め、でも昔は昔はと言いつけさせることも多くなり、少し寂しい気持ちがある現実に今の酒田を見るようです。まずは清水屋の有効活用を。
- ◆ 酒田駅前の再開発で綺麗になったのはいいですが。銀行のATMはなくなるし、ミライ二が一部完成しても無料の駐車スペースがないので非常に不便。車が生活の足になっているのでパーク&ライド（駅前）、中町にはパーク&ショッピング（買い物しなければ無料にするのではなく1～2時間程度無料とか）を充実して欲しいです。酒田郵便局の駐車スペースが本当に少ない。利用したくても駐車できないことが多々あります。酒田郵便局を補完する機能を駐車スペースのあるところに設けて欲しいです。（利便性があるところがいいですが。）乱筆乱文失礼します。
- ◆ 近隣の市町村と歩調を合わせた高校までの医療費控除をお願いしたい。
- ◆ 男性（高齢者）が日中に負担を感じないで参加できる（文化面、健康面（心、肉体、頭脳）（男女共同参画できる））機会がもっとあればと思います。独身（男女）高齢者が生き生きできる点も期待したい。自助公助を動きながら考えているところです。よろしく今後ともお願いします。
- ◆ 公園は多くていいのだが遊具が少なく探るのが大変。洋服などを買いたいがお店が限られているので、いいのが見つからなくて諦めることが多い。子供の用品も同様。中心街、商店街をもっと賑やかにして行けたらいいのと思う。
- ◆ 保育料に関して。現在2歳半の子供を保育園に預けているのですが今年の9月から保育料が値上がりしました。夫婦共に稼ぎがいいわけではないので正直家計を圧迫しています。今2人目を妊娠中で産後復帰でパートに変更になり給料が減りますし、育休中は無給であるにもかかわらず、支払うのがとても苦しいです。（金銭的に）もともと鶴岡市から嫁いできましたが、鶴岡市は3歳未満も保育料が無償と聞きました。隣の市なのに自治体によって差がありすぎます。もっと保育料を見直してください。生活が苦しくなる一方です。もっと市民の声を聞き改善してください。保育から搾取しないでください。
- ◆ 若者の働く企業を、もっと増やしてほしい。 清水屋の跡地の魅力ある場所に。 観光の市資源が少ない。
- ◆ 駅、バスターミナル、市役所、観光拠点、病院、学校（大学、高校）等が分散していて街

としてバラバラでまとまっていない様に感じます。車で酒田市に訪れる方が多いとは思いますが、駅について気軽に食事を楽しんだり山居倉庫等への道すがら楽しめるような行程があれば観光で訪れる方の持つ印象も違ってくるのではないのでしょうか。駅前に産直施設や日帰り温泉（無い物ねだりかもしれませんが）病院等、集めなくても自然に地元の人が集まるような場所は作れないものかと思います。地元を離れても帰ってきて住みたいと思える様なまちづくりに期待します。（進学等で離れた方が戻ってこないことが本当に多いと思います。）（オンライン 404NOT FOUND が出て利用できませんでした。）

- ◆ ・「住みやすい街だー！」とアピールが不足していると思う。・どんなところに充実しているのかが分かりにくい。・せっかく住みやすい町なのでもっともっと県内外にも宣伝してほしい
- ◆ 県外・市外の人が「休日は酒田で過ごしリフレッシュしよう」と集うまちになるといいです。自然の魅力をPRしたり、大人も子供も遊び心がくすぐられるようなイベントがあったり、宿泊施設が充実していたりと今まで行ってきたことを含めてどこかで何かで〇〇体験ができると楽しいだろうなと思います。
- ◆ ・若者が定住しやすい町にしてほしい。・娯楽施設が少ないのでは？・企業の誘致。・交通の便をよくしてほしい。高速道路、新幹線（新庄まで延伸してるのに。）ますます住みやすい酒田になるようによろしくお願いします。
- ◆ まちづくりで一番頭に入れなければいけないことは今後毎年1000人位の人口減が予想される酒田で過去の実績だけでまちづくりを考えることは将来に負の遺産を残すことになりかねません。それには公共施設やサービス施設（飲食店街等）の集中化によって税金を効率よく使うことが必要かと思えます。前者では酒田商業高校跡地に酒田資料館の移設、後者ではパイレーツ（私有物であるので大変かとは思いますが）周辺の飲食店街の再整備が考えられます。10年後、20年後の市民に恥ずかしくない様なまちづくりをしなければと思っています。
- ◆ ハコモノは最小限に。農業、水産業、林業への支援を。（美しい庄内平野の維持、地産地消の推進）民生委員、民生児童委員を形骸化させることなく、機能させること。高卒後、大学進学するものは公務員や教職員でなければUターンできていない現状ではないか。企業誘致や個人事業主のサポートや支援、などにも力を入れて若者が酒田から出ていかに住み続けられる、Uターンしたくなる雇用創出を真剣に考えるべきだと思う。酒田1中の自殺の件に真摯に向き合って対処すること。蔑ろにしたら未来にわたって酒田はいいところだよと言えません。質問→高校生以上の年齢の引きこもりや学校社会からドロップアウトした人々の受け皿はありますか？「ミライニ」の中の図書館スペース、人気がありすぎて図書館の閉館時間に合わせて駅前の道路が渋滞している様です。対策を。
- ◆ 企業誘致。地域企業の給料の底上げ（全国水準に近づける）若者が安心安全に働ける環境を作る。子育て世代への手厚いフォロー（教育費の無料化）etc.都市計画のまとめ、格差の是正、シニア、老人へのフォロー
- ◆ 高齢者による問題は大きく取り上げられない実情がある。また、独居者の実情が見えにくく、社会保障も手薄の方々が多く見られる。病気や障がい、高齢の方のアプローチがとて

も少なく感じます。引きこもりや精神疾患世帯に対する周りへの情報等も手薄に感じられます。単身世帯への補助等にも不満があり、(市営住宅への入居制限や助成の有無)働いていく上でも金銭的に多くかかっているイメージがあります。市民が長く安心して生活ができる便利な酒田市、住みやすい酒田市になってもらえる様に願います。

- ◆ ①雪が降った際の雪捨て場の確保②歴史的建造物の保存とピーアール③港街酒田のお土産品を増やす④酒田の物産館もしくは道の駅⑤高速道路の早期開通⑥遊べる施設(ラウンドワン等)⑦商業施設の充実(コストコ、カインズ等)⑧職場を増やす
- ◆ 清水屋の跡地に商業施設を造って商店街の方まで魅力のある店を出してほしい。 駅前の駐車場を広くしてほしい。
- ◆ 人口規模に対して施設が多すぎると思います。駅前も出来たし、増える一方で本当に今後これを維持できるのか心配になります。何かを減らす議論は市できちんとしているのでしょうか？
- ◆ 先日、学区の「秋の歩こう会」に参加した。今まで知らなかった酒田市の古き町並み、由緒ある地区を改めて知ることとなった。大変良い取り組みだと感じたのです。 私は今まで旅行が好きで、国内、海外を問わずいろんなところに訪れた。酒田はほかの観光地には劣ることがなく、とてもいい観光地であることを実感したのです。でも私自身、他の土地、観光地に目が向いていて、酒田の良さ、観光資源の豊かさには気づいていなかった・・・というのが、今回ウォークに参加しての感想です。 私はウォーキングを毎日4~5千歩を目標として歩いている。歩こう会の後、家の周辺だけでなく、時には飯森山、日和山、日吉町界限まで車で行って、周辺をウォークしている。改めて、市役所周辺、日和山や料亭街など、酒田市が力を入れて整備しているのは、良く分かったということです。でも市民のみんなに情報が伝わっているのか・・・ということが少し不足していたのではないかと感じたのです。いろんな機会をとらえて、市民に自分の土地の観光資源の豊かさ、すばらしさを気づかせるいろんな施策が必要ではないかと思うのです。ウォーキングを交えて、ガイド付きの今回の催しは、改めて酒田の良さを感じさせてくれると共に、人との交わりの楽しさ、ウォークのメリット、いろんなやり方のヒントをいただいた。 まずは市民が当市の魅力に気づいてもらうこと、そして市民がいろんなツールを使って発信できたらいいと思うのです。 ちなみに私はブログでいろんなことを綴っています。
- ◆ ・山居倉庫の現在のスタイルから旧商業高校跡地へ物販等に移す計画について反対です。理由として、道路を隔てた施設にわざわざ移動することで集客が見込めない。横浜の赤レンガ倉庫等のように文化財、歴史的建築物、古民家など地域の記憶が埋め込まれた建物を生かした地域活性化の取り組みが各地で進んでいる時代に逆行していると感じます。新しく箱物を作ろうとするスタイルは、古く、今、若者達はリノベーション等古い建物を改装したかふぇカフェや居場所に魅力を感じていることもしサーチしているのでしょうか。再度検討していただきたい。 ・福祉、特に障がい者にとって住みにくい街と感じる。特に働く場が少なく、作業所に通う方々の仕事も少なくなっている。行政機関での雇用や仕事の創出、行政から民間事業所への働きかけ、作業所商品の販売のバックアップ等お願いしたい。他市町村と比較し取り組みの内容や成果をみても残念に感じます。

- ◆ 老人が多くなっているのです。るんるんバスのコースを酒田中心部循環 2 便、準中心部 3 便で循環して、その他は東西南北放射線 12 郡部まで遠くは無いのだから。景観に付いては駅前の景観を重視して駅の東西の連絡を地下通路(歩行、自転車だけでは多少不便) 駅東の人流を駅前に取り込むことを考えてはどうか？

- ◆ 数年前に酒田市に移住してきましたが、酒田市は食べ物がおいしくて、自然豊かで、冬の強風以外は住みやすく魅力的な町です。でも、高速道路や新幹線がつながっていないので、他県へ出かけるのに不便を感じています。交通網が整備されていないと、隣県からの観光客も来ないと思うので、早急な改善を期待しています。

- ◆ 自動車の大型化などにより、すれ違えない道が多くある。一方通行を増やしてはどうでしょうか。

図太郎寿司の交差点、新橋側に右折レーンは作れないのでしょうか？用水路のようなものをこあら側のように地下化して一車線分増やせないのでしょうか？いまでもごちゃごちゃして危ないのに、コメダ珈琲が出来たら更に危険になるのではと心配です。

- ◆ 中町にしても、銀行や無印良品のお店などあっていいなとは思いますが、駐車場が遠かったりと不便。せっかく良いお店、飲み屋街やヨガ？モアシなどの、カフェも沢山あるということにも関わらず、もう少し活気があっても良いと思う。もっと良い情報など、伝えるべき事は、もっと皆が分かるように発信するべきだと思います。

酒田市のこれからの取り組みのなかで最も重要な事は、15 番の結婚、子育てであると考えます。特に子育てしやすい環境に重点を置くことが、他の施策面にも良い効果があると考えます。若い人を呼び込む為。

また、酒田は、県で唯一、海にひらけた地域であり、重要港湾を擁しているのです。県と連携して国に積極的に働きかける事で、県全体も発展していく事が出来ると考えます。その為には、早く高速交通網を整備する事が、重要だと考えます。県は港に対しての重要性を理解していないように思える。

以上の実現の為に早々に活動する事で、雇用が生まれ、活気ある県政、市政へと繋がると考えます。酒田市だけではなく県全体と近隣地域が良くなるためには。周辺地域との連携が必要であり重要と考える。酒田市だけが良くなることではないと考えます。

- ◆ 中町または駅前周辺のシャッター街を子供達向けの施設にできないですか。

不要な建物、寂れたビルなどが多く残りずっとこのままでは耐震や治安の面で不安があります。なにより子供の世代に負の遺産として残るのであれば酒田市へ住み続けなさいとは言えません。中心街は駐車場が遠かったり立体で不便。

駅前には図書館もいいが山形市や東根市のような子供向けの無料の施設があっても良かったと思う。広い駐車場と平屋の建物+大きな公園で飽きずに遊べる場所がひとつでもあれば、隣県や他の市から子育て世代が遊びに来て周辺の飲食店や商業施設も集客が見込めるのではないのでしょうか。そこにぎゅっとや発達支援室などの子育て世代が利用する福祉施設とサービスを集中させれば、利用相談のしやすさも向上すると思います。あちこちに行くのはわかりにくいし子供を連れていたらさっさと動けないので腰が重くなります。

- ◆ 市議会議員 50 歳定年化

- ◆ 仙台と酒田、岩手と酒田をもっと簡単に結ぶような交通網が欲しいです。
- ◆ 酒田は良い街なのに広報活動がイマイチ??
買い物するにもイオンしかなくなってる。だから、ネットでほとんど買い物している。
給料が安い??
仙台から酒田に帰って来てから28年になるが同じ職種で28年前の給料をこえたのはここ2年位です！給料が安いから外食も飲み会も回数的に少ない、私達が店に行かなければ店も儲からない、悪循環です。酒田は物価が高いが、給料が安いのでこれでは酒田離れが多くなる。
- ◆ 中心市街地商店街について。
表の顔である清水屋が閉店し、夜の顔であるパイレーツビルと並んで最大の空き店舗が出てしまいました。中町3丁目のウェルシティマンションは人気があるようで、空きが出ると早めに買い手（入居者）が決まると聞いています。
中心市街地に住みたいというニーズはあるので、清水屋跡地と駐車ビルは（更地にし）、2階建て位の商業施設と15~20階の中層マンションの大規模な再開発を検討して欲しいです。
- ◆ 高齢者の方を含めて、病院に通院している方が多いため、日本海病院などで行政手続きできるようなシステム作り。病院と行政が連携し街づくり。障がい者手帳とか、医療費の手続きとか介護保険とか。その方が地域一体で考えている感じがする。この地域だからこそ、できる先駆的な取り組みを期待したい。
- ◆ 日頃から運動している人が多いので光ヶ丘周辺にもっと運動施設を充実させ健康的なまちづくりなどいいと思いました。例:雨天でもランニングやテニスができる室内場やフィットネス施設を集結させる
- ◆ 酒田市は過去の情報プラザ設置やコワーキング施設の開設など、新しいものに飛びつきやってみる柔軟性はあるが評価が性急で、これをじっくりと育てる哲学や成果を待つ忍耐力が弱く、対して鶴岡の動きは遅いが慶應先端研やバイオサイエンスパーク等など、じっくりと考えて始めた事業は時間をかけて育てていく我慢強さがあるように思える。
酒田市と鶴岡市の人口を合わせれば、山形市以上の県内一の人口となることから、庄内地域という視点で鶴岡市との連携を強化した各種事業の進め方を検討してはどうか。豪華客船が寄港した際の観光地が酒田市だけではバリエーションが少なく、庄内地域に広げること魅力が広がる。歴史的建造物の鏡谷、相馬楼、山居倉庫の近隣の建物が老朽化して景観が悪く、さらに大火後の火災に強いコンクリートの街並みは無機質でいまとってはこれも景観を損ねているし、ひびや鉄筋の腐食、汚れなどは市内のイメージを下げている。鶴岡市が内川を市内の景観として大事にしているように、山居倉庫横の川で船を運航したり、川べりを歩いて散歩するなどの工夫はないものだろうか。（道路を横断する以外のルートとして楽しめるのでは）
中心部商店街の数少ない開いている店は、生き残る強みがあるのだろうと考えるが、将来的に継続することは少ないと予想されるので、事業継承が必要になると考えるが、この方法として商人の町酒田の強みを生かした方法は考えられないものだろうか。例えば公益的

な商社に各商店の強みの事業を集約し、販売を強化することで商品力や販路を世界に拡大し、インセンティブを配分できるようにするなどには考えられないだろうか。酒田市には凄腕のシニアインキュベーションマネージャーが活躍して創業支援をおこなっていたのに、どう理由からかこれを排除して機能を縮小する変更を行ったように感じている。このようなもったいないことが起きないように、ここにこそ行政とスペシャリストの連携がうまくいくように、例えばコーディネーターを加えるなどして、中小事業者の数を増やす取り組みを真剣に考えることを進めないとなんな政策も実現が遅くなるように考えます。

- ◆ 子育て支援がもっとあっても良いと思う
- ◆ 地産地消をもっと取り組んでほしい 地元のもの、もしくは頑張っている商店をもっと大事にしてほしい
- ◆ 改めてどんな街づくりが良いのか考える良い機会でした。難しい課題ですが今後とも地域の発展にご尽力よろしくお願いします。定住のために若者が就業に困らない地域になればと思います。レジャーは市外に求めます。衣食住が整うのは嬉しいですが、ドラッグストア増えすぎです。
- ◆ 県内他市に比べ、地域共生に向けた福祉の取組の遅れを強く感じます。他市がうらやましいことも。例えば、成年後見センターや福祉まるごと窓口など地域で安心して暮らしていくための支援の取り組みを市だけでなく、福祉関係者や地域と協力して進めて欲しいです。
- ◆ 酒田市が推している歴史的観光スポット(山居倉庫など)ももちろんいいと思いますが、県外の人にとってはそれだけでは魅力がないと感じているので自然と土地が余っているのを利用したキャンプ・グランピングのような取り組みもありなのではないでしょうか？コロナの中、酒田市が比較的安全に過ごせたのは県外の人にとって魅力的な観光地ではないからです。そこは結果的によかったです。

まちづくりとして、デジタル化を重視しませんか？コロナワクチンの予約の段取りは酒田市は最低だったと思います。役所系の業務効率化に着手すべきです。

市の公式 LINE のごみ捨て通知は便利でまわりに広めています。壮大なことをやるより、身近なものからやっていった方が、いまの酒田市には必要なことなのではないですか？コロナでUターンしてくる人も多くなるかもしれませんが、Uターンと一緒に酒田市にくるその人の配偶者にとって、酒田市で就業先を見つけるのは大変です。Uターンを促進するのであれば一緒に連れてこられる県外の配偶者にもフォローする仕組みを入れてください。

- ◆ 子供達が勉強、文化、スポーツに常に身近に接し、すくすく成長できるようなおいっそう良い街作りに前進して下さることを望みます。
- ◆ 街作りは難しい。
- ◆ 遊べる場所がほしい
- ◆ 酒田駅周辺、中町の清水屋跡地周辺などの活性化を図ってほしい。若い人が街を行き交う姿がみられる街になればいいと思う。もっと子育てがしやすい街になればうれしい。
- ◆ 提案ではなく、物言いです。

コロナ禍での酒田市のワクチン接種のスピードの鈍感さには大変な憤りを感じておりま

す。なぜ、山形県内の地域によって差が出るのか？人口が原因ですか？当方の家族は、ようやくこの前未就学児以外完了しました。余りにも遅すぎますね。もう少しスピード感を持って動いて下さい。何よりも今は多くの企業がコロナ禍で余りにも大きなダメージを観光業と飲食業が負っています。そこをどれだけ早く治癒していくかが、あなた方市役所の仕事の一環だと思います。それ無ければあなた方は必要無いと迄思いますので。

宜しく申し上げます。

- ◆ 子育てがしやすい環境だとは思いますが、子供が遊びながら学べる施設が足りないと思います。商業高校跡地を子育て支援施設（鶴岡で言うソライや天童で言うげんきッズなどのような）にすると子育て世代のためになり、それにともない市内での購買意欲も上がると考えられます。子供を遊ばせるために市外、県外へ行く→ついでに買い物や観光をする流れから子供を遊ばせるために酒田に行く→ついでに買い物や観光をする流れが作りやすいのは子育て世代のココロを掴むことが重要と考えます。
- ◆ 都心部に気軽に行けるようにしてほしいし、舞台や美術品の展示がたくさんできるようにしてほしい。まあがんばれ。
- ◆ 酒田駅前になんの魅力もない。まだ駐車場だった時の方が駅前の人通りは多かったのでは。魅力のある、行ってみたい酒田にするために、もっともっと隣県や各県に情報発信、ならびに酒田の良いところ、売りにするところを大々的に宣伝していかないと人は来ないし、発展はないと思う。市役所を新しくするのはいいが、その財源で各手当をもっと充実できたのではないか。もっと酒田市民に寄り添った財政の在り方を考えて欲しい。酒田市に住み、子育てしている方は手当、補助金等に満足している家庭はあるのか？余目、遊佐の方が子供を育てやすいのでは？酒田市に家族ですっと住みたいと思わせるような政策がない限り、酒田から出ていく家庭もあるかと思えますよ。
- ◆ LINE や Twitter での情報発信は有効だと思う。雇用は大事だが、賃金の低い雇用では経済が回らない。米農家が赤字では酒田の景気も暗い。
- ◆ 県外者ですが、酒田市に居を構え働いています。これからも自然豊かで、安全、安心に暮らせる持続可能な街づくりをお願いします。
- ◆ 清水屋跡の新しい活用法を早急に考案してほしい。また、駅前の活性化もより一層お願いしたい。特に酒田市内に若者が購入層になりえる商業施設やショッピングセンターがほとんど無いので考慮してほしい。就学前の子どもが遊べる屋内遊び場を、もっと増やしてほしい。
- ◆ 清水屋デパート跡地の早期利用を検討願います。
- ◆ 主に 60 代以上の方ではスマホ、PC を使いこなせず情報格差があるのでお年寄りにも市が積極的に使いこなせるように教える機関を儲けるか支援しても良いのではないかと思います。スーパー等で買い物する際に足腰の弱ったお年寄りが買い物に行くにも誰かを頼れる方がいいが、そういった方が居ない方はスマホを使いこなせるようにしてあげる事で、スーパー等でのネットを介した買い物もしやすくなり地元スーパー等もネットワーク注文が増えれば利益の出にくい分野でも毎月の売上がネット経由からも徐々に増える事で色々のコストを抑える事にも繋がり地域経済の活性化に繋がると思います。今後お年寄り

は増えて働き手が減る中では早く取り組んだ地域と取り組まなかった地域とでは差が出てくると思います。前向きに検討してみてください。お願い致します。

2. 酒田地域②（西荒瀬、平田、鳥海、飛島）

- ◆ 「パブリックコメントが少ない」（2021 上半期）とあるが、このアンケートでも、意見を生かし改革する気があるか、理解されていない。公益大の研究者と話しても、酒田市政は、バランスばかりで、深い理念がないという。私もそう思う。SDGs 研修会に、あるいは、自ら進んで大学院・著書、新聞、情報を集め、認識を高めるリーダー層（政策実質決定集団）がないと、意見を受け止められないとみて市民も書かない。例えば、中・高一貫校でも、同じ県教委の説明会には鶴岡では、相当多数市民が入り、関心高い。図書館の集書（開架）みても、鶴岡のレベルは高い。だから、富田氏が市長とタイアップした。致道大学やその他講演会では一流を目指している。市民が目立ちほしくないが、意見戦い合わせついている。酒田は表面的、それは、図書館の入場数でも表れている。一時期鶴岡より多いと喜んでいたふしがあるが、数だけが問題ではない。数だけで判断してほしくない知識集約社会に入っている日本で、市民が何の読書をするか、どんな運動、体験、活動するか、理念もって町づくりに反映されるべき。最近、行政、教育が、「アンケート」の嵐で、数でだけ判断している傾向がある。建てた理念の崇高さ、自信あれば、数で一喜一憂は、気にしすぎ、同調圧力。子どもの自尊心の少なさは、まさに、各校、ほとんど同じ行事、同じマニュアルで指導する傾向にある酒田市内の学校で育まれている。まさに知識集約社会では、個性の学びが中心。総合学習をみても、毎年同じ、同じようなマニュアル。これが、酒田をよくあらわしている。よくいえば上に忠実。改革は無理。
- ◆ もっと若者向けの施設や飲食店を増やして欲しい。
- ◆ 子供が少ないので、もっと活気のある町にしてほしい。人が集まる場所を多く作ってほしい。
- ◆ バス路線がなく、今後市営バスを週 3 回位考えて頂きたい。今後住み続けるためにぜひ運行を考えて頂きたい。
- ◆ 本間家（光丘）の功績 庄内の地域のみならず大きいと思います。顕彰行事が、あるのですが？市民の感心が薄いと思います。偉大な人物が埋もれていませんか。是非、全国へ情報発信して下さい。
- ◆ <問 16>に書かれている内容は、3 つに選ぶのが難しいほどどれも大事だと思います。最近酒田の街並について思うことをつらつらと書きます。 ・自然環境、鳥海山、田園風景は素晴らしいと思います。この環境を維持していくためにも農業の推進は大切だと思います。（田園風景は、人によって造られている）食を豊かにする。（スーパーの地産地消コーナー、産直など） ・街路樹や花壇を整備する。ー美しい街並、花いっぱい ・少子化が進んでいて、我家の両隣や地域も 50 代以上の方ばかりで若い人は皆出ていっていません（将来的に帰ってくる人もあるのかも知りません。）自分の子供が小さい時は、小学生も

結構いましたが、小さい子はほとんどいません。空家も増えてきています。将来老人だけになるのかと不安にもなります。若い人が住みやすい魅力のある地域にするには人どうしのつながりが大事かなと思います。助け合い、楽しいイベント、働く場所、交通の便 ・ 文化的、芸術的な推し、学びの場があるといいと思います。カルチャースクールのな。 ・ 東京、隣県、東北などにすぐ行ける交通網（飛行機—東京はいいですが）電車がもっと便利になるといい。（県内に行くにも乗り換えが必要）

- ◆ もっと住みやすい市になってほしい。昔はたのしかったなあ。
- ◆ ①スワンパーク内の樹木が、ほとんど伐採された事に伴い、強風も多くなると共に、野鳥等の姿もほとんど見られなくなり、大変さみしい公園となった。中・長期的展望に立った公園整備を図って欲しい。 ②スワンパーク内の湾内に流木や大量のゴミが漂着されており、大変見苦しいので、ボランティアによる改善措置を講じて欲しい。
- ◆ 酒田市内、中町に人の集まる商業施設の建設を考えたらどうか？駅前開発もいまひとつ寂しさを感じる。人通りが全くない。そのような街に若者が職を求めて将来を生きていく人生は考えにくいのでは？
- ◆ 鶴岡や三川のような、みんなが気軽に集える場所が、身近に有ればいいと思います。
- ◆ 酒田駅前の商店街再開発に力を入れるのは良いが、移動は市民も観光客も車がメインだと思うので、駐車場や道路を合わせて整備したら良いと思う。 駅前の駐車場スペース(空き地)にマンションやホテルを建てたのはズレてると思う。駅から近いのだから酒田総合高校(中央・北・工業・商業合わせた高校のような)のような学校を作れば駅を利用して近隣の町の高校生も来てくれる可能性があり、もり上がったのではないかな~と思った。←もう月のホテルとか完成してしまったので後の祭りですが…。
- ◆ ここ数年、希望ホールに行った事がない。 鶴岡との芸能・音楽・出演者等の出し物は負けている。
- ◆ ・保育士の処遇見直し(参議院はいるのか) ・市役所の開所をもっとしてほしい。(時間、土日)土日も開いていないと、手続きなどで利用したい場合、フルタイムで働いていると難しい。平日休むことも難しいと行くことができず、手続きすらできない。 ・除雪をしっかりとしてほしい(家の前に雪をおかないで下さい。) ・免許返還者の交通サポート(一生涯のサポートにしないと返還者はふえない。田舎だと車必須なのでサポートが小さい。祖母も困っていた。)
- ◆ 芸術文化イベントの発展と、交通の発展に力を入れていくべきだと思います。 酒田ではふれることのできない舞台、コンサート、伝統芸術は、やはり県外に行くことしか体感できません。県外に行くにも、新幹線がない、バスが少ないとなると、「酒田ではなく県外に暮らしたい」と思う人が多くでてきます。人口減少のためにも、移住者増加のためにも、芸術文化のイベントの充実と、都市部と酒田を負担なく行き来できる交通の便の発展を望みます。
- ◆ 閉ざされた市だと思います。
- ◆ 圧倒的な若者不足 土地柄住みにくい場所で尚且つ住民が優しくないから定住しないと考える 政策が高齢者向け 住んでいる住民がお年寄りばかりで酒田市で子供を育て

たいと思う夫婦は少ないと思う 職場や学校生活などのイジメ 地域住民の関わりが強い地域のため、気に入らない人への扱いが酷く性格が悪い人が多くいる地域だと感じる。

- ◆ 子供たち(中・高生)が遊ぶところが少なくてかわいそう。友だちと出掛け、おこづかいを使い楽しめるところが欲しいと思う。外に興味がわからないので、スマホやネットの世界に入ってしまう。学ぶところも欲しい。 清水屋跡地に、塾や習い事を入れ、商業施設やフリースペースがあっておむかえのついでに買い物したり、待つ時間も子供だけでも安全に過ごせる空間が欲しい。子供たちが街に魅力を感じないと、大きくなってから出て行ってしまおう。
- ◆ あののんともしえのんにこれからもたくさん盛り上げてもらいたいです。あと商店街に無印良品がきたことはとても驚きました。これから都市にあるようなお店が増えると若い人の動きがどんどん活発になると思いました。インスタグラムなどや YouTube を使って宣伝するといいと思います。
- ◆ これから高齢化が進んで行く中で市内以外の地域(部落など)からの交通手段がデマンドタクシーのみとなっている地域では、医者に通院するのに1日1000円(片道500円)かかるためその部分に補助を出し(例えば片道100~200円とか)安くすれば高齢者の運転免許返納も進むのではないかと思います。=交通事故(高齢者の)の減少につながるのではないのでしょうか。松山地区の眺海の森、景色もいいし展望台もあるし雪がふればスキーも可能温泉施設もある。キャンプ場だけでなくグランピング施設があれば宿泊者なども増えてくると思います。コロナでその様な施設が人気があるので。
- ◆ 酒田は自然災害も少なくありがたいと思います。今年も花火大会が中止になりましたが、秋に短時間である花火もいいと思います。田んぼの広々とした所で建物のジャマもないし近くの介護施設のお年寄りも楽しんでくれたと思います。夜、見える場所まではなかなか行けませんから。夏の花火はあたりまえですが視点を変えて色々な工夫すれば、町が活気付くのではないかと思います。酒田の町はいいところがたくさんあるのでPRイベントでにぎやかな町にしたいですね。
- ◆ 中町をもう一度活性化させてほしい。駅前も更に活性化させてほしい。何かイベントをやるといいと思う。
- ◆ 酒田の街の発展性が残念ながら感じられません。駅前にしても実際利用しがたいふんいきがあります。中町もさみしい限りです。港町特有の活気に満ちた明るい街になったら嬉しいです。市長さんの存在感が感じられません。表に立って強い力で酒田の活性化に向けて引っばっていただきたいと思います。
- ◆ 交通の便が悪くバスの回数が少なく車がないと不便→タクシーもあるが予約が必要。買い物をする所も近くにないので家族に連れて行ってもらうしかない。田舎だと除雪車が来るのが遅い時があり家の前にどっさり 雪を置いていかれる年寄りだけの家だと大変。→申請補助も簡単にしてくれない。(除雪)
- ◆ 酒田市のブランド商品を作って大きくPRの仕方を考えたらどうでしょうか。酒田には景色や食べ物も豊富にあるのもったいないです。若者たちが楽しむ所、関心をもつ所が少ない様に見えます。

- ◆ 農業、林業、水産業、人材の育成に力を入れてほしい。
- ◆ ①アンケート回答者が、80歳の病院通いの車運転免許証返納者であること。②現役では農業団体の職員で、特に県との農業物輸出に携わった経歴があります。③アンケート回答に冷たい回答（本音）があった点は、お許しいただきたい。④車の免許返納してから、一番の不便な点は、自分の好きな時間に外出・買い物食事にいけないこと（今は妻の車で送迎のため）⑤無理を承知で意見を申し上げますと、バス（路線）のPR不足と本数の少なさです。⑥旧平田町に住んでいますが、中々不便です。電車も、バスもありますが車の便利さを知ってからはダメです。⑦新聞記事の県内内陸と庄内の扱いに大きな差、庄内は軽く表面的扱いと読める。
- ◆ 酒田は山も海も近くにあり自然豊かで子育てするには最適だと思っています。子育て世代からすると近くに買い物に行くとしても行きたいお店がないので遠くの天童、秋田、宮城まで行かなければいけません。酒田にあるお店はドラッグストアとコンビニばかりです。もっと若い人達に魅力的なお店を作ってほしいです。酒田にあったらいい店 IKEA、イトーヨーカドー、コストコ、ワインズ、シャトレーゼ、3coins、子ども達がいっぱい体を動かして遊べるような所（いわて子どもの森や、千葉のアンデルセン公園の様な所）があるといいなと思います。子供達に優しい市を目指してほしいです！
- ◆ 医療、電子カルテ中学まで医療負担なし、子育て企業の育時休暇促進の補助、病児保護、延長保育の拡充スポ少などのスポーツ参加の促進→運動による医療費軽減。マイナンバーカード 酒田市で公共施設。交通機関、イベント参加でポイントつける→公共施設の割引や健診料値引きなど、住民税控除？路面電車(富山参考)、飛島船釣り宿泊ツアー、トヨタの社長のように自社だけではなく車業界で、連携、住み良いランキング結果に(目的に)資本注入する。なおかつ鶴岡(水族館や出羽三山)遊び(鳥海山)の観光地。観光船はとても良い！！で庄内を盛り上げよう！
- ◆ 農業後継者の支援と育成。耕作放棄地の減少と活用
- ◆ 子供が体を動かして遊べる大規模な公園やラウンドワンのような複合施設が必要(牧場など→秋田に行かないとない)雨の日に子供達が体を動かしたりワクワク楽しめるところが欲しい。ついでに親たちもそこで遊べると尚良い。東京のアソボノみたいなのがいい。お金は支払ってでも家以外のところで遊びたい。公園はとても充実しているからそこはとても良い！大江戸温泉みたいにおばあちゃんから親世代、子世代、赤ちゃんまでみんなで遊びに行ける施設が欲しい。遊佐は子育て世代に手厚く、街から補助が多く出て、家も安く建てられるし、支援センターも立体でなくスムーズに入りやすい。酒田ももう少し子育て世代に手厚くしてほしい。
- ◆ 中心市街地の再生への取り組みをしていただきたいと思います。中心地の駐車場の十分な確保もお願いしたい。
- ◆ 文化、芸術面での充実を目指しているようですが、まだまだ足りない。特に市美術館のあり様は非常に面白くない。あれで美術館とはただただ恥ずかしい。もっと予算をつけてもっと人材を確保して充実させてほしい。芸術は費用対効果では成り立たない。市民がもっと芸術に対する素養がある人々に長い目で育ててほしい。非常に長い目でみる施策になる

と思うがぜひお願いしたい。

- ◆ これから訪れる冬本番、除雪を、もう少しきれいに、ある集落は、道路がきれいに除雪されているのに、ある集落は適当の様な所があると感ずます。それに、毎年の様に、同じ家の前に、大きな雪のかたまりが…片付けるのがとても大変です。仕方のない事でしょうか？高齢になってきた人にはとてもこたえます。 高齢者も住みやすいまちづくりに 車社会の今、交通の便が悪いと感ずます。 介護しやすいまちづくり、制度に 介護する側、される側の立場を理解していただきたい。毎日、日々の暮らしがとても大変です。介護にかかる費用が高額、働く側の最低賃金が安すぎると感ずます。
- ◆ 5年ほど前に酒田に引っ越して参りました。実家は県外です。コロナもありますがかなか帰省できず知り合いも少ないため、ほぼ一人で家に引きこもり、子育てに励んでいます。そういった移住者のための交流会、移住者のママ友会など移住したいと思えるイベント、企画があればと思いました。転勤の人たちも定住したいと思う酒田市になればと思っております。
- ◆ 私は他県から酒田市に移住してきました。一番驚いたのは運転マナーの悪さです。高齢の方も運転しなくては行けない環境であることは理解します。そうであるならマナーを守って子供が犠牲になるような事故のない様にしてもらいたいです。
- ◆ 酒田か鶴岡あたりに、サンリオショップか、アニメイトが欲しいです。
- ◆ るんるんバスのC線D線の運行日数を増やして欲しいです。
- ◆ こたえのない世の中で、自ら選択をする力を大人も子供も育むことが重要であると考えます。そのための教育・学びの機会を多く作ることは全ての施策のベースアップに欠かせないと思います。全ての世代が学び・成長するまち酒田の実現を希望します。
- ◆ 子ども達が少ない地域に住んでいますが、それでも、今いる子ども達のために地区のグラウンドゴルフ場に遊具を設置したり、閉校した南遊佐小学校の遊具とグラウンドを定期的に整備したりしてほしい。子ども達が外で友だちと遊べる場所が無いと感ずる。これでは、子どもを大切にしているとは感ずられない。
- ◆ ベにっこひろばのような子供が遊べる室内広場、室内サッカーやテニスなどができる施設があるといい。

3. 酒田地域③（新堀、広瀬、浜中、黒森、十坂、宮野浦）

- ◆ 以前、未来推進会議に参加しました。そこで集められた情報、提案等がどのように反映されているのか、全々伝わって来ません。市長始め、市議会議員、市職員の危機感が感ずられません。議論はされているとは思いますが、脱炭素化に向かっている中、酒田火力発電所、風力発電、人口減少等、課題は山積みです。限り有る、お金の使い方も市民全体で考えないと、酒田市の消滅が早くなるでしょう。
- ◆ 遊佐町のように、子供の医療費を18歳まで無料にしてほしい。
- ◆ 食べ物屋が近くにほしい。1人身なので入院する時、保証人がほしい！兄弟が県外なので

(コロナ)対策

- ◆ 出羽大橋を下りてから高見台に向かう時の信号機を時差式にしてもらいたい。右折するのが大変です。公報の放送が反響して聞こえづらい。なにを言っているのかわかりません。
- ◆ 港までの昔の線路を活用して欲しい。酒田市斎場にフリーWiFiを設置して欲しい。
- ◆ 今の酒田はあまりにも、活気が無さすぎます。開発の軸がどこにあるのか、見えません。市民に対しての発信も、ぼけて伝わってこない。市長の顔と名前がすぐに浮かばないのはいかなもののでしょうか？先日、久々に東京に行ってきましたが、いつになったら新幹線は酒田駅にくるのでしょうか？まずは、そこからでしょう！
- ◆ 子供の安全な遊び場を作る。 お金等子育てしやすいようにしてほしい。
- ◆ 自然災害がふえています。災害時に避難する場所の具体的な表を作っていたらありがたい。同封のコピーの様に、具体的にコピーは大分前の物なので現在とはちがうと思います。実際に去年だったと思いましたが京田川増水の時とは違う所が避難場所でした。地域毎に上質紙で A5 サイズ程度で冷蔵庫に貼られる様に。
- ◆ るんるんバスの酒田駅大学線の運行時刻を増やしてほしいです。
- ◆ 就職したい企業・職業が少ないと思う ・収入が少なく結婚できない人がいると思われる ・事業を大手企業に任せるのではなく、地元企業で完結できる様になれば良いと思う。
(人材の育成)
- ◆ 駅の駐車スペースが小さすぎる。タクシー駐車スペースがあんなに必要なのか疑問です。だから駅前には誰もいかないのでは？
- ◆ 酒田は子供達など案内で楽しく遊べる所がなく大人も子供も楽しめる場所がほしいと思います。
- ◆ 将来、子供達が他県に出ないで、酒田市で働く事が、出来る町になって、ほしいです。
- ◆ 東北公益医科大学を公立にしていこうとしているのですか？ハッキリ言って、Fランクの私立大学を公立にしても、有能な学生が集まるとは思えません。一般的に「国、公立大学に入った」と言うと「すごい！優秀！」というイメージがありますよね。でもFランクですよ、実際は。現役の学生、卒業生が「公立大学卒業です！」って自慢できるだけで、他にメリットはないのでは？鶴岡市をお手本にして、山大や慶應並みの大学を連れてきて下さい。その方が若者が集まるのでは？乱筆乱文のほど失礼いたしました。
- ◆ PayPay 利用を再度考えて頂き還元による酒田市商工の活性化に取り組んでいただきたいと強くお願い致します。
- ◆ コロナ禍がきっかけで“家”が中心になりつつあるものに生活が少しずつ変化してきたと感じますが、観光面での施設は充実しているかもしれませんが、“街の中”のちょっとした〇〇的なものへの不十分なのでは？と思うことがあります。このコロナ禍がきっかけで、他者との関わりもへり孤立感を感じるこの時代にあうように、市民みんなへの情報発信のみでなく個人でも少しでも安心するような部分や利用したりできることへの情報も必要になってきたのでは？と感じます。特に小さな子供がいるとどうしても外に出たがります。コロナ禍での制限のある中でもできること、工夫すべきことがもっとあると感じます。例

例えば市の体育館などの無料解放…〇〇の施設を利用するの△△など…制限は必要な面を工夫して、のびのびと子供たちがコロナ禍でも活動できるところを増やしたりしてほしいです。(休校の時にいくところがない子が多くみえました。又、周辺の公園等もすごい人でした。)そういう施設利用から子供が興味を持つことや学ぶことのきっかけではなく、“街の中”での活気、市民参加、地域の人とのつながり等にもとつながっていければ、これからの理想のまちづくりへとようになっていくのでは?と思います。その時に合う形の“市のごき”を期待します!!

- ◆ 鶴岡の中高一貫校に通う子供のスクールバスのようなものがあれば良いなと思っています。酒田からでも、中高一貫教育ができる学校があればと。子供の教育環境が良くないと、移住者も増えないと考えています。酒東 OG ですが、鶴岡の方がレベルが高いのではないのでしょうか。
- ◆ 1枚目破れましたので、今後まちづくりに対するご提案などをご記入願いますを手書きします。・観光のアイデア、酒田駅内に観光アピールする板を作る、(おしん、土門拳、おくりびと)・のぼれる灯台を作り、山居倉庫などを眺めて高いところから観光を楽しむ。・ミライニで観光 1日チケットを作り、観光施設を何ヵ所まとめてまわっていただき、YouTubeで紹介してもらう。酒田市にスーパー、100均、ドラック、理容チェーン多すぎます。地元の自営業の方は、営業が厳しいです。数も制限をかけてみてはいかがでしょう?福島では実行している市もありました。酒田市は過去に大火があり、鶴岡市よりも厳しい財政です。建物も、再利用や地元素材、職人を使い、お金が廻るように作って頂きたいです。居酒屋、スナックなど観光客さんにぼったくりしないように市からも働きかけてほしい。イメージが悪くなる為。
- ◆ 公益大前の道路の中間にある植木等の手入れをお願いします。
- ◆ スポーツ施設が他縣市町より怠っている。農村に住宅を建てようとする、農地法が何かきびしすぎて、若い人が他市町(特に庄内町)に逃げて行っている。市内に建てさせようとの考えがあるのか逆効果である! 庄内町は農地を簡単に宅地に変えられる! 一番大切な世代が逃げるから人口減になっている。
- ◆ 山と海に囲まれた庄内地方を統一し庄内市にしてほしい。県庁のある内陸が発展して、庄内地方が送れているのは、県での発信力が小さいからだと思う。市を大きくし、発言力があれば、全てが発展しやすくなる。又、観光でも鶴岡と力を合わせることで、いろんな観光企画を出すことができるのでは。まずは、鶴岡と手を合わせてほしい。
- ◆ 山居倉庫で今まで通り販売出来るようにしてほしいと思います。旧消防署も駐車場にして利用する方法。商業高校の所から橋渡って歩くのは大変。宮野浦から中町まで出て行く事がほとんどなくなりました。買物は近くのスーパー衣類電気家具類は大きな商業施設に車で出かけます。駐車場が中町には広い所がないので行きづらいです。
- ◆ 農村部の空家問題に思う。若者は、利便性、育児を考えると中央に集まるのは仕方ない事。農村部の独居、高齢者世帯の多い事、いづれそこも空家になります。更地にするにも費用がかかり、税金も上がるという。これでは、空家が増えるのは、当然の事だと思う。となりの家との間の樹木の問題、生垣の問題、切りたくてもお金がない、切ってもらえる

ならどうぞ！そんなこえも聞こえます。これらの問題は、どこにもある事、だからいた仕方なしではなく、だからこそ、どこの県より市より、先に手を付けてほしい。先がけになってほしい。

- ◆ 今までは、温泉と言え、かんぼに行って、ゆっくりとして来ましたが、かんぼがなくなってからは、遠くまでも行けないし、小さくても良いので近くに温泉でもあればと思います。せっかく、かんぼの後に何か出来ないかなと、いつも思っております。
- ◆ 酒田市は農業を強くするべきだと考えています。庄内農業高校から卒業される人だけでなく、もっと若い人に農業の良さ、魅力をアピールするとよいのではないかと思います。農業の仕事をしている人は高齢化し、仕事を辞めるといいう危機的状況だと思います。そのため若い人に農業の仕事の素晴らしさを知ってもらうことが一番必要と思っています。酒田市には酒蔵もありますが、もっと発信しても良いと思います。今はコロナ禍ですが、外国人にも広めたら喜ぶと思います。
- ◆ 今現在は自分で運転出来て医者買い物に行けますが、10年後はどのようなスタイルで生活しているか？毎日不安に思っております。
- ◆ 毎年、毎月同じ行事、同じ参加者(高齢者)この様な状態のコミセンを酒田市はどう思っているのか？もっと住民のため将来の子供達の学びとか、いろいろな企業とコラボした、講座を行なっていただきたい。マンネリ化した福祉協会の講座はやめてほしい。酒田市にはコミセン改革を切にお願いしたい。
- ◆ ・妊婦健診無料 ・出産祝金 ・0歳から保育園無償化 ・ランドセルプレゼントしてほしい ・年金はしっかりもらえるのか ・最上川、京田川の冠水が心配 ・行きやすい、室内の子どもの遊び場(無料) 駐車場が広い、遊び場が大きい。 天童の「げんキッズ」みたいなところ。 市内の子育てサロンはとても行きにくい。不便。 ・市内は駐車場がなく不便。 ・市内は盛えようとしているかもしれないが、道路が狭まったり、逆に交通の便が悪くなっている。
- ◆ 子供ができて思ったことですが、遊びに連れていける場所がなさすぎる。飲食の場も、子連れで行ける場所がなさすぎる。大きい広場にたくさんの遊具があったり、安価で入れる大型施設があったらいいのにな〜と日々思っています。
- ◆ 酒田の観光地より、鶴岡方面の加茂水族館や羽黒山等の方が県外からの友人や親せきには評判が良い。産直に関しても、鶴岡のもんとあ〜るや、あぐりの方が品数や催し物が多く買い物も楽しい。何かもっと、違った魅力があればいいと思うのですが…。
- ◆ 年をとったら、車の免許を返納したいと考えていますが、現状の交通の不便さを考えると、悩みます。車が無いと生活しづらい地域なので、色々と検討してもらいたいなあと思います。・酒田は美味しい食べ物がたくさんあるとおもいます。県外の人達にもっとしてほしい。駅前を利用して県外の人、地域の人も含めて魅力を発信できたらと思います。
- ◆ 酒田市は自然がすばらしいのに他県へのアピールがヘタすぎる。酒田市の人口が減っているのは、商業施設が少なく、若者がお金を使う場所が少ないからだと思う。イオンモールなど大型商業施設を入れれば、買い物に来る。そこに利益を出していく。今の若者や子育て世代の年代をターゲットにした施設を増やしてほしい。自然豊かなのであれば、アクテ

ィビティを充実し集客をねらえばいい。例えば、キャンプ場を高規格なキャンプ場を作って利益を得る。マルシェなどを開催して酒田のイメージを良くする。地元のものを買ったり、ラーメンフェスなど興味をひくようなイベントをすればいいと思う。自然と商業施設の充実化をはかる。教育では、学校教育の教育方針や教師の子ども達への指導はどうなっているのかと不安が消えない。複雑な問題を解決するための努力が(姿勢)がみられない。子ども達の貴重な時間をしかっておしえるのではなく、子供たちの気持ちに歩み寄る指導をしてもらいたい。今後一中女子生徒のようなことが起こらないように…。心から願っている。

- ◆ 交通機関を充実させてほしいです。るんるんバスを利用していますが、毎日利用するには料金が高く、便の本数も少ないためちょうど良い時間がありません。車を所持していない学生や高齢者が移動しやすいようになってほしいと思っています。コロナ禍なら対応は素晴らしいと思っています。宿泊施設や飲食店の割引があったので、たくさん利用させていただきました。酒田市の魅力に気づける機会になったと思います。いつもお仕事お疲れ様です。酒田市が住みやすい場になり地元に残る人が増えたら良いなと思っています。今後無理せず頑張ってください。応援しています。
- ◆ 酒田市民なのに酒田に就職したことがほぼないので、いろんな就職を手厚くしてもらえればとおもいます。(高齢になったとき)独身なので年齢を区切らないで結婚活動を気軽に出来るシステムにしてもらいたいと思います。私の住んでいるところは小生根が腐った人がよくいるので他に移りたいと思う理由なのですが相手にしないことにしているのですが同じ酒田市でも移りやすい環境があればと思います。
- ◆ もっと海に関わるイベントなどを増やして地元民も観光客もいっぱいくる“SAKATA”にしてー！
- ◆ 酒田を活力ある町にするには若い人達の力が必要です。地元に戻りたくても働く場所がなかったり、子育てにも支援がなければ若い人たちは定住できないと思います。そこで雇用の創出、住宅の支援、妊婦検診の補助金、出産祝い金、保育料の低減、学校給食の無償化等、スピード感を持って、できることから始めてほしいと切願します。他からの移住、定住を進めるより、酒田で生まれた酒田愛の強い人を地元に戻す政策の方が大事だと思います。
- ◆ 誰もが安心して生活できるまちづくりをしてほしいです。(例えば、旧かんぼの郷を防災に役立てる、温泉を利用することで地域住民の交流やつながりを作るなど)
- ◆ 自然を残しつつ、若者が暮らしたいと思える街にしてほしいです。・商業施設(外資系、アパレル系)・スポッチャなどのアミューズメント施設・ねぶた祭並みのエネルギーを感じる祭り・食べ歩きできるお店がほしい。・ライブ会場・繁華街・有名な観光地
- ◆ ・高齢者が安心して運転免許証を自主返納出来る環境づくり。・地域公共交通網の基幹を充実し促進する。・乗り合いタクシーの実証実験のデータ収集等。
- ◆ 今、親の介護の世代ですが、とにかく不便さを感じます。親の免許の返納をした方がいいのはわかっていますが、その後の生活を考えると車なしの生活が足腰の弱った親には無理

であり、仕事をしている私達が付きっきりになるのも無理。タクシー券だのるんるんバスの利用もわかりますが、それが生活に直結しないことはガラガラのるんるんバスを見るとわかって頂けると思います。冬の除雪もしかり。今の親の生活を見ると、将来が不安になり、移住を考えたりします。酒田の景観についてですが、とても観光に来てもらうレベルではないと思います。山居倉庫は素晴らしいのでしょうか、何度も訪れたいというところではない声も聞こえます。周辺に山居倉庫しかないからと思います。せっかく海鮮市場が少し先にあるのですから、分断せずに無料のシャトルバスを出すとか、山居倉庫の立派な橋を渡った先に海鮮焼きのお店^_^出すとか、もっと工夫が必要だと思います。もったいないです。防風林ももっと整備してほしいです。走っていて汚い印象です。

- ◆ 若者の楽しめる施設がない。例えばラウンドワンとかあればいいかと思います。それと日帰り入浴施設がかんぼの湯が閉館してから酒田市内になく、温泉、プール、運動できる一貫施設があれば利用したいです。
- ◆ 住みやすい環境の為、再利用できる物をゴミと一緒に燃やさない。土壌汚染は深刻な問題です。農業住民の暮らし、健康への影響を考えてください。今、生活している豊かな自然は私たちだけのものではなく、次の世代を生きる人のために安心安全な環境、自然を大切に守るべきだと思います。
- ◆ ・山居倉庫は現在のままで商業跡地の有料化は存続が危ぶまれる。かつてのアメ横の二の舞になる。・子供が安全に遊べる海が欲しい。遊園地もあれば良い。・雨天でも遊べる場所がない。
- ◆ 緑もいっぱいあって綺麗に整備されたまちだと思う。文化芸術にも取り組んでいると思う。ただ水産のまちにしては、魚の数量、種類が少なすぎる。地元で捕獲した魚類を手頃な値段で流通して欲しい。新潟市内のスーパーに行くと地元の魚でいっぱいです。それにその魚たちを地元の料理で食べられるように加工販売をしています。新鮮なのでどれを食べても美味しいしとにかく手頃な価格にはびっくりします。大正浪漫の残る素敵な街並みもきれい！！何年か前、中年の男性が「憧れの酒田について来ることができました！！」あー、憧れの酒田と思えるくらいの町なんだなあとしみじみ思った日がありました。その方は他県から講義に来た方でした。
- ◆ 宮野浦地区に住んでいます。庄内交通のバスも撤退とか、交通の便をよくして欲しいです。又、中町に活気が欲しいです。山居倉庫の売店を高校の跡地に移動すると聞いていますが、絶対反対です。
- ◆ 酒田は永遠に若く健康であれば、住み続けたいと思うかもしれない。しかし、自分の子供にはここに住んで、欲しいとは、絶対に言わない。なぜなら、賃金が最低の地域であること。そして何より医療がかなり遅れている。自分の子供にはこの土地に縛りつけず、本当良かったと思っている。この町は住み続けたい町にはいつかなるのだろうか… と言えば交通の便も悪い…自分で車を運転できるから、今はまだ良いが…。新幹線も高速道路もずっとずっと先にできるのだろうか…
- ◆ ・近くにコンビニがない。車で行くしかない。・ジムを作って欲しい。
- ◆ ①教育の強化(1)酒田東・西・南出身難関大学出身者によるチューター制度導入→難関大

入学率 UP へ(2)専門コースの充実化、実務的コース or カリキュラムの強化→専門性の確立、即戦力教育(3)公益大学公立化→AIUを目指す、ビジネス分野?地域側セル分野?
②雇用の創出(1)市役所、地元企業インターン制度のサポート→①(1)(2)をインターンへ→ターン、Uターン促進(2) Entrepreneur(起業家)サポートの充実 ③農業活性化(1)官民学連携→公益 or 山形農学部との連携、AI、ビッグデータを農業へ活用(2)農業コンサルティング創設→全国/海外より担い手を集め、高齢の農業従事者をコンサルタントとして活用(3)農家支援共済強化④土地の有効利用(1)駅前ロータリー、空地→フードトラック、コロナで売上がおちた飲食店向けにも、②(2)一環として貸し出し(2)ファーマーズマーケットの敢行→②、③(2)の一環として(3)ミライニ活用→中にコーヒースタンド(市内でも、スタバとコラボでも)を作る、イベントも②(2)の一環でも⑤移住者支援(1)空き家バンク活用、支援充実化⑥福祉の充実(1)各種資料の見直し→わかりにくすぎる。(2)サポーター制度導入→学生とかも活用できないか?

- ◆ 女性が働きやすい町 酒田市にもっとバスの運行を!! 私は緑が丘在住小学生の子供が二人いてパートで働いています。子供が生まれる前までは酒田市で飲食店経営をしていました。出身は東京です。子育てには余裕が出てきましたが、子供の習い事の送迎が週に4回あります。子供には希望をもって活動してほしい一方で、私自身も今後また新しいことを始めたいと思っていますが、現実難しいです。子供が大きくなった後、私は何をしているんだろうと不安を感じます。私だけではないと思います、みなさんの近くではいつも送迎をするために動いている家族がいると思います。酒田市のバスの改定には期待が持てます!!学校と地区、市街を結ぶことで高齢者、子供など自身で自家用車移動が難しい団塊が自身で移動ができることで働き世代が希望を持って仕事を選べます。都心では小学1年生から電車通学している子もいます。最近では、GPS付きバス、自転車乗り入れ可能バス、車椅子対応バスがあり、キッズ携帯所持等で子供の安全も昔より確保できるものになっています。市役所、イオン等には乗り換えをできる安全な場所を作りバスをもっと運行することで、脱車社会、高齢者に安心の街、健康の維持、平日の夜の飲み屋街へも軽くいける等メリットがあります。宮野浦地区代表の田中 ひとし議員、さいとう直議員さんなら川南の交通事情をご存じだと思います。私の言葉足らずで伝わらないところは是非機会があれば市議会で伝えて頂きたいです。そしていかなる分野でも地方を代表する酒田モデルを作り上げてください。
- ◆ 中心市街が寂れていると感じます。若者が酒田に住もうと思えるまちづくりを期待します。“かんぼの郷の跡地に災害などで利用できる避難所を設けるべき。高齢化の社会にバスなど便数が増えますように。松山伝承館へ一本で行ける交通手段。都会の真似でなく文化ある街づくり、安全性ある環境。”
- ◆ 中町ににぎわいを。マリーン5の復活を楽しみにしています。商業跡地が地域企業により意義のある場所になってほしい。老後、気軽に集う場所がありコミュニティがとれる地域であってほしい。
- ◆ 酒田市は港町として海の幸、ラーメンが美味しい、歴史的建造物に触れることができる事を観光PRでもっとどんどん発信してほしい。

- ◆ Iターンで、父の農家を継ぐ為に、夫と酒田に戻って来ましたが、補助金を貰うのに、世帯の収入が多いということで、補助を受け取れませんでした。2人無収入になる前提で、計算されていないです。それに加え、新型コロナで、米の需要が減り、概算金も大幅に減り、暑さで、我が家のお米が昨年より収穫できず、火の車です。なので、農家に対する補助、補助を受ける際の緩和をお願いしたいです。
- ◆ 子育て世代への負担減らし援助や支援を増やしてほしい。子供たちが遊べる大きなレジャー施設を建設してほしい。
- ◆ まちづくりとは無関係ですが、アンケートの最初の住まい地域で、酒田地域③の登坂は十坂です。
- ◆ 1番は医療、福祉、介護を充足してほしい。 世代により必要性が違うが、高齢者が多く緊急事案が多い。コロナ禍で思う事は多かった。災害も増え、対処できる窓口は増やすべきだと思う。

4. 八幡地域（八幡総合支所管内）

- ◆ 住みたい街として人気がある様ですから、災害が少なく、市内は安全に住める街にして、魅力ある観光地として、海、山、島をもっと開発した方がいいのでは。(アイデア)どちらも中途半端で、迷走してる感じがします。
- ◆ 県外進学生へのUターン情報提供、進学者を誘致し得るまなびやの開発
- ◆ 自分も高齢者に近づいて行く中でやはり一番は生活しやすい事を考えます。 買い物や主治医への受診等又、銀行などなど基本ライフラインが整うことを希望します。 前にも何度かこのようなアンケートをいただきました。その際には若かったので交通手段や買い物など問題を感じず答えて来ましたが、年齢をプラスした総合計画であって欲しい。 年齢（人口流動）を十分に視野に入れ作成をお願いします。
- ◆ 現在は運転可能で希望する所には殆ど移動は出来ますが高齢な為将来運転出来なく成る事が到来します。その時は診察・買物・趣味等々は出来なくなると考えます。八幡地区なので高齢者に対する移動手段はどうなるのか？ 将来に向けての展望は殆んど描けません。希望持てる町作りを考えていただきたいと思います。高齢者もいきいきと暮らせる、環境作り、を是非考えていただきたいと思います。 現在夫が介護 3 なのですが特老入所に申し込みはしているのですが 3 年待っても入所出来なかったとの現状です。介護のむずかしさを現在はヒシヒシと感じ、ストレスに悩み(円形脱毛症)にもなり非常に難しさを感じている現在です。我慢しか無いのでしょうか。
- ◆ 酒田市の人口減少に歯止めがかかりません。少子高齢化に対応できる新たな地域づくりが早急に求められます。
- ◆ こんなのですか？の提案です。 ・山林の景観および生態系保全と地域経済の活性化。化石、木材燃料の併用。 ・参考自治体の資料添付します。だいじなのは、地域の資源の利益は地域に還元する。軽トラで運べる。地域ごとに材木市場をもうける。1トン当り(軽

トラ1台分)資料のように安く運用。

- ◆ 問9で今は、コロナの関係でここ数年地域で行っていた行事が無くなる事が多くあったので、まずは通常生活に戻り、生まれ育った酒田が、活気ある楽しいと思える街になればと思います。
- ◆ 公園とかは、各所に充実しており、子供たちと憩いの場としております。遊び場としては、良いと思いますが、幅広く体験できる施設も充実してほしいです。(例.複合型スポーツ施設、学習施設 屋外は、キャンプ、BBQ、グランピングも…広い土地を利用出来れば… スポーツ…ボルダリング、フットサル、テニス、パークゴルフ、グランドゴルフ、スケートボード、輪投げ、等
- ◆ 災害等少なくてもいいのですが、今後も防災、火災防犯等にそなえての訓練等に色々取り込んでもらえたらと思います。
- ◆ ・給食費の無料化・18歳まで医療費無料化・高齢者が元気でいられ外出し活躍する機会を増やしてほしい。・除雪(雪を残さないできれいにぬけてもらいたい)
- ◆ 国は今回のコロナで在宅医療を推奨していますが、もし家族が在宅医療を選択した時に、より良い選択ができるように知ることが出来ればと思います。たとえば、市民向けの公開講座等で在宅医療のサービスを身近に知ることが出来ればいいと思います。よろしくお願いします。
- ◆ 10月の給付金、これからの人生に活躍する人たちなのでダメとはいわれませんがもう少し老人達にも…。年金で暮らしているのに金額はだんだん下りその他にお金をとられるというのは残念でなりません。高齢者にももう少し考えて下さい。
- ◆ ・大卒でも地元に戻ってきて仕事ができる企業の誘致・中町の低年齢層と庶民でも利用活用できる場・大型商業施設の誘致・高卒でも地元で仕事ができる場・近くに専門学校があればと思う
- ◆ 高齢者の交通事故が起きています。自分も考えさせられます。十分に気をつけて運転したいと思います。免許を返納したいと思っているが自分の足が公共交通(暮らしの足はどうするか)。八幡地域ではどう動いたら良いか。乗り物がないと動けない。どうしたら良いか提案です。
- ◆ 人口増加の対策、若者の職場確保と充実
- ◆ 近場で買い物を済ませられるようにしてほしい。
- ◆ 子供たちが行きたがる公園(遊具とか)充実した施設とかがもっと欲しい。
- ◆ 旧3町の総合支所としての機能を低下させず市全体としてプラスとなるように充実して欲しい。超高齢化社会の人口減少下での安心した生活のために。地域の人、自然、環境を生かす地域づくりのために。多様なライフスタイルを受け入れる(実現できる)場作りのために。
- ◆ 合併する前の八幡町は環境が整っていると感じていましたが、合併後は環境も整っていないように感じます。酒田中心部の環境、交通が整っているのは大変良い事だと思うのですが、八幡町も生活のし易い町にして頂けると有り難いです。
- ◆ 日帰り温泉等、酒田市在住の方が例えば月3回程、半額で入れる等の特別なサービスを作

ってほしいです。また、酒田市からの不妊治療費の補助等で少子高齢化が減っていくのではないかと思います。子供が欲しくてもできない方がいるので。

5. 松山地域（松山総合支所管内）

- ◆ ここに住みたいと思える金銭的魅力を感じる街にする為に年齢問わず医療費無料や教育費無料等わかりやすい他自治体との差別化。 高齢者が住みやすい交通インフラの整備。車を持たなくて良い環境を整える。
- ◆ ここ 1、2 年でひとり暮らしになると思うので、「一人暮らし」に対する心構えや準備・対策(相続対策も含む)などの情報を広報などで知らせて欲しい。 住所が松山地区(南部)なので、住民も少なくコロナ禍で交流が少ない。スポーツだけでなく興味をいかせる交流の場が欲しいと思っています。
- ◆ 光ヶ丘の人工芝サッカー場みたいな、より大きな競技場を作ってほしいです。室内サッカー場もあるとよいと思います。
- ◆ 丸山市長の行政は当町地域には何も反映されていないし何もみえない 早急に取組むべきは少子化に歯止めをかけること、企業誘致、雇用の促進この 3 点限界集落ゴーストタウンなどと云われている町には未来がない。 美しい景観と環境をつくるで風車など身近な処にどんどんつくっては意味はない行政には失望を感じる
- ◆ 船橋町の健康センターに行く機会が多いのですが、歩道や道路の雑草にびっくり。職員は気づかないのか、職務外なのか…観光のための景観も大事ですが、市民の住み良い環境整備も日々生活している私達にはありがたいです。
- ◆ ・高卒地元就職者に祝金を(大学進学者には公的援助ある) ・三人以上子供を育てている者に慰労金を
- ◆ 中心市街地だけでなく酒田市全体(旧松山、平目、八幡)の環境改善(道路整備、森林整備)等安全安心にさせる様に今後のまちづくりにきたいしたいです。
- ◆ 若い人たちが家を建てる土地が欲しい。酒田は色々な場所に売地・売り物件がありまた広すぎます。若くて家を建てたい人達が周りにたくさんいます。みんな広すぎて買えないと言っています。何か手段はないのでしょうか。山居倉庫、日和山、海鮮市場、相馬樓など歩いて回れる観光地がたくさんあるのに生かされていない。駐車場がなく親子で遊べる屋内施設(鶴岡にあるような)酒田にはなぜ映画館も無いのでしょうか。買い物はイオンやロックタウン、落ち着いた空気の駅前の図書館、観光、遊ぶ目的の中町周辺があっても良いと思います。清水屋を建て替えて、買い物というより老若男女すべてが遊べる場所があっても良いと思います。歩いて運動できる丁度良いさんぽコースです。
- ◆ 松山市に住んでいます。眺海の森「さんさん」が休業してから何年かありますが、これから先どうするのでしょうか？都会から来る人は「こんなにすばらしい所なのに」と言ってくれますが、松山に入ってくる人が少なく閑散としております。今度何かの計画はあるのでしょうか？酒田市内だけでなくこちらにも目を向けてほしいと思います。

- ◆ 年齢的に夢も希望もだんだんと湧いてこないのですが、昔はバスも通ってたのが廃止、その時はここも僻地だの～と思った。一部の人は便利のいい街へ。ある家族は子供のところへ、もうだんだんと人口が減ります。そればかりではありませんが。車の免許がないと暮らせません。タクシーもあります、...。若い人は便利の良い所へ、このままだと各部落神社その他維持するのは将来心配です。松山中心に集め、酒田でもいいのですが地震災害に強い建物を建て、まちづくり、その部落の良さを集め、商売をしたり、温泉ひいたり、工場を持ってきて人を集められる街になり、病院、学校、大学、そこに部落ごと集まり、大きな街へとなったらいいなあと。そんな政治家来てくれたら楽しいですね松山に。それと年齢が高い人の趣味、体力づくり、音楽、発表できる場所あったらいいですね。
- ◆ 今後の市政を運営する上で、一番の問題は人口減と財政の確保が重要課題ではないでしょうか。将来の酒田市を見据えて何が重要かは自ずと答えが出てくるものと思われる。それは行政効率を良くする観点で国も計画している都市（市街地）集中型の生活スタイルで市街地に居住地を集約させる施策を早期に実施させることが必要かと思われる。そのためには市民に早期に計画を周知させ、理解を得ることが必須ではないかと考える。酒田市のこれからの取り組みの項目25ありますが、全てが重要であると考え。この項目を完全に実施するためには財源が困難ではないかと考える。財政の関係から全てが中途半端に終わり、なんの効果ない状況になるのではないかと予想される。無駄な経費を執行するより早期に都市集中型構想に向けた施策を実行することが必要ではないかと考える。都市集中型構想を市民に広報すれば当然理解に時間がかかり、首長及び議員選挙で落選する可能性はあると思料されるがこれに恐れず、信に将来の酒田のために実行することを期待するものである。
- ◆ 駅前以前のように大型百貨店があれば活気付くのではないのでしょうか。（中町も同じではないのでしょうか）以前の方が映画館ももっと賑わっていた様な気がします。昔より賑わいがなくて少し寂しいです。東京から酒田までの直通の新幹線ができれば良いと思います。そうすれば酒田ももっと活気付くのでは。私は酒田、庄内が大好きです。酒田には自然などいいところもたくさんあるので県外の人にも知ってもらいたいです。
- ◆ 市広報について。・通りいっぺんのお知らせ広報になっている。深みがない。・重要産業は特集記事にして掘り下げて広報するとか、読ませる工夫が必要。・お知らせ広報はパターンを決め、外注で可能だ。市職員が編集する必要はない。
- ◆ できることなら酒田市に住み続けたいと願っている一人です。過去に東京の都市への通勤でコンクリートジャングルの風景を経験して、庄内の素晴らしさを改めて認識させられました。それから数十年経ちましたが「冬期間も住みやすいまちづくり」をお願いしたいです。高速道路の除雪距離が増えた為か、生活道路の除雪が悪い時があります。具体的には縁石のある歩道の部分だけを除雪し、車庫と家の前の歩道部分はそのままにして除雪しないというのが毎年のことです。家の前の県道が綺麗に除雪され、車庫と家の歩道部分の町道にどっさり雪が積もっているままにされているのはかなり目立ち過ぎます。北米原産のキリン草の群生が年々拡大しています、アレルギーの庄内にならないか将来が心配です。
- ◆ ・クラフトフェア等が定着したことから 酒田のもの造り文化の復活-酒田タンス等の木

工芸の拠点を景観等にマッチした松山地区に作り、芸工大卒業生等の定住誘致、農と工・美が一体となった地域を目差したらどうか？里仁館・伝承館と有機的な動きが出れば尚良いと思います。 ・市が管理する花壇等、花の愛好家等一般に借出し、一年間管理をボランティアでやっていただく ・市民の市政への参加意識、個性に富んだ街づくりが行われる可能性がある。コンテストや年間表彰などもあればもっと盛り上ると思う。ざっとした年間生育計画を出していただく以外は自由に表現。土地のない地区は自作プランターなどでの参加と面白いと思います。

- ◆ 地域の行事などは友達などとの交流もあり参加する事はありました。地域のつながりというのは高齢の方もたくさんいるので、力になってあげたり、旅をする事でお互いに助け助けられとてもよいと思う。あまり酒田市全体の事は考えたことがなかったんですが今回コロナというウイルスが流れ、ワクチン接種の予約をとりたく酒田市の公式ラインアカウントに登録しました。いろんな事や予約の状況などを確認する事が多くなり自分も酒田市の市民として認識する機会により、職業がサービス業だったので早くワクチンを打ちたかったのですが、なかなか予約がとれず、会社の方から力をかり受けました。他の地域の話を書く事も多かったのですが、ワクチン接種の対応は遅いように思いました。話はかわりますが、酒田市は自然も多く、美味しいものも多くて、災害も少なく、住みやすい町だと思います。もっともっとこんなに素晴らしい町だという事をいろんな人達に伝えてもらいたいと思います。
- ◆ るんるんバスを松山地域まで走らせてほしい。

6. 平田地域（平田総合支所管内）

- ◆ 様々な用途での建物建設はいいと思いますが、（特にミライ二等）、若者をもっと増やしたり、地域の活性化を考えたら、若者向けの商業施設を建てて欲しいです。流行りのものがあればさらなる活性化につながると思います。若者向けのブランドが色々入った建物が欲しいです。正直若者に対する、商業施設はもちろん、スポーツ施設等をもっと建設してもらいたいです。駅内の施設をもっと増やし、駅の中でも楽しめるものを作った方がいいと思う。もっと色んな商業施設（若者向け）もそうだが、高齢者等を老若男女が皆楽しめる商業施設をもっと増やして欲しい。そうすれば都会への若者流出も少なくなると思います。その商業施設で働きたいと思うから。
- ◆ 高齢者の方々障害者の方々にも優しい、住みやすいまちであって欲しいです。高齢者の多い過疎地域にも交通の便を増やして頂けると、お年寄りの方の暮らしやすさ、また免許返納にも繋がるのではないかと思います。
- ◆ コミュニティ振興会、自治会の予算が一律削減されている事は納得出来ない！
- ◆ 資源回収に協力したい気持ちは強いがペットボトルの回収が月一回では、どうしようも無い。せめて鶴岡市と同じレベルでしてもらいたい。
- ◆ ・酒田市内に住んでいる方は住みやすいだろうなと思います。ただ、酒田市外に住んでい

る方は車に乗れなくなると病院に行くにしても買い物にしても大変です。住民の隅々まで住みやすいと思える街づくりを希望します。(安価で品数の多い移動販売車、車が運転できなくても通院できるシステム)・少子高齢化が加速させて進んでいる酒田(庄内)ですが、実際止められないだろうと感じています。観光業も今回のコロナで人々の流れが戻るまでは時間がかかり、その間に復活し、新たな雇用が生まれるのが難しいだろうなと思っています。県外に就職した若い人々が地元に戻って仕事をしたくても、就職する場所がないと戻っても来れない。ハローワークだけでなく、市でもIターンやUターン希望者への情報発信等具体的に動いて頂けるとありがたいです。地域活性化は、やはり人だと思えます。

- ◆ 後期高齢者で車の運転が思うように出来ない。先日デマンドタクシーの説明を聞きました。が運行本数の少なさや、地域間のつながりの不便さがあるようです。例えばタクシーであれば、交通利用券割引券などを発行して、利用が多くできて簡単な方法であつたらどうか。
- ◆ まずは、広報は月1回でよい。理由は、経費の節約。また、他は回覧でOK。理由その2。自治会長の負担を軽くする。何かの要望があつた場合、迅速な対応をお願いしたい。市職員の数が多い。ろくな仕事もしない人がいるのではないか。とにかく税金を大切に使うて下さい！！
- ◆ 駅前の再開発で新しい建物が増えたり、周辺道路等の整備は進んでいますが、そもそも駅前に魅力のある施設がない為、行く理由がない。少し歩けば多少はあることは理解しているが、車生活が主な酒田市民にとっては使いづらさが目立つため、そのあたりを含め、改善されることを期待しています。
- ◆ 市の財政が厳しいのは理解できるが毎年全ての予算が削られるのはどうかと思う。特に旧3町の予算が削られているように思う。何の産業を優先するのかよくわからない。箱物の維持費も高くなかなか修繕費、新規購入もほとんどできないようである。少しずつでも予算化していただければいいかと思う。
- ◆ 高速道路の早急な整備を求む。秋田、新庄、新潟といずれも接続を完了しておらず平日頃より不便さを痛感しております。住民の私でも思っているわけですから本市に交流される方々も同じだと思われます。それによって交流の(観光も)機会が減少するのは必然的だと感じます。
- ◆ 山間地の河川が豪雨など災害時に堆積土砂が川幅狭めて上流からの流れて来た障害物に寄り土砂ダムが出来、川沿いの人家に被害を出すのは絶対に食い止め無ければ、何十年前から陳情しても優先順位で先に進まず。見直して貰いたい。

第4章 酒田市総合計画 基本計画に対する提言

第1節 未来を担う人材が豊富な酒田

政策1 協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち

「問5 酒田市の市政への参画機会」については、62.4%が「変わらない」と回答しており、うち56.1%が「以前から参加する機会は少ない」となっている。全体的にみると、平成30年の前回調査と比較して2ポイントほど参加していない方向に回答が変化している。回答者の属性別にみると、年代や居住地域等により多少の違いはあるが、「変わらない（以前から参加する機会は少ない）」が多数を占める点は変わらない。

「問6 過去1年間のボランティア活動や市民活動への参加」において、最も多い回答は「参加していないし、今後も参加したいと思わない」（39.2%）であった。平成30年に実施した前回回答よりも6ポイントほど増加していた。一方、「参加した」は19.5%であり、前回からは8ポイントほど低下が見られた。回答者の属性別にみると、女性よりも男性の方が「参加した」の回答が多く、年代別では60代と70代以上の参加が多かった。居住地域では八幡・松山・平田の旧三町での参加の回答が多く、酒田市が好き、酒田市が住みやすいと回答した者の参加や、今後の参加意向が多い傾向があった。

「問9 過去1年間の地域行事への参加」については、「参加した」「興味がないので参加していない」の回答がいずれも3割強で拮抗している。なお、前回調査と比較すると「参加した」は19ポイントの低下、「興味がないので参加していない」は7.6ポイントの増加となっている。回答者の属性別にみると、参加が多いのは男性、70代以上、酒田地域③、酒田市が住みやすい、酒田市に住み続けたいと回答した者であった。

地域行事については新型コロナウイルスの影響で、行事自体の中止や縮小があり、参加する機会がそもそも限られていたことが影響していると考えられる。ボランティア活動や市民活動も同様であろう。ただし、コロナ禍が一過性の事象であると考えれば「今後も参加したいと思わない」（問6）や「興味がない」（問9）の回答が増加したことは課題である。いずれの項目も参加したと回答している者は男性や70代以上が多く、酒田市が好きかどうか、酒田市が住みやすいと感じるかどうかという回答とも関連が見られている。男女問わず幅広い年代が参加できるような活動、行事の工夫が求められる。

問5の市政への参画機会については問6や問9ほどコロナの影響が見られていないが、「以前から参加する機会は少ない」が過半数を占める状況である。回答者の属性による回答の顕著な違いは見られないため、幅広い情報発信により、関心を高めていくことやデジタル技術の活用により参加しやすい環境を整えていくことが必要と思われる。

「問14 広報活動を通じた市政、まちづくり、地域活動への関心の高まり」については「高まった」（38.6%）に比べて「高まらなかった」（40.9%）が多い。ただし、この質問項目では媒体別の各種情報への接触頻度がわからないため、関心が高まらない理由には広報活動に触れる頻度の少なさと、提供される情報への関心の低さの影響が混在していると考えられる。回答者の属性によって回答に差がみられるが、この理由について考察を行うことは難しい。

今回新規に設定された項目であり、今後継続してデータ収集を行い、変化を確認していく必要があるが、その際は項目を分けて質問をすることでより詳細な分析が可能になると思われる。

「問 15 市広報や市公式 SNS への満足度」については、単体の項目では「十分な市政情報が発信されており満足している」が 32.6%であり最も多い。しかし何らかの情報が不足しているという回答を合計すると 36.4%であり、情報の充実を期待したい。その際に考慮すべきは、回答の順に、「各種施策（事業）の検討状況や経過」「イベント情報」の発信を重視することが望ましい。「情報はあるが分かりにくく理解しにくい」という回答も多いことを踏まえると、情報発信の方法には工夫が必要であろう。SNS がどの程度使用されているかについては今後の確認が必要であるが、更新された情報がある場合にプッシュ型で通知し、公式ホームページに誘導する方法や、あらかじめ関心のある情報を登録しておくとその情報について更新情報が通知される仕組み等、情報技術を活用し、個々人に個別最適化された情報発信についても検討していく必要があるだろう。

政策 2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」

「問 7 過去 1 年の東北公益文科大学の利用」について、「利用した」の回答は 6.8%であり、平成 30 年に行われた前回調査の 18.4%よりも減少していた。回答者の属性別に見ると、居住地域別では酒田市域③の川南地区居住者に「利用した」の回答がやや多く、大学の立地の影響が見られている。酒田市が好きかどうか、酒田市を住みやすいと感じるか、酒田市に住みやすいと感じるかどうかと大学の利用の間には関係が見られない。

今回の調査で「利用した」の回答が減少した背景には、新型コロナウイルス感染症により、学外者の来学制限を行っていたことが影響していると考えられる。なお、「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」では、『【大学まちづくり】大学とともにつくる「ひと」と「まち」』を選択した人は 3.0%であり、前回調査の 2.7%よりは改善が見られるものの、全 25 項目中 22 位となっており、地域と大学の連携や協働のさらなる推進が求められる。

連携については、総合計画に具体的な計画が記載されており、継続的に取り組んでいくことが有効と考えられるが、酒田市では 2021 年 3 月にデジタル変革戦略を策定していること、大学においても情報技術を活用した授業のノウハウが蓄積していることから、オンラインやオンデマンド形式のリカレント教育の実施も有効であろう。

文部科学省の諮問機関である中央教育審議会が 2018 年に公表した「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」では、キャンパスを新たな価値が創造される場とするために、大学は社会人や留学生等、多様な価値観を持つ多様な人材を受け入れていく必要があると指摘している。人生 100 年時代において、社会人を対象としたリカレント教育を行うことは、学び直しの機会を提供するだけでなく、キャンパスで学ぶ大学生にとっても多様に触れる機会となる。

東北公益文科大学は、地域に開かれたキャンパスとして、社会人の正課生としての入学に加え、一定の教育計画の下に編成された複数の体系的な科目を学ぶ履修証明プログラム、開講科目の一部を聴講する聴講生・科目等履修生制度、公開講座等、地域社会に対して多様な

学びの機会を提供している。これらの教育資源についてより一層の周知を図るとともに、地域のニーズを踏まえたプログラムの提供ができるよう、意見交換の場を作っていくことも有効と考えられる。

政策3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち

「問4 酒田市の都市環境の満足度」において、「(9)教育環境」は「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が41.3%、「どちらかといえば不満」、「不満がある」を合わせた『不満』が36.3%であった。前回調査よりも『満足』の回答が増加しているが、『満足』の41.3%という数値は、問4の19項目のうち15位である。また「わからない」という回答が20.1%あり、19項目中4番目に高い値となっている。回答者の属性別にみると、酒田市が好きの人、酒田市を住みやすいと感じる人、酒田市に住み続けたいと感じる人は総じて肯定的な評価をする傾向がある。

「問8 子どもたちが文化芸術に触れる機会への満足」については、「わからない」が最も多く、『満足』(25.7%)よりも『不満』(34.2%)が上回っている。

「問16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」では、『【教育】公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育む』は26.2%(3位)の人に選択されており、期待の大きさがうかがえる。

酒田市では小中一貫教育ビジョンを設定し、中学校区ごとに9年一貫で系統性・一貫性のある教育を行うことを目指している。また、GIGAスクール構想により各学校では高速ネットワークが敷設され、生徒児童には一人1台のタブレット端末が付与され、調べ学習や協働学習に活用されている。情報機器の活用は教育方法の大きな変化をもたらしており、こうした新たな取り組みは教育委員会の発行する「きょういく酒田」により定期的に発信されている。しかし、問4において「わからない」という回答が多く見られていることを踏まえると、さらなる情報発信が求められる。問8に関連し、今年度からは土門拳記念館・酒田市美術館において鑑賞やスケッチ、話し合い活動を行うスクールプログラムが実施されている。この問についても「わからない」の回答が多数を占めることから、積極的な情報の発信が必要であろう。

なお、小中一貫教育やGIGAスクール構想は、子どもたちを育むための手段であり、これらの取り組みを通してどのような成長が見られたのかというアウトカムについても情報発信を行うこと、取り組みやアウトカム指標の点検評価を通してPDCAサイクルを適切に回していくことも望まれる。

また教育の目標は学力の向上のみでなく、変化の激しい時代においてたくましく、そしてしなやかに生きる力を育むことにある。いのちの教育の推進や豊かな心、健やかな体の育成も求められる。こうした様々な取り組みを行うにあたっては、多忙化が問題視されている学校現場だけで対応するのではなく、地域や家庭との連携も重要であろう。今後、中学校区ごとに小中一貫で特色ある教育を進めていくにあたり、地域と学校が協働で子供たちを育成するという視点を持つことが望ましい。学びのフィールドを学校から地域に広げ、多様な人材の多様な価値観に触れる機会を増やしていくことは、第2期教育振興基本計画にて目指す人

材像として定める、学びを生かし、自他を尊重しふるさとを担う人材の育成に繋がるとともに、地域社会の学校教育に対する理解の促進や満足度の向上に繋がると思われる。

政策4 学びあい、地域とつながる人を育むまち

「問4 酒田市の都市環境の満足度」において、「(7)スポーツ・レジャー施設の充実」は「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が30.0%、「どちらかといえば不満」「不満がある」を合わせた『不満』が55.3%であり、平成30年に実施した前回調査よりは『満足』が3ポイントほど増加しているものの、『不満』の回答が『満足』を上回っている。問4の全19項目のうち、『不満』が『満足』を上回るのは4項目のみである。また「わからない」が12.6%であり、8番目に高い値となっている。回答者の属性別にみると、年齢別では70代以上の満足度がやや高く、30代がやや低い傾向にある。また、酒田が好き、住みやすい、住み続けたいと考える人の方がそうでない人と比べて相対的に肯定的な評価が多い。

問4の「(8)芸術・文化水準」については、『満足』が『不満』を上回っているが、『満足』と回答しているのは41.3%であり、19項目中6番目に低い。ただし前回調査と比較すると『満足』の回答は8ポイントほど増加している。また「わからない」が20.3%であり、19項目中3番目に高い。回答者の属性別にみると20代のみ『満足』が多いが、その他は目立った傾向は見られない。また、酒田が好き、住みやすい、住み続けたいと考える者の方がそうでない人と比べて相対的に肯定的な評価が多い。

問4の「(19)歴史的建造物や伝統行事が残っている」については、『満足』は63.0%であり、19項目中6番目に高い。前回調査からは『満足』の回答が6.4ポイントほど改善している。「わからない」は14.1%であり7番目に高い数字となっている。回答者の属性による目立った差は見られない。

「問16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」では、『【社会教育・文化芸術・スポーツ】学びあい、地域とつながる人を育むまち』は12.3%(8位)の人に選択されていた。前回調査からは1.1ポイントの向上が見られた。

2019年度より実施されている酒田市スポーツ推進計画では、安全安心なスポーツ活動のための環境整備が基本目標として設定され、老朽化に伴う改修工事が計画的に進められている。また2018年から実施されている酒田市文化芸術推進計画においても、市民の文化芸術にふれる機会の創出に向け複数の事業が実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉鎖や事業の中止が余儀なくされる中で『満足』が前回調査よりも向上している点は、これらの計画に基づく施策の実施の成果であると考えられる。

なお、スポーツ・レジャー施設、芸術・文化については酒田が好きかどうか、住みやすい、住み続けたいと考えるかどうかという質問項目と密接な関係が見られる。自由記述では新しいスポーツに対応できるような施設やグランピング施設等の意見も見られており、今日的なニーズへの対応についても検討を期待したい。

第2節 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田～産業振興

政策1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち

市民アンケート調査の結果では、「問14 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【商工業】地域経済を牽引する商工業が元気なまち」は30.4%であり、第2位であった。【商工業】については、年齢別では30代～60代において30%を超える回答を得た。20代以下では19.4%、70代以上では23.2%であった。この結果から、幅広い世代、特に現役世代において商工業が重要視されていることがみてとれる。

総合計画の策定当初より大きく状況が変わったものとして「コワーキングスペース」がある。基本計画では「現状における課題」として「起業家の育成や新たなビジネスの創造を目的としたコワーキングスペース UNDERBAR（アンダーバー）を開設しており、支援の充実を図っていく必要があります」。「今後の方向性と主な政策」として「コワーキングスペースの利活用による交流機会の拡大と創業の促進」、「新たなコワーキングスペースの開設」がある。

コワーキングスペースは2000年代にアメリカのサンフランシスコで生まれ、その後アメリカの大都市を中心に広がるとともに、ヨーロッパや他地域にも伝播していった。コワーキングあるいはコワーキングスペースという現象は欧米にとどまらず日本や他の各国においても着実に浸透しつつある（宇田・阿部[2015]）。

コワーキングスペース UNDERBAR は地域の「プラットフォーム」としての役割を果たし、「社会的創発」を生み出していくことが期待されていたが（小野[2017]）、総合計画策定後の環境変化等によりコワーキングスペース UNDERBAR が閉鎖されたことは周知のとおりである。現在、市内には二つのコワーキングスペースがあるが、「今後の方向性と主な政策」に掲げられた「コワーキングスペースの利活用による交流機会の拡大と創業の促進」、「新たなコワーキングスペースの開設」に力を入れていく必要がある。

なお、今回のアンケート調査からは、商工業に関しては十分な分析ができないため、アンケート設計において調査項目を検討する必要があるだろう。

<参考文献>

宇田忠司・阿部智和(2015)「コワーキングスペースの様態：国内施設に関する記述統計分析」

『経済学研究』北海道大学大学院経済学研究科, 65(1)号, pp.67-95

小野英一(2017)「コワーキングスペースに関するプラットフォーム論からの一考察—コワーキングスペース UNDERBAR を事例として—」『日本地域政策研究』日本地域政策学会, 第19号, pp.48-56

政策2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち

市民アンケート調査の結果では、「問14 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【港の物流】」は11.7%であり、第9位であった。

基本計画では「今後の方向性と主な政策」として「庄内空港を利用した輸出入拡大」、「ヤ

マト運輸株式会社・株式会社 ANA 総合研究所・山形県による「三者連携協定を活かし、本市（県）の強みである農産物の輸出拡大に取り組みます」と掲げられているが、この公民連携の分野では、近年、「行政ビジネス」に光が当てられている。

「行政ビジネス」については以下のとおりである。行政が持っている様々な知恵、人材、ノウハウ、資源などを引き出し、それを民間企業の手法や経営資源と組み合わせて、新しい官民コラボレーションのビジネスモデルを創り出す。ビジネスを継続のエンジンとする。行政にはそうした役割が求められており、今後の行政のスタイルの一つになる。このスタイルを「行政ビジネス」と呼ぶ。民間企業にとっては新しい形での公共領域でのビジネスチャンスが広がることとなる（稲継・山田[2011]）。

地方分権が進められて以降、自治体では主体性・独自性が求められるようになったことも、「行政ビジネス」に光が当てられるようになったこと背景となっている。また、財政難により財源が限られる中、限られた財源でより高い政策効果を上げるためにも、「行政ビジネス」のような政策手法の進化が課題となる。民間との連携が必要な分野においては、行政と民間がそれぞれのリソースを活かし合い、相乗効果を生み出しながら進めていくことが重要である。

また、近年の動向として、経済的価値と社会的価値の両方の実現を目指す CSV（Creating Shared Value）（Porter[2011]）が注目されている。「港」の物流関連ビジネスを促進しながら、地域の産業競争力を高めるということは、この CSV の観点からも評価される。

なお、酒田市は「酒田市中長期観光戦略」の「オリジナル・ストーリー」において「“交易”と“公益”を2つの柱として設定し、「KOEKI（交易と公益）のまち・酒田」とする」と掲げており、これまでの「公益のまちづくり」の蓄積をもとに「公益」を活かした観光という他に類を見ない新たな観光：公益観光に挑戦しているところである（小野[2018]）。「酒田市中長期観光戦略」に掲げられた「KOEKI（交易と公益）のまち・酒田」という観点からも、酒田市においては「公益」とともに「港」は重要な位置付けにある。

なお、今回のアンケート調査からは、港の物流に関しては十分な分析ができないため、アンケート設計において調査項目を検討する必要がある。

<参考文献>

稲継裕昭・山田賢一(2011)『行政ビジネス』東洋経済新報社

小野英一(2018)「「公益」を活かした新たな観光：「公益観光」の動向と課題—山形県酒田市の取組事例を中心に—」『日本地域政策研究』日本地域政策学会, 第20号, pp. 46-55

Porter, M. E. and Kramer, M. R. (2011) “Creating Shared Value” Harvard Business Review, January-February 2011, pp.62-77 (DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー編集部訳(2011)「経済的価値と社会的価値を同時実現する 共通価値の戦略」『DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー』ダイヤモンド社, 2011年6月号, pp.8-31)

政策3 地元でいきいきと働くことができるまち

市民アンケート調査の結果では、「問14 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【雇用】地元でいきいきと働くことができるまち」は47.5%であり、第1位であった。年齢別でみると、20代以下以外の世代では、いずれも【雇用】が最も高い値を示しており、雇用の重要性は性別、居住地域などのあらゆる属性において最も重視されている。

「問4(11) 就業機会の多さ」については、「満足している」が4.7%、「どちらかといえば満足」が13.3%となり、「満足している」、「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は18.0%と2割弱となった。「不満がある」は31.4%、「どちらかといえば不満」は32.3%であり、「不満がある」、「どちらかといえば不満」を合わせた『不満』は63.7%である。

以上から、雇用については市民が最重要視しているものの、満足よりも不満が大きい状況あり、大きな課題であるといえる。

基本計画では「今後の方向性と主な政策」において「市職員におけるUIJターン社会人経験者の採用試験の継続」が掲げられているが、全国の自治体において職員採用にかかる様々な改革が進められてきている。採用には、組織内の労働需要を満たすため外部労働市場から労働力を調達するという意義がある(八代[2009])。採用は、雇用関係の出発点であり、人事問題は採用から始まる(Lazear[1997])。これら論者が指摘しているように、採用は組織活動に必要な人材を外部労働市場から確保するものであり、人事システムの出発点である「入口」であることから、人事システムにとって重要な位置付けにある。日本のように閉鎖型任用システムを採っている場合、「学卒入口」を原則とした限られた「入口」から入り、「閉鎖」された人事システムの中で基本的に定年退職まで長期間にわたり勤務する者を決めることになるため、特に採用は重要となる(小野[2019])。

経験者採用者については、他の組織での職務経験を当該自治体で活かし、自治体の他のメンバーもそこから学ぶことができるということや、多様な能力を有する人材を確保するため行政組織を活性化するというメリットがある。また、組織全体の年齢別構成の歪みを是正し、理想的なものに近づけるために特定年齢層の職員を募集し採用するということもある(稲継[2000])。自治体において経験者採用試験が初めて実施されたのは1988年であり、その後各自治体における人材確保や活用方法の見直しなどから徐々に実施する自治体が増加していった(日本人事試験研究センター研究開発本部[2004])。

自治体では経験者採用が進展してきている状況にあるが、さらに採用要件となる「経験」においても、様々な「経験」が提示されてきており多様化が見られる。この多様化によって様々な経験・知識・技術を有する者に「入口」を「開放」し、それらを活かすことができるようになる(小野[2019])。酒田市においても「市職員におけるUIJターン社会人経験者の採用試験の継続」とともに、UIJターンのみならず様々な「経験」を提示し、多様な職員を確保し、人事行政におけるダイバシティマネジメントを進める必要がある。

<参考文献>

稲継裕昭(2000)『人事・給与と地方自治』東洋経済新報社

小野英一(2019)「自治体における閉鎖型任用システムと「開放性」」大谷基道・河合晃一

『現代日本の公務員人事—政治・行政改革は人事システムをどう変えたか』第一法規, 第6章
日本人事試験研究センター研究開発本部(2004)「経験者採用試験に関する調査結果報告
『人事試験研究』日本人事試験研究センター, No.192, pp.13-18
八代充史(2009)『人的資源管理論—理論と制度—』中央経済社
Lazear, E.P.(1997) *Personnel Economics For Managers*, John Wiley & Sons (樋口
美雄・清家篤訳(1998)『人事と組織の経済学』日本経済新聞社)

政策4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち

市民アンケート調査の結果では、「問14 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【農業】夢があり、儲かる農業で豊かなまち」は17.4%であり、第5位であった。

基本計画では「現状における課題」として「国内市場における販路拡大を図るためには、他地域との差別化、ブランド化の確立が必要です」、「今後の方向性と主な政策」として「酒田産農産物による酒田ブランド、食文化の発信基地の整備を図り、消費拡大と、食を楽しみ、感謝する食育への取り組みを推進します」と掲げられているが、当分野においては、酒田市における食文化の発信が弱いという問題が考えられる。例えば鶴岡市では、これまで「食文化創造都市」を掲げ、「食文化」を活かした様々な取り組みを実践してきている(小野[2021])。具体的には、鶴岡市ではこれまで「鶴岡食文化創造都市推進協議会」の設立、「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟、「鶴岡食文化創造都市推進プラン」の策定、「食文化プロジェクト」の展開、「学校給食発祥の地」を活かした取り組みと、「食文化創造都市」の様々な取り組みを進めてきているところである。酒田市においてもこうした食文化発信の取り組みの強化が期待される。

なお、小松隆二は「農業の根本は公益」(小松[2007]p.292)、「米づくりをはじめ、農業に関わる事業や作業は、根本のところで「公益の理念」を必要とし、また公益に拠って活動せざるをえないようになっていた。公益の理念とは、基本的には自分一個を超え、<世のため人のため>に考え、非営利で活動することである」(小松[2007]p.293)と論じている。酒田市のオリジナリティである「公益」という観点からも農業の位置付けは大きいと考えられる。

なお、今回のアンケート調査からは、農業に関しては十分な分析ができないため、アンケート設計において調査項目を検討する必要があるだろう。

<参考文献>

小野英一(2021)「自治体における「食文化」を活かした地域振興の取り組み—山形県鶴岡市の「食文化創造都市」を事例として—」『地域活性研究』地域活性学会, vol.14, pp.185-191
小松隆二(2007)『公益の種を蒔いた人びと—「公益の故郷・庄内」の偉人たち』東北出版企画

政策5 100年続く森林（もり）を造り、活かすまち

市民アンケート調査の結果では、「問14 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【林業】100年続く森林（もり）を造り、活かすまち」は4.6%であり、第19位であった。この市民アンケート調査の結果からは森林に対する市民の注目は決して高くはないといえる。しかしながら、森林、特にクロマツ林は「公益のまちづくり」を掲げる酒田市のシンボリックな位置付けにあり、その重要性は大きい。

「公益のまちづくり条例」ではその前文において、クロマツ砂防林の植林に取り組んだことで有名な「本間光丘」が登場している。「本間光丘」は「公益の源流」として「公益学」研究において多々取り上げられており、「公益原理」等の点から公益性を評価されている（小野[2011]）。例えば間瀬啓允は、砂防林植林などの公益活動を踏まえ、「本間光丘は、公益の源流に位置する人である」「まさに公益を地で行った人である」と本間光丘の「公益」について論じている（間瀬[2002]p.3）。

基本計画における「現状における課題」として「森林環境の保全」、「松枯れの原因となっている森林病害虫等の駆除や防除を行うことにより松林の保全に努めていますが、被害は拡大傾向にあり、この防止が課題となっています」、「今後の方向性と主な政策」として「森林病害虫による被害林の拡大防止のための効果的な防除・駆除」、「森林に対する関心を喚起し、貴重な砂防林、里山を後世に引き継ぐための森林ボランティア活動や緑の少年団活動への支援」と掲げられている。

小松隆二は「参加・協力・連帯」が「現代の公益の基本理念」であるとし（小松[2004]）、「自分や身内のニーズを大切にしつつも、それを超えて地域や社会に参加、協力、連帯することが現代の公益活動の軸になろうとしているのである」と論じている（小松[2004]p.43）。クロマツ林などの「森林環境の保全」において、市民・NPO・行政・民間企業など様々な主体の「参加・協力・連帯」を実際に取り入れていくことが重要となる。具体的には市民参画・ボランティアを促進するなどの取り組みが挙げられる。

なお、今回のアンケート調査からは、林業に関しては十分な分析ができないため、アンケート設計において調査項目を検討する必要がある。

<参考文献>

- 小野英一(2011)「「公益学」の理論を活かした「公益のまちづくり」について—酒田市における「まちづくり」を事例として—」『地域活性研究』地域活性学会, Vol.2, pp.219-228
- 小松隆二(2004)『公益とは何か』論創社
- 間瀬啓允(2002)「序—全体学としての「公益学」」『東北公益文科大学総合研究論集』東北公益文科大学, 第4号, pp.3-4

政策6 恵み豊かな水産を活かすまち

市民アンケート調査の結果では、「問14 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【水産業】恵み豊かな水産を活かすまち」は7.4%であり、第13位であった。この市民アンケート調査の結果からは水産業に対する市民の注目は決して高くはないといえる。

基本計画における「現状における課題」として「庄内浜産水産物の認知度向上と消費拡大」、「今後の方向性と主な政策」として「庄内浜産水産物の特徴である多品種少量を活かし、県内における利用拡大を図るとともに、観光と連携して酒田に食べにきてもらう取り組みを行うことで、消費拡大を促進します」、「庄内浜文化伝道師等による魚食普及活動に対する支援」と掲げられている。

庄内浜産水産物のブランド化という観点から、課題等について指摘する。地域活性化や特色ある地域づくりの一環として、住民や観光客から選ばれる地域や商品・サービスづくりを目指した「地域ブランド」づくりが全国的に盛んになっているところであるが(都甲[2009])、地域ブランドの価値が高まることにより、地域の産品が売れる、観光客が来る、地域のアイデンティティの核になる、投資が誘導できる、商店街が活性化する、移住が促進されるなど、多岐に渡る効果が期待される(岩永[2020])。酒田市においても庄内浜産水産物のブランド化をいかに進めていくかが課題となる。

小林[2016]は「優れたブランド要素」の要件の一つとして「キャラクター」を挙げる。「キャラクター」とは、ブランドのシンボルとして用いる実在あるいは架空の人物や動植物のことであり、ブランド・イメージを豊かにするとともに、ブランドと顧客の関係を深めるという効果を有している。そして、庄内浜産水産物という地域ブランドの「キャラクター」としての役割が期待されるのが「庄内浜文化伝道師」である。山形県庄内地域ではこれまで「食の都庄内」の様々な取り組みを行ってきたが、庄内浜文化伝道師は「庄内浜の食」という面から「食の都庄内」の取り組みを担ってきた(小野[2020])。庄内浜文化伝道師の取り組みはあくまで庄内浜産水産物のブランド化に関わる取り組みの一つであり、今後いかに様々な面からブランド化を進める取り組みを展開していくことができるかが課題となる。

なお、今回のアンケート調査からは、水産業に関しては十分な分析ができないため、アンケート設計において調査項目を検討する必要がある。

<参考文献>

岩永洋平(2020)『地域活性マーケティング』ちくま新書

小林哲(2016)『地域ブランディングの論理—食文化資源を活用した地域多様性の創出』有斐閣

小野英一(2020)「食」を起点とした地域活性化について—山形県庄内地域における「食の都庄内」の取り組みを事例として—『地域活性研究』地域活性学会, vol.12, pp.219-226

都甲康至(2009)「食の地域ブランド・デザイン」『食の地域ブランドづくりにおける地域性とその課題』日本デザイン学会, 第16(4)号, pp.2-5

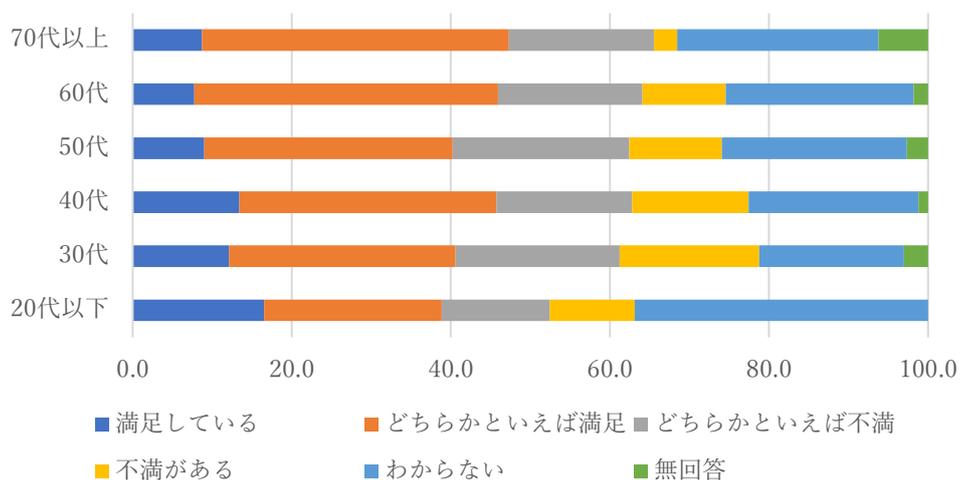
第3節 ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田

政策1 移住者・定住者が増えるまち

市民アンケート調査の結果では、「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【移住・定住】移住者・定住者が増えるまち」は 20.6%であり、第 4 位であった。この市民アンケート調査の結果から【移住・定住】は、【雇用】、【商工業】、【教育】に次いで重要視されていることが分かる。「問 1 あなたは酒田市が好きですか」、「問 2 あなたは酒田市が住みやすいと思いますか」、「問 3 あなたは酒田市に住み続けたいですか」のいずれも結果を回答者の属性別に見ると、年齢階級が上がるほど肯定的な回答が増加する傾向が分かる。若者、働き盛り世代、子育て世代の肯定的な回答を増加させる移住・定住施策が重要である。

移住者・定住者を増やすためには、本アンケート調査の問 4 の満足度において、否定的な回答が多い項目への対応に注力する必要がある。子育てのしやすさは、「満足している」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足』は 43.7%で、「不満がある」と「どちらかといえば不満」を合計した『不満』の 29.3%を上回っているが、年齢階級が下がるほど、『満足』の割合が減少し『不満』の割合が増加する傾向を読み取ることができる(図 3-1)。子育てのしやすさは、人口減少問題においても重要であるため、移住・定住施策と連携した取り組みを期待したい。なお、今回の調査では「移住定住対策の推進」に関し、直接問う調査項目の設定がなされていないため検討する必要がある。

図3-1 年齢階級別にみた子育てのしやすさ



N=1,082

注：問 4 と問 18 のクロスによる。

政策2 「おもてなし」があふれ、交流で潤うまち

市民アンケート調査の結果では、「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【観光・交流】「おもてなし」があふれ、交流で潤うおうちまち」は 4.5%であり、第 20 位であった。この市民アンケート調査の結果からは【観光・交流】に対する市民の注目は高くはないといえる。なお、今回の調査では「観光の振興」、「交流およびシティプロモーションの推進」に関するデータがないため、これらの項目に関する調査項目の設定を検討する必要がある。

施策3 「港」発の交流で賑わうまち

市民アンケート調査の結果では、「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」において、「【港の交流】「港」発の交流で賑わうまち」は 1.8%であり、第 25 位であった。この市民アンケート調査の結果からは【港の交流】に対する市民の注目は高くはないといえる。なお、今回の調査では「クルーズ銭湯の誘致による賑わい創出」、「みなとオアシスを活用した賑わい創出」、「庄内空港の利便性向上」に関するデータがないため、これらの項目に関する調査項目の設定を検討する必要がある。

第4節 暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田

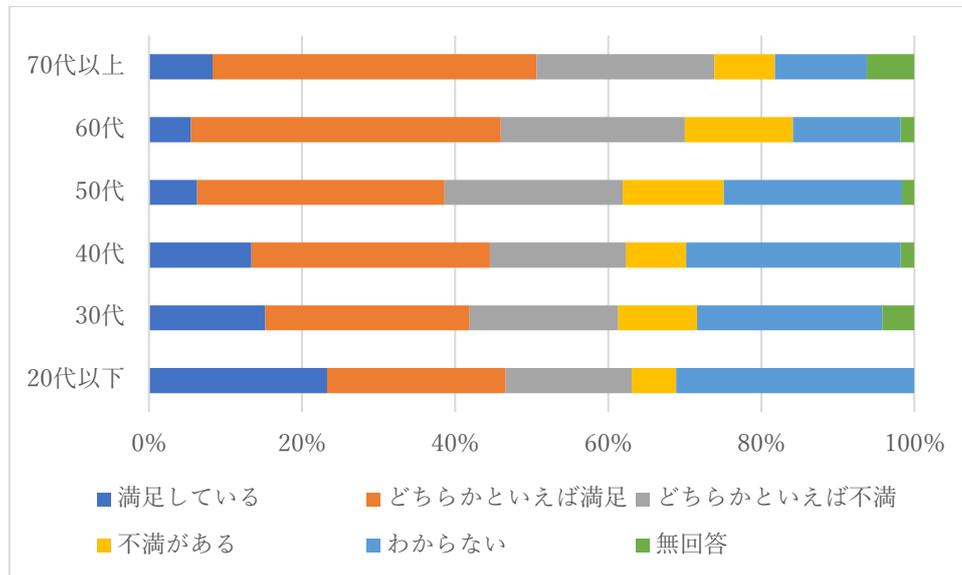
政策1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち

問 4 の (13)「福祉の充実」は、「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が 44.6%、「不満がある」と「どちらかといえば不満」を合わせた『不満』が 31.7%である。『満足』と回答した男性が 44.0%、女性が 45.6%で、大きな差はない。『満足』と回答した 20 代以下は 46.6%、30 代 41.9%、40 代 44.5%、50 代 38.6%、60 代 46.0%、70 代以上 50.6%であり (図 4-1)、70 代以上は 5 割を超えているが、50 代は 4 割を満たない。前回調査よりも『不満』も減少しているようだが、まだまだ 3 割以上が『不満』に感じていることから、「福祉の充実」が全体的にも年代的にも 5 割以上になることを目指したい。

酒田市総合計画では、現状における課題として、単身高齢者、高齢夫婦世帯の増加、地域福祉ニーズの多様化、福祉サービス利用援助事業や成年後見制度の利用相談の増加、障がい者の雇用問題、男性の方が優遇されていると意識され、慣行や固定概念等に捉えられる傾向が残っていること、在住外国人に対する相互理解・支援の輪を広げる必要があることが課題として挙げられている。問 4 の (11)「就業機会の多さ」では「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が 18.0%、「不満がある」と「どちらかといえば不満」を合わせた『不満』が 63.7%で、不満の方が圧倒的に多い結果となっていることから、雇用問題に力を入れる必要がある。また、問 16「これからの酒田市にとって重要と考える分野」からみると、「保健福祉・男女共同参画」5.6%ではあるが、地元でいきいきと働くことができるまち「雇用」については、47.7%で重要と考える割合が最も多かった。やはり、男性も

女性も、在住外国人も、障がい者も、誰もがいきいきと暮らしていくための「雇用」は重要である。

図 4-1 福祉の充実



(N=1,076)

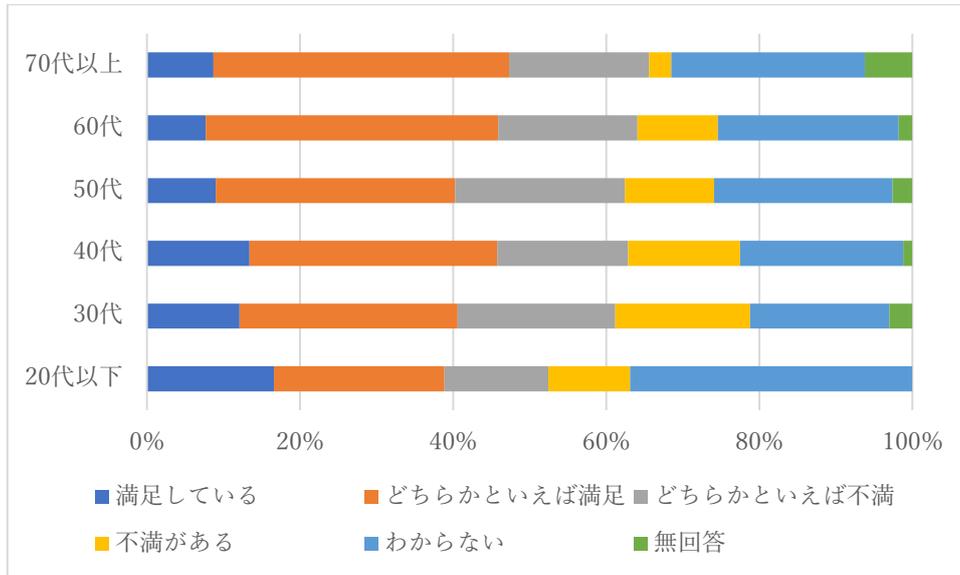
注：問 4 (13) と問 18 のクロスによる。

政策 2 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち

問 4 の (10) 「子育てのしやすさ」は、「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が 43.7%、「不満がある」と「どちらかといえば不満」を合わせた『不満』が 29.3%であった。『満足』と回答した男性が 41.7%、女性が 45.4%で、大きな差はない。

『満足』と回答した 20 代以下は 38.8%、30 代 40.6%、40 代 45.7%、50 代 40.2%、60 代 45.9%、70 代以上 47.3%であり (図 4-2)、概ね 4 割を超えている。酒田市総合計画では、現状における課題として、婚姻数の減少、晩婚化が進んでいること、出生数の減少傾向、3 歳未満児の入所相談の増加、保育士不足、学童保育のニーズの増加、保護者の働き方の多様化による保育ニーズと保育サービスとのバランスの検討が必要なこと、児童発達支援センター (はまなし学園) の機能強化、子どもの貧困、孤食、学習支援等の対策や関係機関との連携が課題として挙げられており、20 代以下の『満足』が他の年代よりも低い割合になっているのは、晩婚化が進み、子育て世代の年代が高くなっていることが考えられる。今後、『満足』が 5 割以上になることを目指したい。また、問 16 「これからの酒田市にとって重要と考える分野」からみると、「結婚・子育て」と回答した人が 16%で 6 番目に高い割合となった。自由記述でも「子育て」に関する記述が目立つことから、市民の関心度も高いことが窺われる。

図 4-2 子育てのしやすさ



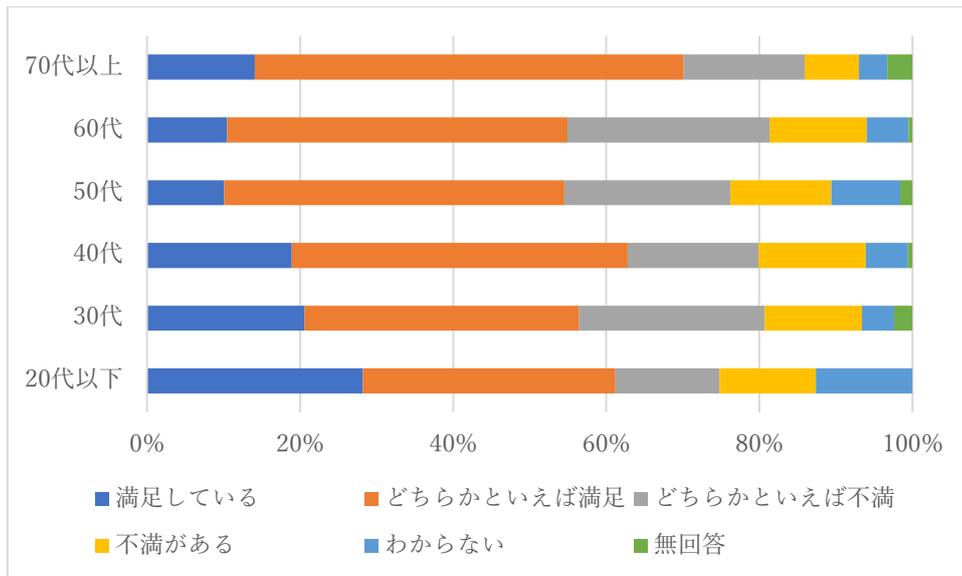
(N=1,076)

注：問 4 (10) と問 18 のクロスによる。

政策 3 健康でいつまでも活躍できるまち

問 4 の (12) 「医療機関の充実」は、「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』が 60.0%、「不満がある」と「どちらかといえば不満」を合わせた『不満』が 32.0%であった。『満足』と回答した男性が 63.0%、女性が 57.7%で、若干、男性の満足度が高い。『満足』と回答した 20 代以下は 61.2%、30 代 56.4%、40 代 62.8%、50 代 54.5%、60 代 55.0%、70 代以上 70.1%であり (図 4-3)、全ての年代で 5 割以上を超えている状態である。酒田市総合計画では、現状における課題について、胃がんの死亡率が全国のワースト 30、生活習慣病から重症化するケースの増加、認知症高齢者の増加、社会的支援を必要としている人の増加、在宅医療等の充実が求められていること、多職種間の相互理解や情報共有の充実等が挙げられているも、医療機関については、ちようかいネットはじめ、概ね充実しているといえる。問 16 の酒田市にとって重要と考える分野として、「健康」は 6.4%である。今後も、ちようかいネットによる医療機関の充実が図られることを期待したい。

図 4-3 医療機関の充実



(N=1,076)

注：問 4 (12) と問 18 のクロスによる。

第 5 節 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田

政策 1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち

まず「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」からみると、「【地域づくり】住民と行政の協働による地域運営ができるまち」と回答した人は全体の 2.0% (同 24 位) であり、あまり注目されていない分野であった。

次に、住民と行政の協働による地域づくりについて「問 5 市政への参加機会の増減」からみると、市政に参加する機会が「変わらない (以前から参加する機会が多い) (6.3%)」と「変わらない (以前から参加する機会が少ない) (56.1%)」を合計した『変わらない』とする回答が 62.4%と最も多く、その中でも「変わらない (以前から参加する機会が少ない)」と回答する者が全体の 56.1%と過半数以上を占めた。このことは前回調査と同様の傾向を示しており、この 5 年間ににおける住民の市政への参加機会は大きく変化していないといえる。

しかしながら、参加機会の増減に着目すると、「どちらかといえば減った (6.9%)」、「減った (6.4%)」を合計した『減った』が 13.3%であり、「増えた (2.6%)」、「どちらかといえば増えた (6.7%)」を合計した『増えた (9.3%)』を上回った。前回調査では『増えた』(10.1%)と、『減った』(8.3%)を上回っていたことから、この 5 年間で参加機会の減少が生じている可能性がある。

自治会活動について「問 9 過去 1 年間 (令和 2 年 11 月から令和 3 年 10 月まで) 地域行事への参加」から見ると、「参加した (32.5%)」と「興味がないので参加していない (31.5%)」がほぼ同数であり、次いで「興味はあったが参加していない (28.1%)」となっている。前回調査では「参加した」との回答が 51.5%と過半数を占めていたが、今回の調査ではこれが大幅に減少した。これは新型コロナウイルス感染症の流行を受け、地域で行われている行事そ

のものの中止や延期、縮小が影響を与えているものと考えられる。

地域づくりを推進する上で必要不可欠な「問 4 (14) 地域住民の連帯感の強さ」について見てみると、「満足している (11.3%)」と「どちらかといえば満足 (39.4%)」を合計した『満足 (50.7%)』が、「不満がある (8.9%)」、「どちらかといえば不満 (19.4%)」を合計した『不満 (19.4%)』を大きく上回った。前回調査と比較しても、この「連帯感の強さ」は大きく改善されている。

以上のことから、新型コロナウイルス感染症の流行という社会状況のもと、地域住民の連帯感は強化されているものの、市政や地域行事への参加機会が減少しているといえるのではないだろうか。アフターコロナを見据え、地域活動への参加を促す取り組みが求められよう。

政策 2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち

「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」からみると、「【景観と環境】美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち」は 2.6% (23 位) であり、政策 1 と同様に、あまり注目されていない分野である。

環境保全に対する住民意識について「問 4 (1) 自然環境の豊かさ」をみると、「満足している (54.5%)」と「どちらかといえば満足 (36.3%)」を合計した『満足』が 90.9% と極めて高い値を示し、「環境保全・廃棄物対策等の推進」のうちの「豊かな自然環境」の保全に対して、高く評価していると考えられる。

次に「公園都市構想の推進」について、「問 12 酒田市全体が公園のような街だと思いますか」からみると、「そう思わない (25.2%)」と「どちらかといえばそう思わない (32.3%)」を合計した『そう思わない (57.5%)』が、「そう思う (6.2%)」と「どちらかといえばそう思う (27.1%)」を合計した『そう思う (33.3%)』を上回った。前回調査では『そう思わない』が 62.7% で、『そう思う』が 26.0% であったことから、今回調査では肯定的な評価をする人が増加したといえるが、まだ半数以上の住民が公園都市構想に対して消極的な評価をしているという課題が残る。

景観形成に関する評価を「問 4 (16) 街並み景観の美しさ」からみると、「満足している (22.0%)」と「どちらかといえば満足している (44.5%)」を合計した『満足』が 66.5% であった。ここでは特に 20 代以下 (76.7%) と松山地域居住者 (71.8%) からの評価が高い。

「同 (19) 歴史的建造物や伝統行事が残っている」についてみると、63.0% が『満足』と回答しており、有形無形文化財の保存に対しても肯定的な評価がなされている。「13 景観形成重点地域の景観に良い雰囲気を感じますか」という問いに対しては、全体の 70.6% が『そう感じる』(「そう感じる (23.7%)」と「どちらかといえばそう感じる (46.9%)」を合計したもの) と回答しており、前回調査 (『そう感じる』67.7%) から肯定的な評価をする住民の割合が少し増加した。

以上のことから、「美しい景観と環境」に対して市民は概ね『満足』しているといえるが、「公園都市構想」については半数以上が消極的な評価をしているので、市民の理解や評価を得られるような取り組みがなされると良いだろう。

政策3 地域と連携でつくる安全・安心なまち

「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」からみると、「【安心・安全】地域との連携でつくる安心・安全なまち」は 7.5%（同 12 位）となっており、大きな関心を集めている分野ではなかった。なお、今回の調査では「消防・救急、防災」、「防犯・交通安全対策の継続」、「空き家対策の推進」、「建築物の耐震化」に関するデータがないため、これらの分野に関する調査項目の設定を検討する必要があるだろう。

政策4 「暮らしの足」が維持されるまち

「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」からみると、「【公共交通】「暮らしの足」が維持されるまち」は 7.8%（11 位）であり、政策 3 と同様に大きな関心を集めている分野ではなかったが、総合計画「第5章 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田」の政策5項目の中では、回答者数は最も多い項目であった。

「問 4（3）交通の便」から交通の利便性に対する評価をみると、「不満がある（33.5%）」と「どちらかといえば不満（30.7%）」を合計した『不満』が 64.2%であり、「満足している（9.8%）」と「どちらかといえば満足（21.6%）」を合計した『満足』の 31.4%を大きく上回った。前回調査では『満足』が 27.7%であり、「交通の便」を『満足』と回答する人の割合が若干増加したものの、依然として市民の満足が低いことがうかがえる。なお、地域公共交通および定期航路の安全運航に関しては、今回のデータからは分析できないため、政策 3 と同様、総合計画アンケート設計において調査項目の設定を検討する必要があるだろう。

政策5 自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち

本政策は過疎地域自立促進特別措置法の該当地域である八幡地域、松山地域、平田地域、飛島を対象としたものである。まず、「問 16 これからの酒田市にとって重要と考える分野」から見てみると、この「【八幡・松山・平田と飛島】自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち」は 3.8%（同 21 位）となっており、必ずしも市民の関心を集める分野ではなかった。

一方で、八幡地区、松山地区、平田地域居住者に着目すると、本項目について「重要」と回答したのは、当該3地区居住回答者（165 人）の 13.9%であり、酒田市全体での回答と比較すると関心の割合が高い¹（図 5-1）。なお、この3地区において「重要」との回答が最も多かったのは「【雇用】地元でいきいきと働くことができるまち（44.2%）」であった。本政策課題である「農業の振興」および「森林の整備」について同じく問 16 から見てみると、「農業の振興」については 21.2%が「【農業】夢があり、儲かる農業で豊かなまち」を「重要」と回答し、「森林の整備」については 7.3%が「【林業】100 年続く森林（もり）を造り、活かすまち」が「重要」と回答した。

¹ 飛島は酒田地域②（西荒瀬、平田、鳥海、飛島）に分類されており、個別データの抽出が困難なためここでは除外した。

最も関心の高かった「【雇用】地元でいきいきと働くことができるまち」は本政策の課題である「担い手の確保・育成」とも関連があろう。「問 4 (11) 就業機会の多さ」を見ると、酒田市全体では「不満 (31.4%)」と「どちらかといえば不満 (32.3%)」を合計した『不満』が 63.7%となっており、「満足 (4.7%)」と「どちらかといえば満足 (13.3%)」を合計した『満足』の 18.0%を大きく上回っている。これについて当該 3 地域居住者 165 人の回答を見ると、『不満 (68.5%)』が『満足 (15.2%)』を大きく上回り、酒田市全体と同様の結果であった。

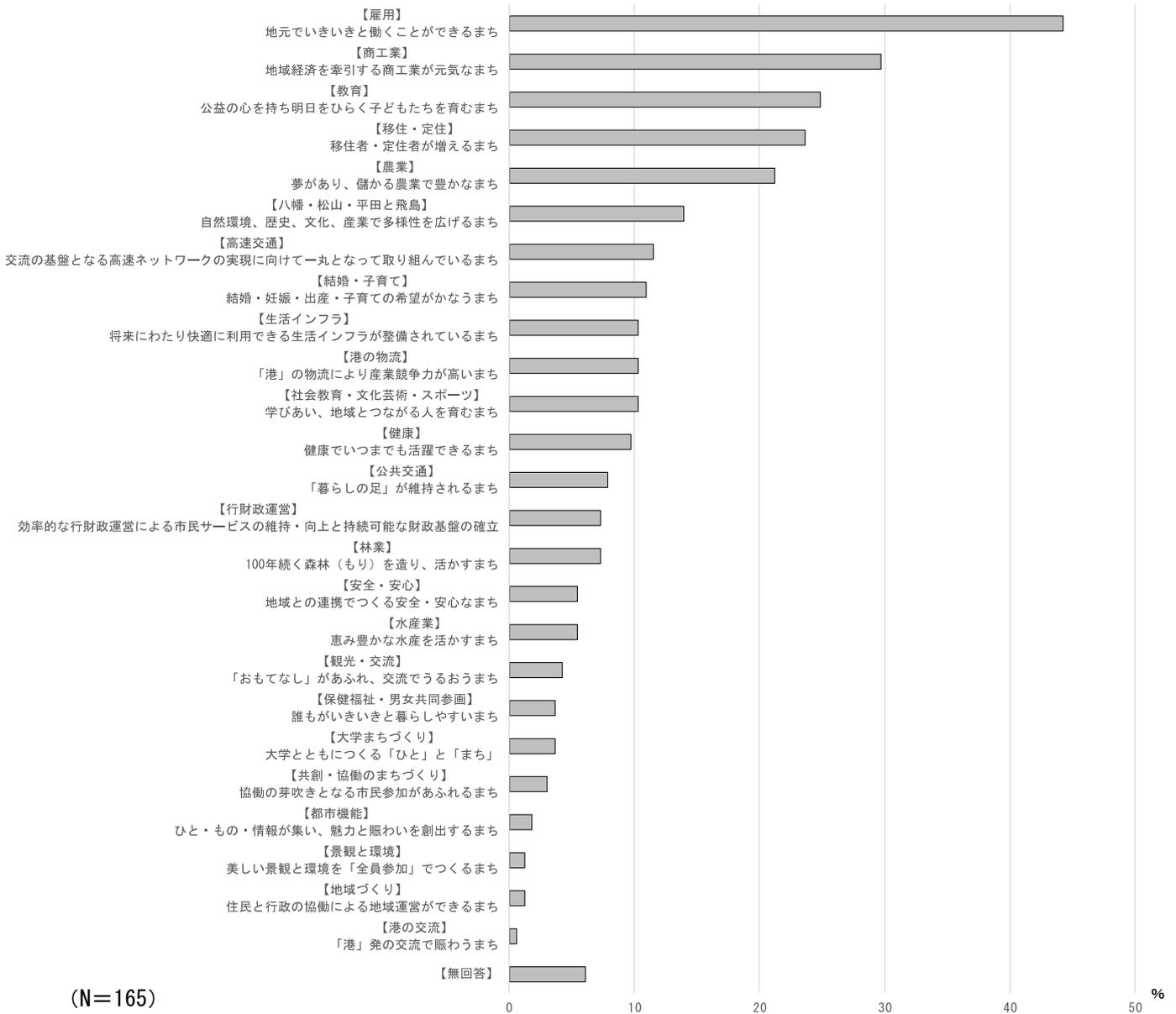
「日常生活の支援」については、「問 4 (4) 買い物の便利さ」、「同 (12) 医療機関の充実」、「(13) 福祉の充実」に対する当該 3 地区居住回答者 165 人の回答から見ていく。まず、「問 4 (4) 買い物の便利さ」についてみると、『不満』と回答したのは 53.3%で、『満足 (43.0%)』を上回った。これは『満足』が『不満』を上回った酒田市全体の結果と逆の結果となった。特に、松山地域では『不満』が 71.8%と極めて高く、買い物の利便性向上が求められている。

「同 (12) 医療機関の充実」についてみると、『満足 (50.3%)』が、『不満 (44.8%)』を上回った。また、「同 (13) 福祉の充実」では、『満足 (47.3%)』が『不満 (31.5%)』を上回った。これらは酒田市全体の結果と同様の傾向であった。

「鳥海山・飛島ジオパークの活用」に関して、「問 11 自然に親しむ活動やイベントへの参加」から見てみると、『参加していない (69.7%)』が『参加した (27.9%)』を上回った。とはいえ、酒田市全体と比較すると、『参加した』人の割合が酒田市全体 (17.4%) よりも高い傾向にあった。

以上のことから、本政策では「担い手の確保・育成」、「買い物の便利さ」に課題が認められた。なお、「飛島の振興」については今回のデータから分析できないため、アンケート設計において調査項目の設定を検討する必要がある。

図 5-1 酒田市のこれからの取り組みに関する八幡、松山、平田地域居住者の回答



(N=165)

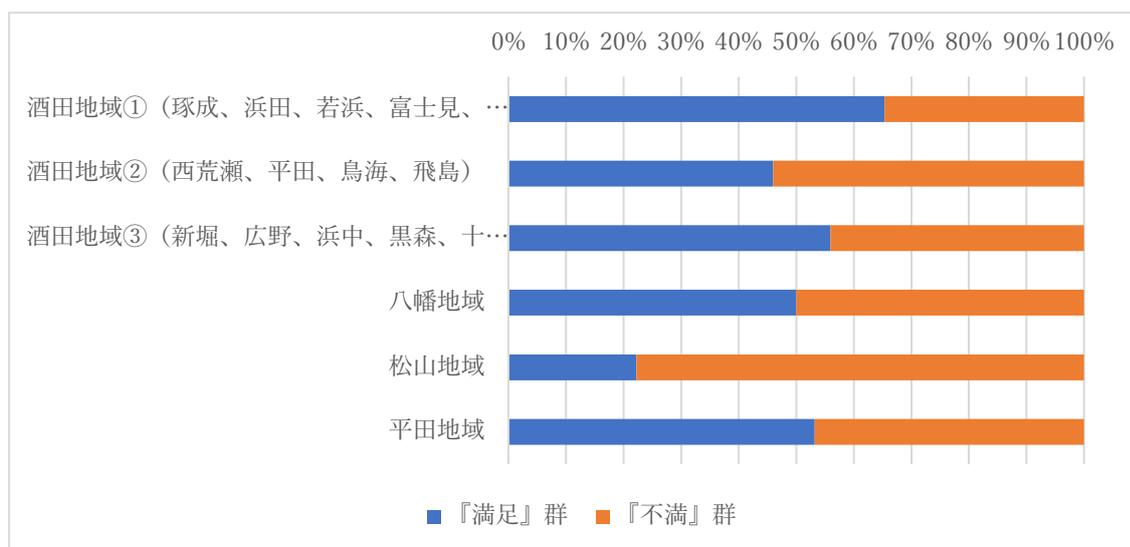
注：問16の回答から本政策が対象とする3地域（八幡、松山、平田）の回答者の回答に基づき作成。なお、飛鳥については酒田地域②（西荒瀬、平田、鳥海、飛鳥）に分類されており、個別データの抽出が困難なためここでは除外した。

第6節 都市機能が強化され、賑わう酒田

政策1 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち

酒田市総合計画では、今後の方向性と主な施策として、持続可能なまちづくり/中心市街地における都市機能の再生を挙げている。(買い物の便利さ)「問4 酒田市の都市環境 (4) 買い物の便利さ」の満足度を見ると、居住地域によって大きな差が出ている。

図 6-1 買い物の便利さに関する居住地域別満足度



(N=1,076)

注：問 19 と問 4(4) のクロス表による。

不満群は全ての地域に 30%超存在するが、特に松山地域は「どちらかといえば不満」、「不満がある」をあわせた『不満』が多い。これらの地区と買い物先への接続を確保するのか、あるいはこれらの住民に買い物しやすい地域へ転居してもらうことを狙った計画を練るのかは政策判断になると思われる。

(中心市街地や駅前のにぎわい)「問4 酒田市の都市環境 (18) 中心市街地や駅前のにぎわい」満足度を見ると、あらゆる層で「不満がある」との回答が最も多い。

酒田市は平成 27 年から令和 3 年 3 月までの期間、酒田市中心市街地活性化基本計画に基づき、独自のアンケートやフォローアップを実施している。これを参照すると、中心市街地における都市機能の再生を進めるうえでは、地域由来の資源の利用には限界もある。酒田市中心市街地活性化基本計画に係るアンケートでは、無印良品の出店が中心市街地の集客に大きく寄与(酒田市：2021 年、5 頁)しているように見えるため、酒田市郊外・バイパス沿いに出店しているような体力のあるチェーン店に働きかけ、期間限定で代わる代わるの中町へ出店してもらうなどの対策が必要かもしれない。

市街地のデザインは戦略的に進めていく必要がある。既に市街地に関しては各エリアで整備事業が完了しつつあるため、今後は設立した拠点の運用がうまくいくよう、あらゆる層へ

向けてイベントを途切れなく開催するなど、民間と協働しながらにぎわい創出へ向けた努力を続けていくことが肝要である。

政策2 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち

酒田市総合計画では、今後の方向性と主な施策として、地方創生に向けた高速交通ネットワークの整備/地域高企画道路新庄酒田道路、日本海沿岸東北自動車道の整備促進/国道、県道、市道の道路ネットワークの形成/鉄道高速化の促進/在来線の利用促進・利便性向上を挙げている。

(交通の便)「問4 酒田市の都市環境 (3)交通の便」の満足度を見ると、ほぼすべての属性で『不満』群が最も高い。遠距離の都市同士を結ぶネットワークの整備と同時に、市民の足となる交通路が繋がりやすいような道路ネットワークの構築をしていく必要がある。

交通の便というアンケート項目については、答える市民側の意図としてはバスの路線や頻度が想定されると考えられ得るところ、酒田市総合計画 6-2 に想定される高速ネットワークや道路整備に関連するアンケート項目は欠落している。次年度以降のアンケート設計において、調査項目の設定を検討する必要がある。

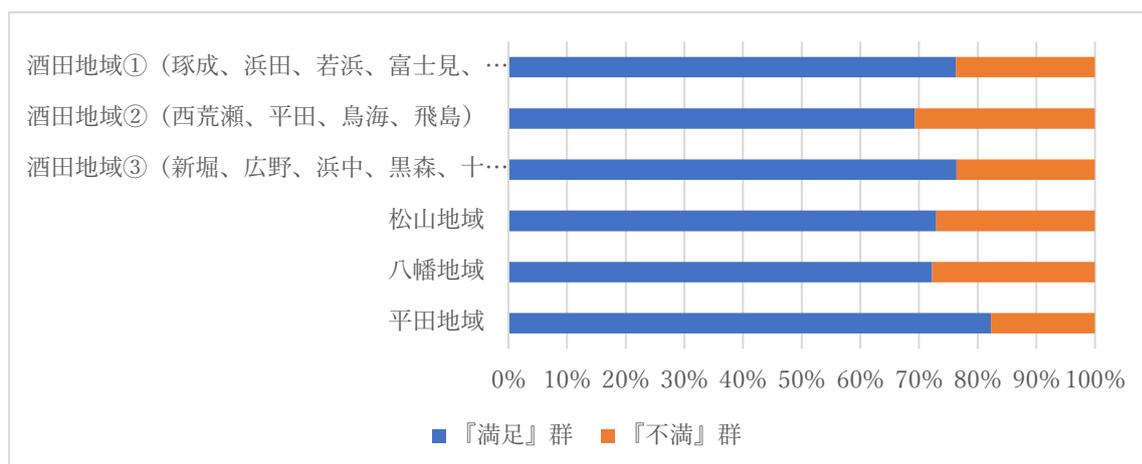
政策3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち

酒田市総合計画では、今後の方向性と主な施策として、持続可能案生活インフラの構築/安全・安心な上下水道の構築/公営住宅の提供/道路・橋りょう・公園等の整備/地域課題解決に向けた ICT・IoT の活用を挙げている。

(住宅事情)「問4 酒田市の都市環境 (2)住宅事情」の満足度を居住地域別に見ると、平田地域でやや『不満』が少なく、酒田地域②および松山地域、八幡地域ではやや『不満』が高いという結果となった。

ただし住宅事情というアンケートの項目に関しては、答える市民側の意図として、賃貸住宅の質や探しやすさ、住宅価格等の想定がなされているとも考えられる。酒田市総合計画 6-3 に想定されているような生活インフラの主な施策はこのような住民側の回答の想定とは異なり、上下水道や道路等の整備、ICT 活用など多様である。今後の施策の方向性を決めるうえで、例えば不満が高かった地域を中心に詳細なアンケートを実施するなどして、さらなるニーズ調査を行うことが求められる。

図 6-2 住宅事情に関する居住地域別満足度



(N=1,076)

注：問 19 と問 4(2) のクロス表による。

(参考) 酒田市：中心市街地活性化に関するアンケート結果について(本編)

第5章 各設問の集計結果

【酒田市の住みやすさについて】

問1 あなたは酒田市が好きですか。

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	好き	452	41.3	41.4	41.4
	どちらかといえば好き	542	49.5	49.6	91.0
	どちらかといえば嫌い	85	7.8	7.8	98.8
	嫌い	13	1.2	1.2	100.0
	合計	1092	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	3	0.3		
合計		1095	100.0		

問2 あなたは酒田市が住みやすいと思いますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	住みやすい	317	28.9	29.0	29.0
	どちらかといえば住みやすい	543	49.6	49.7	78.8
	どちらかといえば住みにくい	145	13.2	13.3	92.0
	住みにくい	53	4.8	4.9	96.9
	わからない	34	3.1	3.1	100.0
	合計	1092	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	3	0.3		
合計		1095	100.0		

問3 あなたは酒田市に住み続けたいと思いますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	住み続けたい	525	47.9	48.1	48.1
	どちらかといえば住み続けたい	350	32.0	32.1	80.1
	どちらかといえば移りたい	122	11.1	11.2	91.3
	移りたい	35	3.2	3.2	94.5
	わからない	60	5.5	5.5	100.0
	合計	1092	99.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	3	0.3		
合計		1095	100.0		

問 4 あなたは、以下の酒田市の都市環境について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。

(1)自然環境の豊かさ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	597	54.5	55.8	55.8
	どちらかといえば満足	398	36.3	37.2	93.1
	どちらかといえば不満	32	2.9	3.0	96.1
	不満がある	11	1.0	1.0	97.1
	わからない	31	2.8	2.9	100.0
	合計	1069	97.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	26	2.4		
合計		1095	100.0		

(2)住宅事情

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	305	27.9	28.6	28.6
	どちらかといえば満足	451	41.2	42.3	70.9
	どちらかといえば不満	158	14.4	14.8	85.7
	不満がある	91	8.3	8.5	94.3
	わからない	61	5.6	5.7	100.0
	合計	1066	97.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	29	2.6		
合計		1095	100.0		

(3)交通の便

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	107	9.8	10.0	10.0
	どちらかといえば満足	237	21.6	22.2	32.2
	どちらかといえば不満	336	30.7	31.4	63.6
	不満がある	367	33.5	34.3	97.9
	わからない	22	2.0	2.1	100.0
	合計	1069	97.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	26	2.4		
合計		1095	100.0		

(4) 買い物の便利さ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	201	18.4	18.8	18.8
	どちらかといえば満足	409	37.4	38.2	56.9
	どちらかといえば不満	257	23.5	24.0	80.9
	不満がある	181	16.5	16.9	97.8
	わからない	24	2.2	2.2	100.0
	合計	1072	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	23	2.1		
合計		1095	100.0		

(5) 物価の安さ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	156	14.2	14.6	14.6
	どちらかといえば満足	447	40.8	42.0	56.6
	どちらかといえば不満	241	22.0	22.6	79.2
	不満がある	121	11.1	11.4	90.6
	わからない	100	9.1	9.4	100.0
	合計	1065	97.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	30	2.7		
合計		1095	100.0		

(6) 新鮮でおいしい食べ物の豊富さ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	564	51.5	52.5	52.5
	どちらかといえば満足	424	38.7	39.5	92.0
	どちらかといえば不満	52	4.7	4.8	96.8
	不満がある	12	1.1	1.1	98.0
	わからない	22	2.0	2.0	100.0
	合計	1074	98.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	21	1.9		
合計		1095	100.0		

(7) スポーツ・レジャー施設の充実

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	93	8.5	8.7	8.7
	どちらかといえば満足	236	21.6	22.0	30.7
	どちらかといえば不満	364	33.2	34.0	64.6
	不満がある	241	22.0	22.5	87.1
	わからない	138	12.6	12.9	100.0
	合計	1072	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	23	2.1		
合計		1095	100.0		

(8) 芸術・文化水準

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	103	9.4	9.6	9.6
	どちらかといえば満足	349	31.9	32.6	42.2
	どちらかといえば不満	272	24.8	25.4	67.6
	不満がある	125	11.4	11.7	79.3
	わからない	222	20.3	20.7	100.0
	合計	1071	97.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	24	2.2		
合計		1095	100.0		

(9) 教育環境

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	111	10.1	10.4	10.4
	どちらかといえば満足	330	30.1	30.9	41.3
	どちらかといえば不満	259	23.7	24.3	65.5
	不満がある	148	13.5	13.9	79.4
	わからない	220	20.1	20.6	100.0
	合計	1068	97.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	27	2.5		
合計		1095	100.0		

(10) 子育てのしやすさ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	115	10.5	10.8	10.8
	どちらかといえば満足	363	33.2	34.2	45.0
	どちらかといえば不満	203	18.5	19.1	64.1
	不満がある	118	10.8	11.1	75.2
	わからない	263	24.0	24.8	100.0
	合計	1062	97.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	33	3.0		
合計		1095	100.0		

(11) 就業機会の多さ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	51	4.7	4.8	4.8
	どちらかといえば満足	146	13.3	13.7	18.5
	どちらかといえば不満	354	32.3	33.2	51.7
	不満がある	344	31.4	32.3	84.0
	わからない	171	15.6	16.0	100.0
	合計	1066	97.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	29	2.6		
合計		1095	100.0		

(12) 医療機関の充実

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	173	15.8	16.1	16.1
	どちらかといえば満足	484	44.2	45.0	61.1
	どちらかといえば不満	221	20.2	20.5	81.6
	不満がある	129	11.8	12.0	93.6
	わからない	69	6.3	6.4	100.0
	合計	1076	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	19	1.7		
合計		1095	100.0		

(13) 福祉の充実

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	116	10.6	10.9	10.9
	どちらかといえば満足	372	34.0	35.1	46.0
	どちらかといえば不満	232	21.2	21.9	67.9
	不満がある	115	10.5	10.8	78.7
	わからない	226	20.6	21.3	100.0
	合計	1061	96.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	34	3.1		
合計		1095	100.0		

(14) 地域住民の連帯感の強さ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	124	11.3	11.6	11.6
	どちらかといえば満足	431	39.4	40.3	51.9
	どちらかといえば不満	212	19.4	19.8	71.7
	不満がある	97	8.9	9.1	80.7
	わからない	206	18.8	19.3	100.0
	合計	1070	97.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	2.3		
合計		1095	100.0		

(15) 自然災害の少なさ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	419	38.3	39.2	39.2
	どちらかといえば満足	484	44.2	45.3	84.6
	どちらかといえば不満	76	6.9	7.1	91.7
	不満がある	29	2.6	2.7	94.4
	わからない	60	5.5	5.6	100.0
	合計	1068	97.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	27	2.5		
合計		1095	100.0		

(16)街並みや景観の美しさ

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	241	22.0	22.5	22.5
	どちらかといえば満足	487	44.5	45.5	68.0
	どちらかといえば不満	214	19.5	20.0	88.0
	不満がある	64	5.8	6.0	94.0
	わからない	64	5.8	6.0	100.0
	合計	1070	97.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	2.3		
合計		1095	100.0		

(17)公園や緑が多い

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	325	29.7	30.4	30.4
	どちらかといえば満足	498	45.5	46.5	76.9
	どちらかといえば不満	138	12.6	12.9	89.8
	不満がある	58	5.3	5.4	95.2
	わからない	51	4.7	4.8	100.0
	合計	1070	97.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	25	2.3		
合計		1095	100.0		

(18)中心市街地や駅前のにぎわい

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	22	2.0	2.1	2.1
	どちらかといえば満足	83	7.6	7.7	9.8
	どちらかといえば不満	341	31.1	31.8	41.6
	不満がある	557	50.9	52.0	93.6
	わからない	69	6.3	6.4	100.0
	合計	1072	97.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	23	2.1		
合計		1095	100.0		

(19)歴史的建造物や伝統行事が残っている

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足している	188	17.2	17.6	17.6
	どちらかといえば満足	502	45.8	46.9	64.4
	どちらかといえば不満	168	15.3	15.7	80.1
	不満がある	59	5.4	5.5	85.6
	わからない	154	14.1	14.4	100.0
	合計	1071	97.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	24	2.2		
合計		1095	100.0		

【総合計画の成果指標項目について】

問5 あなたは、酒田市の市政（事業・取り組み）に参画（参加）する機会がこれまでと比べて増えてきたと思いますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	増えた	29	2.6	2.7	2.7
	どちらかといえば増えた	73	6.7	6.7	9.3
	変わらない（以前から参加する機	69	6.3	6.3	15.7
	変わらない（以前から参加する機	614	56.1	56.3	72.0
	どちらかといえば減った	76	6.9	7.0	78.9
	減った	70	6.4	6.4	85.3
	わからない	160	14.6	14.7	100.0
	合計	1091	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	4	0.4		
合計		1095	100.0		

問6 あなたは、過去1年間（令和2年11月から令和3年10月まで）に、ボランティア活動や市民活動に参加しましたか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加した	213	19.5	19.5	19.5
	参加していないが、今後は参加し	307	28.0	28.1	47.7
	参加していないし、今後も参加し	429	39.2	39.3	87.0
	わからない	142	13.0	13.0	100.0
	合計	1091	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	4	0.4		
合計		1095	100.0		

問7 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、東北公益文科大学を利用しましたか。（施設面の利用や教員・学生との交流や連携を含む。鶴岡市の大学院施設等を含む。）

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	利用した（交流・連携した）	74	6.8	6.8	6.8
	利用していない（交流・連携して	995	90.9	91.2	98.0
	わからない	22	2.0	2.0	100.0
	合計	1091	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	4	0.4		
合計		1095	100.0		

問 8 あなたは、子どもたちが文化芸術に触れる機会に対して満足していますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	満足	46	4.2	4.2	4.2
	どちらかといえば満足	225	20.5	20.6	24.8
	どちらかといえば不満	268	24.5	24.6	49.4
	不満	106	9.7	9.7	59.1
	わからない	446	40.7	40.9	100.0
	合計	1091	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	4	0.4		
合計		1095	100.0		

問 9 あなたは、過去 1 年（令和 2 年 11 月から令和 3 年 10 月まで）に、地域で行われている行事に参加しましたか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加した	356	32.5	33.2	33.2
	興味はあったが、参加していない	308	28.1	28.7	61.9
	興味がないので、参加していない	345	31.5	32.2	94.0
	わからない	64	5.8	6.0	100.0
	合計	1073	98.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	22	2.0		
合計		1095	100.0		

問 10 あなたは、家にいるとき、省エネや節電に取り組んでいますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	取り組んでいる	916	83.7	84.8	84.8
	取り組んでいない	130	11.9	12.0	96.9
	わからない	34	3.1	3.1	100.0
	合計	1080	98.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	1.4		
合計		1095	100.0		

問 11 あなたは、過去 1 年（令和 2 年 11 月から令和 3 年 10 月まで）に、自然に親しむ活動やイベントに参加しましたか。（例：河川、海岸、里山や林の清掃活動や野山の散策、バードウォッチングなど）

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	参加した	191	17.4	17.7	17.7
	参加していない	870	79.5	80.6	98.2
	わからない	19	1.7	1.8	100.0
	合計	1080	98.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	1.4		
合計		1095	100.0		

問 12 あなたは、酒田市全体が公園のようならおいに満ちたまちだと思いませんか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう思う	68	6.2	6.3	6.3
	どちらかといえばそう思う	297	27.1	27.5	33.8
	どちらかといえばそう思わない	354	32.3	32.8	66.6
	そう思わない	276	25.2	25.6	92.1
	わからない	85	7.8	7.9	100.0
	合計	1080	98.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	1.4		
合計		1095	100.0		

問 13 あなたは、市が特に重点的に景観づくりを進めていく地域として指定している景観形成重点地域（山居倉庫周辺地区、日和山周辺地区、松山歴史公園周辺地区）の景観に良い雰囲気を感じますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	そう感じる	259	23.7	23.9	23.9
	どちらかといえばそう感じる	514	46.9	47.5	71.4
	どちらかといえばそう感じない	152	13.9	14.0	85.4
	そう感じない	80	7.3	7.4	92.8
	わからない	78	7.1	7.2	100.0
	合計	1083	98.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	12	1.1		
合計		1095	100.0		

【酒田市の情報の発信について】

問 14 あなたは、本市の広報活動（市広報の紙面、市公式 SNS※、FM ラジオ、出前講座、個別事業説明会、自治会回覧板など）に触れることで、市政やまちづくり、地域活動への関心が高まりましたか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	高まった	424	38.7	39.4	39.4
	高まらなかった	448	40.9	41.6	81.0
	興味がない	204	18.6	19.0	100.0
	合計	1076	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	19	1.7		
合計		1095	100.0		

問 15 あなたは、市広報（私の街さかた）および市公式 SNS※による市政情報の発信について、満足していますか。

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	十分な市政情報が発信されており	357	32.6	34.1	34.1
	知りたい施策（事業）の情報が不	46	4.2	4.4	38.5
	各種施策（事業）の検討状況や経	188	17.2	18.0	56.4
	イベント情報が不足している	164	15.0	15.7	72.1
	情報はあがるが、分かりにくく理解	227	20.7	21.7	93.8
	市広報および市公式 SNS を必要とし	65	5.9	6.2	100.0
	合計	1047	95.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	48	4.4		
合計		1095	100.0		

【酒田市のこれからの取り組みについて】

問 16 以下の取り組みについて、これからの酒田市にとって重要と考える分野について、3 つ以内で選び、番号に○をつけてください。

1. 【共創・協働のまちづくり】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【共創・協働のまちづくり】	72	6.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1023	93.4		
合計		1095	100.0		

2. 【大学まちづくり】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【大学まちづくり】	33	3.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1062	97.0		
合計		1095	100.0		

3. 【教育】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【教育】	287	26.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	808	73.8		
合計		1095	100.0		

4. 【社会教育・文化芸術・スポーツ】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【社会教育・文化芸術・スポーツ】	135	12.3	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	960	87.7		
合計		1095	100.0		

5. 【商工業】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【商工業】	333	30.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	762	69.6		
合計		1095	100.0		

6. 【港の物流】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【港の物流】	128	11.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	967	88.3		
合計		1095	100.0		

7. 【件数】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【雇用】	522	47.7	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	573	52.3		
合計		1095	100.0		

8. 【農業】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【農業】	191	17.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	904	82.6		
合計		1095	100.0		

9. 【林業】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【林業】	50	4.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1045	95.4		
合計		1095	100.0		

10. 【水産業】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【水産業】	81	7.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1014	92.6		
合計		1095	100.0		

11. 【移住・定住】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【移住・定住】	226	20.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	869	79.4		
合計		1095	100.0		

12. 【観光・交流】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【観光・交流】	49	4.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1046	95.5		
合計		1095	100.0		

13. 【港の交流】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【港の交流】	20	1.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1075	98.2		
合計		1095	100.0		

14. 【保健福祉・男女共同参画】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【保健福祉・男女共同参画】	61	5.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1034	94.4		

15. 【結婚・子育て】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【結婚・子育て】	175	16.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	920	84.0		
合計		1095	100.0		

16. 【健康】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【健康】	70	6.4	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1025	93.6		
合計		1095	100.0		

17. 【地域づくり】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【地域づくり】	22	2.0	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1073	98.0		
合計		1095	100.0		

18. 【景観と環境】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【景観と環境】	28	2.6	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1067	97.4		
合計		1095	100.0		

19. 【安全・安心】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【安全・安心】	82	7.5	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1013	92.5		
合計		1095	100.0		

20. 【公共交通】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【公共交通】	85	7.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1010	92.2		
合計		1095	100.0		

21. 【八幡・松山・平田と飛島】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【八幡・松山・平田と飛島】	42	3.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1053	96.2		
合計		1095	100.0		

22. 【都市機能】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【都市機能】	74	6.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1021	93.2		
合計		1095	100.0		

23. 【高速交通】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【高速交通】	140	12.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	955	87.2		
合計		1095	100.0		

24. 【生活インフラ】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【生活インフラ】	90	8.2	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1005	91.8		
合計		1095	100.0		

25. 【行財政運営】

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	【行財政運営】	74	6.8	100.0	100.0
欠損値	システム欠損値	1021	93.2		
合計		1095	100.0		

【あなた自身について】

問 17 あなたの性別

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	484	44.2	44.6	44.6
	女性	596	54.4	55.0	99.6
	その他	4	0.4	0.4	100.0
	合計	1084	99.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	11	1.0		
合計		1095	100.0		

問 18 あなたの現在の年齢

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	20代以下	103	9.4	9.5	9.5
	30代	165	15.1	15.2	24.8
	40代	164	15.0	15.2	39.9
	50代	189	17.3	17.5	57.4
	60代	220	20.1	20.3	77.7
	70代以上	241	22.0	22.3	100.0
	合計	1082	98.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	13	1.2		
合計		1095	100.0		

問 19 あなたの居住地域

		件数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	酒田地域①	595	54.3	55.3	55.3
	酒田地域②	133	12.1	12.4	67.7
	酒田地域③	183	16.7	17.0	84.7
	八幡地域	79	7.2	7.3	92.0
	松山地域	39	3.6	3.6	95.6
	平田地域	47	4.3	4.4	100.0
	合計	1076	98.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	19	1.7		
合計		1095	100.0		

第6章 調査票

酒田市総合計画【後期計画】の策定等に係る アンケート調査

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

酒田市では、令和5年度からスタートする総合計画の後期計画（令和9年度まで）の策定および情報発信のあり方の見直しにあたり、市民の皆様からの意見を伺うため、アンケート調査を実施いたします。

総合計画は、酒田市の最上位の計画であり、その後期計画は、令和5年度からの5年間のまちづくりの指針となるものです。

今回の対象者は、市内にお住まいの18歳以上の男女計2,500人の方を住民基本台帳から無作為に抽出させていただきました。調査の公平を期すため、無作為で抽出しましたので、ご療養中の方などアンケートへの記入ができない方が対象になっている場合もあります。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

お忙しいところ、大変申し訳ございませんが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和3年11月

酒田市長 丸山 至

【記入上の注意】

1. このアンケート調査票は、必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、事情によりご本人がお答えできない場合は、代理の方がお答えください。
2. 回答の記入は、黒・青のボールペンまたは鉛筆などをお願いいたします。
3. 各質問のご回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。質問文に「1つだけ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
4. アンケート調査票は、記入後、お手数ですが、同封の封筒（切手不要）に入れて **11月30日（火）までに**郵便ポストに投函してください。その際にアンケート調査票、返信用封筒に、住所、氏名を記入する必要はありません。
5. アンケート調査の結果は、後日、ホームページ等で公表いたしますが、個人の意見が特定されることはございません。また、この調査以外の目的に使用することはありません。

【オンラインでご回答いただけます】

1. スマートフォンなどで右の二次元コードを読み取り、入力フォームから、各質問の回答を選択および入力してください。
2. その他回答にあたっては、上欄【記入上の注意】を参照ください。
3. オンラインで回答した場合、調査票（紙媒体）での回答は不要です。



【アンケート調査票】

《 酒田市の住みやすさについておたずねします 》

問1 あなたは酒田市が好きですか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 好き
- 2 どちらかといえば好き
- 3 どちらかといえば嫌い
- 4 嫌い

問2 あなたは酒田市が住みやすいと思いますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 住みやすい
- 2 どちらかといえば住みやすい
- 3 どちらかといえば住みにくい
- 4 住みにくい
- 5 わからない

問3 あなたは酒田市に住み続けたいと思いますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 住み続けたい
- 2 どちらかといえば住み続けたい
- 3 どちらかといえば移りたい
- 4 移りたい
- 5 わからない

問4 あなたは、以下の酒田市の都市環境等について、どの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(19)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満がある	わからない
(例) (1) ○○○○○	1	2	3	4	5
(1) 自然環境の豊かさ	1	2	3	4	5
(2) 住宅事情	1	2	3	4	5
(3) 交通の便	1	2	3	4	5
(4) 買い物の便利さ	1	2	3	4	5
(5) 物価の安さ	1	2	3	4	5
(6) 新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	1	2	3	4	5
(7) スポーツ・レジャー施設の充実	1	2	3	4	5
(8) 芸術・文化水準	1	2	3	4	5
(9) 教育環境	1	2	3	4	5
(10) 子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
(11) 就業機会の多さ	1	2	3	4	5
(12) 医療機関の充実	1	2	3	4	5
(13) 福祉の充実	1	2	3	4	5
(14) 地域住民の連帯感の強さ	1	2	3	4	5
(15) 自然災害の少なさ	1	2	3	4	5
(16) 街並みや景観の美しさ	1	2	3	4	5
(17) 公園や緑が多い	1	2	3	4	5
(18) 中心市街地や駅前のにぎわい	1	2	3	4	5
(19) 歴史的建造物や伝統行事が残っている	1	2	3	4	5

《 総合計画の成果指標項目について、おたずねします 》

問5 あなたは、酒田市の市政（事業・取り組み）に参画（参加）する機会がこれまでと比べて増えてきたと思いますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 増えた
- 2 どちらかといえば増えた
- 3 変わらない（以前から参加する機会が多い）
- 4 変わらない（以前から参加する機会が少ない）
- 5 どちらかといえば減った
- 6 減った
- 7 わからない

問6 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、ボランティア活動や市民活動に参加しましたか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加した
- 2 参加していないが、今後は参加したいと思う
- 3 参加していないし、今後も参加したいと思わない
- 4 わからない

問7 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、東北公益文科大学を利用しましたか。（施設面の利用や教員・学生との交流や連携を含む。鶴岡市の大学院施設等を含む。）

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 利用した（交流・連携した）
- 2 利用していない（交流・連携していない）
- 3 わからない

問8 あなたは、子どもたちが文化芸術に触れる機会に対して満足していますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 満足
- 2 どちらかといえば満足
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満
- 5 わからない

問9 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、地域で行われている行事に参加しましたか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加した
- 2 興味はあったが、参加していない
- 3 興味がないので、参加していない
- 4 わからない

問10 あなたは、家にいるとき、省エネや節電に取り組んでいますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組んでいない
- 3 わからない

問11 あなたは、過去1年（令和2年11月から令和3年10月まで）に、自然に親しむ活動やイベントに参加しましたか。（例：河川、海岸、里山や林の清掃活動や野山の散策、バードウォッチングなど）

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加した
- 2 参加していない
- 3 わからない

問12 あなたは、酒田市全体が公園のようなうるおいに満ちたまちだと思えますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

問 13 あなたは、市が特に重点的に景観づくりを進めていく地域として指定している景観形成重点地域（山居倉庫周辺地区、日和山周辺地区、松山歴史公園周辺地区）の景観に良い雰囲気を感じますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 そう感じる
- 2 どちらかといえばそう感じる
- 3 どちらかといえばそう感じない
- 4 そう感じない
- 5 わからない

《 酒田市の情報の発信について、おたずねします 》

問 14 あなたは、本市の広報活動（市広報の紙面、市公式SNS※、FMラジオ、出前講座、個別事業説明会、自治会回覧板など）に触れることで、市政やまちづくり、地域活動への関心が高まりましたか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 高まった
- 2 高まらなかった
- 3 興味がない

問 15 あなたは、市広報（私の街さかた）および市公式SNS※による市政情報の発信について、満足していますか。

あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

- 1 十分な市政情報が発信されており満足している
- 2 知りたい施策（事業）の情報が不足している
〔具体的にご記入ください〕
- 3 各種施策（事業）の検討状況や経過に関する情報が不足している
- 4 イベント情報が不足している
- 5 情報はあがるが、分かりにくく理解しにくい
- 6 市広報および市公式SNSを必要としていない

※市公式SNS： ライン フェイスブック ツイッター インスタグラム
LINE、Facebook、Twitter、Instagram

◀ 酒田市のこれからの取り組みについておたずねします ▶

問 16 以下の取り組みについて、これからの酒田市にとって重要と考える分野について、3つ以内で選び、番号に○をつけてください。

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">1</div>	<p>【例】 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>・ ○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○</p> <p>・ ○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○</p>
1	<p>【共創・協働のまちづくり】 協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参加・市民協働の推進 ・ 広聴・広報の充実 ・ 地域共創人材の育成等 ・ 市民活動等の支援等
2	<p>【大学まちづくり】 大学とともにつくる「ひと」と「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東北公益文科大学との連携
3	<p>【教育】 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いのちの教育の推進 ・ 確かな学力の向上 ・ 豊かな心と健やかな体の育成 ・ 学校・家庭・地域との連携 ・ 学校施設の整備 ・ 地域の教育機関との連携
4	<p>【社会教育・文化芸術・スポーツ】 学びあい、地域とつながる人を育むまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育の振興 ・ 文化芸術の推進 ・ 知（地）の拠点としての図書館へ ・ 一人1スポーツの推進
5	<p>【商工業】 地域経済を牽引する商工業が元気なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の活性化、新たな産業やビジネスの創出 ・ 企業立地の促進
6	<p>【港の物流】 「港」の物流により産業競争力が高いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使いやすい酒田港の推進 ・ 庄内空港を活用した輸出入拡大 ・ 広域物流ネットワークの構築
7	<p>【雇用】 地元でいきいきと働くことができるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雇用のミスマッチ解消 ・ 地元定着の促進 ・ 高等教育機関等との連携 ・ 働く女性の活躍促進 ・ 高年齢者の就業機会の確保
8	<p>【農業】 夢があり、儲かる農業で豊かなまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の確保・育成 ・ 複合経営の推進 ・ 農商工観連携の推進 ・ 販路・消費の拡大
9	<p>【林業】 100年続く森林（もり）を造り、活かすまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能で収益性の高い森林経営の促進 ・ 林業を担う人材の確保・育成 ・ 酒田産木材の安定供給体制づくりと利用促進 ・ 森林環境の保全
10	<p>【水産業】 恵み豊かな水産を活かすまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産業を担う人材の確保・育成 ・ 水産資源の確保とブランド化 ・ 庄内浜産水産物の認知度向上・消費拡大

11	<p>【移住・定住】 移住者・定住者が増えるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住対策の推進
12	<p>【観光・交流】 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光の振興 ・交流及びシティプロモーションの推進
13	<p>【港の交流】 「港」発の交流で賑わうまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船等の誘致による賑わい創出 ・みなとオアシスを活用した賑わい創出 ・庄内空港の利便性向上
14	<p>【保健福祉・男女共同参画】 誰もがいきいきと暮らしやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉の向上 ・男女共同参画社会の実現 ・在住外国人の支援
15	<p>【結婚・子育て】 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚の支援 ・妊娠・出産・子育ての支援 ・子どもの権利の擁護
16	<p>【健康】 健康でいつまでも活躍できるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸 ・こころの健康づくり ・地域医療の確保
17	<p>【地域づくり】 住民と行政の協働による地域運営ができるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働の地域づくり（コミュニティ振興会、自治会など）
18	<p>【景観と環境】 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全・廃棄物対策等の推進 ・公園都市構想の推進 ・景観形成の促進
19	<p>【安全・安心】 地域との連携でつくる安全・安心なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急・防災体制の強化 ・防犯・交通安全対策の継続 ・空き家対策の推進 ・建築物の耐震化
20	<p>【公共交通】 「暮らしの足」が維持されるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の維持 ・定期航路の安全運航
21	<p>【八幡・松山・平田と飛島】 自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保・育成等 ・日常生活の支援 ・農業の振興 ・森林の整備 ・鳥海山・飛島ジオパークの活用 ・飛島の振興
22	<p>【都市機能】 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なまちづくり ・中心市街地における都市機能の再生
23	<p>【高速交通】 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄酒田道路、日本海沿岸東北自動車道の整備促進 ・鉄道高速化の促進
24	<p>【生活インフラ】 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な上下水道の構築 ・公営住宅の提供 ・道路・橋りょう・公園の整備
25	<p>【行財政運営】 効率的な行財政運営による市民サービスの維持・向上と持続可能な財政基盤の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会に応じた効率的な行政運営 ・職員の意識改革と人材の育成 ・健全な財政運営の推進 ・歳入確保と歳出削減

《 最後に、あなた自身のことについておたずねします 》

問 17 あなたの性別は (○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|--------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他※ |
|------|------|--------|

※性別の「3その他」とは、性的マイノリティを考慮した選択肢です。戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

問 18 あなたの現在の年齢は 歳

(数字をご記入ください)

問 19 あなたのお住まいの学区または地域は

(○は1つだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 酒田地域① (琢成、浜田、若浜、富士見、亀ヶ崎、松原、松陵、泉) |
| 2 酒田地域② (西荒瀬、平田、鳥海、飛島) |
| 3 酒田地域③ (新堀、広野、浜中、黒森、十坂、宮野浦) |
| 4 八幡地域 (八幡総合支所管内) |
| 5 松山地域 (松山総合支所管内) |
| 6 平田地域 (平田総合支所管内) |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

【アンケート調査票の回収について】

アンケート調査票は、記入後、同封の封筒(切手不要)に入れて

11月30日(火)までに郵便ポストに投函してください。

【東北公益文科大学 公共経営研究所 研究所員】

所長・教授	三木 潤一
教授	神田 直弥
教授	小野 英一
准教授	灰谷 和代
准教授	新名 阿津子
准教授	樋口 恵佳
特任教授	小野 敦

市民アンケート調査分析等業務報告書

令和4年3月18日発行

発行：東北公益文科大学 公共経営研究所

〒998-8580 酒田市飯森山3-5-1

Tel 0234-41-1119 Fax 0234-41-1133

E-mail senryaku@koeki-u.ac.jp